

令和5年度 第2回加西市総合政策審議会

次 第

日時：令和5年7月21日（金）午後2時～

場所：加西市民会館 2階 視聴覚室

開 会

1 委員等出席者の紹介

2 議 事

第6次加西市総合計画における令和4年度評価

(1) 外部評価（2次評価）実施要領 …【資料1】【参考】

(2) 第1回部会 外部評価（2次評価）の実施 ※3部会での検討 … ※評価資料一式

3 その他

閉 会

【次回開催予定】

令和5年度 第3回加西市総合政策審議会

日時：令和5年8月25日（金）14:00～

場所：加西市民会館 3階 コミセン小ホール

外部評価（２次評価）実施要領

1 外部評価（２次評価）の進め方

部会での検討（90分）

- ① 市民の視点から各施策について別紙「第６次加西市総合計画（実施計画）政策評価シート」及び「第６次加西市総合計画（実施計画）施策評価シート」を使い、行政内部による評価検証（１次評価）の総合評価（４段階評価）と同様の基準で評価する。
- 評価方法は、施策毎の１次評価が妥当であるかを検討し、審議会による外部評価（２次評価）にＡからＤを書き込んでいく。

総合評価基準	説明	目標数値の達成度 最終(R4)の数値目安
A 目標を上回って達成	計画が順調に進捗し、予定以上の成果を得ている	106%以上
B ほぼ目標を達成	計画通り概ね進捗し、一定の成果を得ている	95%～105%
C 目標を下回っている	計画より進捗が遅れ気味で、成果もあまり得られていない	80%～94%
D 目標を大きく下回っている	計画より進捗が遅れており、成果はまだ得られていない	79%以下

- ② 各施策に対する意見・提案等のコメントを出していく。
- ③ 評価は原則として部会内で実施するが、評価が一致しないものについては全体会に諮る。（施策単位、１、２程度）

2 部会の編成

部会	対象政策	担当委員	説明員	事務局
部会①	政策 1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実 政策 2 子供の教育の充実 政策 3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり 政策 4 暮らしを支える福祉・医療の充実 政策 12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現	別府委員 大西委員 山下委員 中野委員 ★大野委員	教育委員会 千石部長 健康福祉部 上坂部長 ふるさと創造部 藤後部長	牛尾主任 小山推進員
部会②	政策 5 農業の再生と活性化 政策 6 商工業の振興と新展開 政策 7 地域資源の活用と人の流れの創出 政策 13 効率的で持続可能な行財政の推進	岡田委員 ★濱本委員 金田委員 樋口委員 荒木委員	総務部 下山部長 地域振興部 末廣部長	小菊課長 岩野係長
部会③	政策 8 安全・安心に暮らせる環境の充実 政策 9 快適な都市空間の創出 政策 10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備 政策 11 協創のまちづくりの推進	松本委員 辻田委員 上田尾委員 ★谷勝委員 和田委員	生活環境部 丸山部長 都市整備部 北川部長	吉川係長 千種主任 垣谷主任

※★は部会長

令和5年度 加西市総合政策審議会 部会の進行目安

参考資料

部会	政策	施策	回	施策評価一覧 該当ページ	評価シート 該当ページ
1	政策1 新しい家族と出会い、 育むための支援の充実	① 結婚・妊娠・出産支援の充実	第2回部会 (8/25)	1	1～15
		② 地域ぐるみの子育て支援の推進			
		③ 子育て環境の充実			
	政策2 子どもの教育の充実	④ 教育の質の向上		2	16～25
		⑤ 教育環境の充実			
		⑥ 地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実			
	政策3 生涯にわたって学び、 楽しめる環境づくり	⑦ 生涯学習の充実	第1回部会 (7/21)	3	26～37
		⑧ 芸術・スポーツの振興			
		⑨ 健康増進の推進			
	政策4 くらしを支える 福祉・医療の充実	⑩ 高齢者福祉の推進		4	38～46
		⑪ 障がい福祉・地域福祉の充実			
		⑫ 保健・医療体制の確保			
	政策12 お互いを認め、 尊重し合える社会の実現	⑬ 自分らしく暮らせる地域づくりの推進		12	116～124
		⑭ 男女共同参画の推進			
		⑮ 多文化共生と平和のまちの実現			
2	政策5 農業の再生と活性化	⑯ 農業従事者の確保と育成	第1回部会 (7/21)	5	47～54
		⑰ 農業経営の支援			
		⑱ 農業環境の充実			
	政策6 商工業の振興と新展開	⑲ 商工業の振興	第2回部会 (8/25)	6	55～66
		⑳ 創業支援と働く場の拡大			
		㉑ 雇用・勤労者福祉の充実			
	政策7 地域資源の活用と 人の流れの創出	㉒ 歴史・文化の再発見と交流拡大	第1回部会 (7/21)	7	67～78
		㉓ 移住・定住の支援			
		㉔ 空き家・空き店舗の利活用			
3	政策8 安全・安心に暮らせる 環境の充実	㉕ 防災・感染症対策の充実	第1回部会 (7/21)	8	79～87
		㉖ 防犯・交通安全の向上			
		㉗ 市民相談・消費者保護の充実			
	政策9 快適な都市空間の創出	㉘ 住環境の整備	第1回部会 (7/21)	9	88～98
		㉙ 地球に優しい環境都市の創造			
	政策10 安全性と利便性が 確保された都市基盤の整備	㉚ 道路・河川の整備・維持管理	第2回部会 (8/25)	10	99～106
		㉛ 上下水道の整備・維持管理			
		㉜ 公共交通の充実			
	政策11 協創のまちづくりの推進	㉝ 協創のまちづくり		11	107～115
		㉞ シティプロモーションの推進			
		㉟ 広報・広聴の充実			

第 6 次加西市総合計画（実施計画）
施策評価シート

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実									
施策	① 結婚・妊娠・出産支援の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 若者の出会いの場のサポート制度を事業者と連携し、構築するとともに、若者交流等、若者が気軽に出会えるイベントの実施に努めます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課				
目標を達成するための具体的な取組										
年度	取組内容			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	加西市出逢いサポートセンター事業			5,608	平成29年度10月から加西市出会いサポートセンターを立ち上げ民間業者に委託している。登録者同士のマッチングを行い、79件のお見合いの機会を設けた。また、セミナーを1回、イベントを2回実施した。					
	合計			5,608	自己評価	C…目標を下回っている				
R4	加西市出逢いサポートセンター事業			5,706	平成29年度10月から加西市出会いサポートセンターを立ち上げ民間業者に委託している。登録者同士のマッチングを行い、99件のお見合いの機会を設けた。また、イベントを2回実施した。約5年間で成婚数は11件であり、委託契約満了を迎えることを機に、さらなる成婚数の増加や登録者の満足度向上を目的とした運営体制の見直しが必要である。					
	合計			5,706	自己評価	C…目標を下回っている				
R5	加西市出逢いサポートセンター事業			9,000						
	合計			9,000	自己評価					
R6	加西市出逢いサポートセンター事業			9,000						
	合計			9,000	自己評価					
R7	加西市出逢いサポートセンター事業			9,500						
	合計			9,500	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
カップル成立組数		目標		43	45	47	49	51	組	単年
		実績	41	25	33					
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-14	達成度		58.1%	73.3%					
上記指標の設定理由		カップル成立数を指標とすることで、マッチングや出会いの場の提供など、事業を総合的に評価することが可能であるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実									
施策	① 結婚・妊娠・出産支援の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 妊娠・出産支援として、特定不妊治療の助成を行うとともに、妊娠期から子育て期にわたる、子育て世代包括支援センター*を中心とした切れ目ない支援体制の構築と母子保健事業を推進します。									
担当部課	部名	健康福祉部			課名	健康課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	子育て世代包括支援センターでの相談支援事業			9,618	妊娠中からの関係構築・継続支援を目的に、妊娠9か月で妊婦への電話や訪問での相談支援を継続して行った。妊婦健診・産婦健診費用助成、特定不妊治療・不育症治療費の助成については、引き続き実施した。若年がん患者妊孕性温存治療費の助成については県主体の事業となったため、実施していない。今後の課題として、特定不妊治療の保険適用に伴い、現行の制度を見直す必要がある。					
	特定不妊治療助成事業			2,848						
	妊婦健診・産婦健診費用助成			15,761						
	不育症治療・若年がん患者妊孕性温存治療費助成			73						
	合計			28,300	自己評価	A…目標を上回って達成				
R4	子育て世代包括支援センターでの相談支援事業			8,484	従来からの母子手帳交付時の面談・妊娠9か月時点での電話・訪問による相談支援をさらに充実させるため、県のマイ助産師事業のモデル事業として担当助産師が妊婦の出産から子育て（おおむね生後4か月まで）期間を通じて支援を行った。R4年10月からは、子育て応援・育児の見守り支援として「かさいすく子育て定期便」事業を開始。配達員による見守り支援の中で、気になる親子については保健師等専門家へつなげ専門的支援を継続。					
	特定不妊治療助成事業、不育症治療費助成			1,647						
	妊婦健診・産婦健診費用助成			17,505						
	かさいすく子育て定期便			11,850						
	出産祝い金			10,150	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
合計			49,636							
R5	子育て世代包括支援センターでの相談支援事業			9,150						
	特定不妊治療助成事業、不育症治療費助成			3,150						
	妊婦健診・産婦健診費用助成			20,625						
	電子母子手帳の導入			1,215						
	合計			34,140	自己評価					
R6	子育て世代包括支援センターでの相談支援事業			9,150						
	不育症治療費助成			750						
	妊婦健診・産婦健診費用助成			26,388						
	電子母子手帳の運用			480						
	合計			36,768	自己評価					
R7	子育て世代包括支援センターでの相談支援事業			9,618						
	不育症治療費助成			750						
	妊婦健診・産婦健診費用助成			26,388						
	電子母子手帳の運用			480						
	合計			37,236	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
妊娠中の相談支援率		目標		85	85	90	90	95	%	単年
		実績	82	90	97					
第2期地域創生戦略アクションプラン		3-03	達成度	105.9%	114.1%					
上記指標の設定理由		妊娠期からの継続支援という点で、施策目標を達成するための指標に適しているため。								
特定不妊治療・不育症・妊孕性助成件数		目標		50	50	55	55	55	件	単年
		実績	46	68	37					
第2期地域創生戦略アクションプラン		3-16	達成度	136.0%	74.0%					
上記指標の設定理由		少子化対策として各種助成事業を実施しているため、補助実績件数の約20%増加を目標としました。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実									
施策	① 結婚・妊娠・出産支援の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 市内への産婦人科医の確保に取り組むとともに、産後ケアの充実など安心して出産できる環境を整備します。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課				
	部名	健康福祉部			課名	健康課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	産婦人科医招致に向けた情報収集			0	子育て世代のニーズを踏まえ、市内での出産を可能にすべく、多角的な面から引き続き検討するとともに、併せて加西病院に限定せず、誘致等も検討する。					
	合計			0	自己評価	A…目標を上回って達成				
R4	産婦人科医招致に向けた情報収集			0	加西病院と連携し、産婦人科医を含め、医師全体の確保に向けての研究及び情報収集を実施する。					
	合計			0	自己評価	D…目標を大きく下回っている				
R5	産婦人科医招致に向けた情報収集			0						
	合計			0	自己評価					
R6	産婦人科医の招致検討			0						
	合計			0	自己評価					
R7	産婦人科医の招致検討			0						
	合計			0	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
産婦人科医招致に向けた検討会議の開催数		目標		3	3	3	3	3	回	単年
		実績	—	7	0					
第2期地域創生戦略アクションプラン		3-04	達成度	233.3%	0.0%					
上記指標の設定理由		市立加西病院の改築とともに実現するか、一般公募を行って開業医を募集するか等、市の財政を鑑みた総合的な検討が必要であるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実									
施策	① 結婚・妊娠・出産支援の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 市内への産婦人科医の確保に取り組むとともに、産後ケアの充実など安心して出産できる環境を整備します。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課				
	部名	健康福祉部			課名	健康課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	産後ケア事業			608	産後ケア事業では、妊婦教室・新生児訪問において産後の支援が希薄な妊産婦や育児不安の大きい産婦を把握し、必要な人へ支援につなげることができなかった。利用実人数は、H31年度5人、R2年度9人、R3年度7人と増加傾向にある。宿泊・デイサービスでの利用のみのため、今後、実施機関へ出向くことが困難な産婦に向けて訪問型を充実させる。					
	合計			608	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	産後ケア事業			904	訪問型実施事業者を2か所委託契約し、宿泊型（5か所）・デイサービス型（4か所）・訪問型（4か所）と選択肢を増やし、利用者のニーズに応じたサービスの提供に努めることができた。実利用人数は、R4年度14人と増加した。なかには外国人ママの利用もあり、多様な育児不安に対する受け皿として活用できている。					
	合計			904	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	産後ケア事業			1,500						
	合計			1,500	自己評価					
R6	産後ケア事業			1,500						
	合計			1,500	自己評価					
R7	産後ケア事業			1,500						
	合計			1,500	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
産後ケア委託施設数		目標		5	5	5	5	5	件	単年
		実績	4	5	7					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	100.0%	140.0%					
上記指標の設定理由		圏域内の出産施設が減少している状況で、利用できる産後ケア施設が確保されていることが、安心して出産できる環境を整備するための指標として適しているため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実									
施策	② 地域ぐるみの子育て支援の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 多世代が関わる地域ぐるみでの子育て支援体制の充実や子育てに関連する情報提供の強化、保護者の負担軽減に取り組むとともに、学校等との連携により充実した学童保育の環境づくりを進めます。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課				
		ふるさと創造部				人口増政策課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	子育てハンドブックの作成				350	子育てハンドブック2022版2,000部を作成、市内に配布した。給食費補助金については、国の無償化にあわせ、加西市独自で副食費の無償化を実施し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図った。学童保育園については、九会学童の園舎新設により定員を拡充、また西在田学童トイレ改修、休園日の縮小やLINEによる欠席連絡の導入など児童の生活の質向上及び保護者の利便性向上を図った。				
	給食費補助金				43,892					
	学童保育運営事業				101,187					
	合計				145,429	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	子育てハンドブックの作成				218	子育て世帯の経済的負担軽減のための新しい施策を加え内容を更新し、子育てハンドブック2023版3,000部を作成、市内に配布した。1月から3～5歳児の主食費無償化を開始し完全給食費無償化となった。3歳未満児保育料無償化・病児病後児保育料無償化も開始した。				
	給食費補助金				52,959					
	学童保育運営事業(泉学童保育園建設)				36,960					
	学童保育運営事業				100,554					
	3歳未満児保育料無償化・病児病後児保育料無償化				59,831					
	保育士や学童支援員の処遇改善事業				2,868					
合計				253,390	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	子育てハンドブックの作成				2,368					
	給食費補助金				71,037					
	学童保育運営事業(泉学童保育園建設)				78,390					
	学童保育運営事業				128,562					
	3歳未満児保育料無償化・病児病後児保育料無償化				147,620					
	保育士や学童支援員の処遇改善事業				26,390					
合計				454,367	自己評価					
R6	子育てハンドブックの作成				350					
	給食費補助金				71,037					
	学童保育運営事業				128,562					
	3歳未満児保育料無償化・病児病後児保育料無償化				147,620					
	保育士や学童支援員の処遇改善事業				26,390					
	合計				373,959	自己評価				
R7	子育てハンドブックの作成				350					
	給食費補助金				71,037					
	学童保育運営事業				128,562					
	3歳未満児保育料無償化・病児病後児保育料無償化				147,620					
	保育士や学童支援員の処遇改善事業				26,390					
	合計				373,959	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
加西市総合支援アプリの「子育て」カテゴリ登録者数		目標		1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	件	累計
		実績	942	2,313	1,018					
第2期地域創生戦略アクションプラン		3-11	達成度	231.3%	92.5%					
上記指標の設定理由		アプリを通じて子育て世帯へ必要な情報を発信し、育児不安等の解消を図るため。								
学童保育の利用者数		目標		400	430	440	450	450	人	単年
		実績	400	395	389					
第2期地域創生戦略アクションプラン		3-18	達成度	98.8%	90.5%					
上記指標の設定理由		学童保育の利用者を増やすことによって、保護者の負担軽減につなげるため。								
ファミリーサポートセンター協力会員数		目標		65	65	65	65	65	人	累計
		実績	65	70	56					
第2期地域創生戦略アクションプラン		3-17	達成度	107.7%	86.2%					
上記指標の設定理由		協力会員数は、地域で子育てをサポートするといった意識の表れでもあるため。								

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実									
施策	② 地域ぐるみの子育て支援の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 多世代が関わる地域ぐるみでの子育て支援体制の充実や子育てに関連する情報提供の強化、保護者の負担軽減に取り組むとともに、学校等との連携により充実した学童保育の環境づくりを進めます。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課				
		ふるさと創造部				人口増政策課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3										
	合計			0	自己評価					
R4	子育て応援プロモーション事業			7,000	WEB広告等の活用により移住・定住のメインターゲットとなる近隣市町はもとよりその他の兵庫県の地域や大阪北部に住む20～30代の男女に対して「子育て応援5つの無料化」を切り口とした加西市の認知拡大・魅力を届けることができた。更に興味があるユーザーについてはInstagramのフォローとして囲い込みもすることができた。					
	合計			7,000	自己評価	A…目標を上回って達成				
R5	子育て応援プロモーション事業			10,000						
	合計			10,000	自己評価					
R6	子育て応援プロモーション事業			10,000						
	合計			10,000	自己評価					
R7										
	合計			0	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
Instagram/子育て応援アカウントのフォロー数	目標				1,000	2,000	3,000		アカウント	累計
	実績				1,100					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度			110.0%					
上記指標の設定理由		Instagramにおいて継続的に子育て応援情報を届け、本市への愛着を高めることが、転入促進や転出抑制にも繋がることから、その対象者数（フォロー数）を成果指数に設定した。プロモーションにおいては、紙媒体のみならず、WEB広告を積極的に活用することで、市内外に加西市の魅力を届け、その数を効果的に増やしていく。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実									
施策	② 地域ぐるみの子育て支援の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 子どもの医療費自己負担の無料化の継続及び任意予防接種の費用助成の拡充に取り組みます。									
担当部課	部名	健康福祉部			課名	国保医療課				
	部名	健康福祉部			課名	健康課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	高校3年生までの医療費無料化				201,000	対象を18歳までの子どもに拡大し、医療費自己負担無料化を支給制限（所得制限）無く継続して実施したことにより、子育て世帯の負担軽減、子どもの疾病の早期治療を促進し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりにつなげた。また、出生や転入者などの新規対象者について、受給者証交付時に使用方法の丁寧な説明を行い、確実に助成をうけていただけるように案内をした。今後も継続して実施することが必要である。				
	合計				201,000	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	高校3年生までの医療費無料化				190,000	18歳までの医療費無料化を継続して実施したことにより、子育て世帯の負担軽減、子どもの疾病の早期発見、早期治療を促進し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりにつなげた。また、公費負担医療費助成制度については、制度が周知されたことにより、申請件数がR4年度はR3年度の2倍近くとなり、助成金額も約2.5倍となった。				
	合計				190,000	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	高校3年生までの医療費無料化				186,500					
	合計				186,500	自己評価				
R6	高校3年生までの医療費無料化				110,000					
	合計				110,000	自己評価				
R7	高校3年生までの医療費無料化				110,000					
	合計				110,000	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
受診件数		目標		80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	件	単年
		実績	—	63,753	79,715					
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-15	達成度		79.7%	99.6%					
上記指標の設定理由		医療費の無料化により子育て世代における経済的負担の軽減という子育て支援が反映されるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実									
施策	② 地域ぐるみの子育て支援の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 子どもの医療費自己負担の無料化の継続及び任意予防接種の費用助成の拡充に取り組みます。									
担当部課	部名	健康福祉部	課名	国保医療課						
	部名	健康福祉部	課名	健康課						
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業		経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	おたふくかぜ任意予防接種助成事業		462	引き続き助成事業を実施し、おたふくかぜ任意予防接種助成事業については、136名、小児インフルエンザ任意予防接種助成事業については、1,583名が接種をしたが、目標を下回った。 令和4年度はおたふくかぜが任意予防接種の対象が拡大されるため、乳幼児健診での案内など周知に取り組む。						
	小児インフルエンザ任意予防接種助成事業		3,510							
	合計		3,972	自己評価	C…目標を下回っている					
R4	おたふくかぜ任意予防接種助成事業		1,425	おたふくかぜ・小児等インフルエンザ任意予防接種ともに、対象を拡大し、おたふくかぜ任意予防接種助成事業については、175名、小児インフルエンザ任意予防接種助成事業については、1,615名が接種をしたが、目標を下回った。 接種率向上のため、引き続き周知に取り組む。						
	小児インフルエンザ任意予防接種助成事業		8,400							
	合計		9,825	自己評価	C…目標を下回っている					
R5	おたふくかぜ任意予防接種助成事業		825							
	小児インフルエンザ任意予防接種助成事業		7,473							
	合計		8,298	自己評価						
R6	おたふくかぜ任意予防接種助成事業		1,500							
	小児インフルエンザ任意予防接種助成事業		9,473							
	合計		10,973	自己評価						
R7	おたふくかぜ任意予防接種助成事業		1,500							
	小児インフルエンザ任意予防接種助成事業		9,473							
	合計		10,973	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
任意予防接種接種者数（おたふくかぜ・小児インフルエンザワクチン）		目標		2,350	2,450	2,450	2,550	2,650	人	単年
		実績	—	1,719	1,790					
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-02	達成度		73.1%	73.1%					
上記指標の設定理由		任意予防接種の費用助成の拡充を図る指標として相応しいと考えるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策											
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ										
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実										
施策	② 地域ぐるみの子育て支援の推進										
施策目標・担当部課											
施策目標	ウ 乳幼児のいる世帯・多子世帯及びひとり親家庭など、子育て世帯の負担軽減に取り組みます。										
担当部課	部名	健康福祉部				課名	地域福祉課				
	部名	健康福祉部				課名	健康課				
	部名	ふるさと創造部				課名	人口増政策課				
目標を達成するための具体的な取り組み											
年度	事業					経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	ひとり親家庭の資格取得支援事業					4,131	ひとり親の生活の安定に資する資格取得を促進するため、4人に対し費用を助成した。新型コロナウイルス感染症対策のため短期入所の利用実績はなく、養育支援訪問事業の利用者も77件（うち委託1件）に留まった。				
	子育て支援事業					3,042					
	合計					7,173	自己評価	C…目標を下回っている			
R4	ひとり親家庭の資格取得支援事業					2,582	ひとり親の生活の安定に資する資格取得を促進するため、3人に対し費用を助成した。養育支援訪問事業は委託実施がなかったため経費負担がかからなかった。支援が必要な家庭には市が144件訪問した。				
	子育て支援事業					1,165					
	合計					3,747	自己評価	C…目標を下回っている			
R5	ひとり親家庭の資格取得支援事業					8,791					
	子育て支援事業					2,356					
	合計					11,147	自己評価				
R6	ひとり親家庭の資格取得支援事業					11,991					
	子育て支援事業					2,356					
	合計					14,347	自己評価				
R7	ひとり親家庭の資格取得支援事業					15,191					
	子育て支援事業					2,356					
	合計					17,547	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標			区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
ひとり親家庭の資格取得支援制度の延べ利用者数			目標		7	10	13	16	19	人	単年
			実績	2	4	3					
第2期地域創生戦略アクションプラン			3-05	達成度	57.1%	30.0%					
上記指標の設定理由			ひとり親の経済的自立という目標を達成するために、資格取得費用の助成制度の利用者数が適しているため。								
			目標								
			実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度								
上記指標の設定理由											
			目標								
			実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度								
上記指標の設定理由											

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを楽しむ									
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実									
施策	② 地域ぐるみの子育て支援の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 乳幼児のいる世帯・多子世帯及びひとり親家庭など、子育て世帯の負担軽減に取り組みます。									
担当部課	部名	健康福祉部	課名	地域福祉課						
	部名	健康福祉部	課名	健康課						
	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課						
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業		経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3										
	合計		0							自己評価
R4										
	合計		0							自己評価
R5	出産祝い金		20,543							
	かさいすく子育て定期便事業		10,000							
	出産・子育て応援給付金		23,442							
	合計		53,985							自己評価
R6	出産祝い金		21,205							
	かさいすく子育て定期便事業		11,000							
	出産・子育て応援給付金		22,836							
	合計		55,041							自己評価
R7	出産祝い金		21,205							
	かさいすく子育て定期便事業		11,000							
	出産・子育て応援給付金		22,836							
	合計		55,041							自己評価
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
出産祝い金、出産・子育て応援給付金支給率		目標				100	100	100	%	単年
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度							
上記指標の設定理由		対象者全員へ支給を行うため。また、出産・子育て応援給付金については面談を実施しての支給になり、対象者全員に面談実施を行うため。								
かさいすく子育て定期便の商品を手渡できた率		目標				85	85	85	人	単年
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由		対象となる保護者と子の見守りを行うことが本事業の目的であるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策											
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ										
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実										
施策	② 地域ぐるみの子育て支援の推進										
施策目標・担当部課											
施策目標	ウ 乳幼児のいる世帯・多子世帯及びひとり親家庭など、子育て世帯の負担軽減に取り組みます。										
担当部課	部名	健康福祉部				課名	地域福祉課				
	部名	健康福祉部				課名	健康課				
	部名	ふるさと創造部				課名	人口増政策課				
目標を達成するための具体的な取り組み											
年度	事業					経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	多子世帯、ひとり親世帯の下水道減免					11,101	「子育てにやさしいまち」として本取組を含めた各種子育て支援施策を市内外に積極的にPRすることで、制度利用者を増加させKPI達成を目指す。				
	ごみ袋無料配布（0～2歳児対象分）					439					
	合計					11,540	自己評価	C…目標を下回っている			
R4	多子世帯、ひとり親世帯の下水道減免					11,200	「子育てにやさしいまち」として本取組を含めた各種子育て支援施策を総合的に市内外にPRすることで、転入促進・転出抑制を図り、制度利用者を増加させる。				
	ごみ袋無料配布（0～2歳児対象分）					536					
	合計					11,736	自己評価	C…目標を下回っている			
R5	多子世帯、ひとり親世帯の下水道減免					11,200					
	ごみ袋無料配布（0～2歳児対象分）					536					
	合計					11,736	自己評価				
R6	多子世帯、ひとり親世帯の下水道減免					11,200					
	ごみ袋無料配布（0～2歳児対象分）					536					
	合計					11,736	自己評価				
R7	多子世帯、ひとり親世帯の下水道減免					11,200					
	ごみ袋無料配布（0～2歳児対象分）					536					
	合計					11,736	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標			区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
下水道基本料金の減免世帯数			目標		640	640	640	640	640	世帯	単年
			実績	634	613	616					
第2期地域創生戦略アクションプラン			3-12	達成度	95.8%	96.3%					
上記指標の設定理由			出生率が低下し、少子化が進む中でも、令和元年度の水準（実績）の維持を想定したため。								
ごみ袋支給者数（0～2歳児対象分）			目標		310	310	310	310	310	人	単年
			実績	304	232	260					
第2期地域創生戦略アクションプラン			3-13	達成度	74.8%	83.9%					
上記指標の設定理由			出生率が低下し、少子化が進む中でも、令和元年度の水準（実績）の維持を想定したため。								
			目標								
			実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン				達成度							
上記指標の設定理由											

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実									
施策	② 地域ぐるみの子育て支援の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	Ⅰ 企業に対して、子育てに配慮した職場環境づくりに関する情報提供や啓発を行うとともに、子育てをしている親に配慮した、子育て応援企業の支援を行います。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	産業活性化センター事業委託				4,000	事業所向けに労務管理、働き方改革セミナーを実施し、啓発を図っている。くるみんやえるぼし等の認定制度は、被用者への認知度も低く、取得メリットがないため促進されていないのが実情である。ただし、企業として、若者や女性に選ばれる事業所づくりへの関心や必要性の認識は、強くなっている。				
	くるみん認定企業、えるぼし認定企業の選定促進				0					
	合計				4,000	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
	R4	産業活性化センター事業委託				4,000	事業所向けに労務管理、働き方改革セミナーを実施するとともに、商工会議所の議員総会で管理者向けに講演を行うなど啓発を図っている。令和4年度より、雇用対策プロジェクトチームにおいて、若い世代の意見や考え方を取り入れながら子育て応援企業支援施策の検討、立案に取り組んでいる。			
くるみん認定企業、えるぼし認定企業の選定促進				0						
合計				4,000	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5		産業活性化センター事業委託				4,000				
	くるみん認定企業、えるぼし認定企業の選定促進				0					
	合計				4,000	自己評価				
	R6	産業活性化センター事業委託				4,000				
くるみん認定企業、えるぼし認定企業の選定促進				0						
合計				4,000	自己評価					
R7		産業活性化センター事業委託				4,000				
	くるみん認定企業、えるぼし認定企業の選定促進				0					
	合計				4,000	自己評価				
	目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
労務管理・雇用対策セミナー開催回数		目標		2	2	2	2	2	回	単年
		実績	2	2	2					
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-07	達成度		100.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		定期的な開催が必要とされる取組のため。								
市内事業所女性従業員正社員率		目標		46	47	48	49	50	%	単年
		実績	46	47	43					
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-02	達成度		102.2%	91.5%					
上記指標の設定理由		雇用環境が改善され、正社員化が高まることが、女性の社会進出が進む指標と考えられるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実									
施策	③ 子育て環境の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 未来型児童館等の子ども・子育てを総合的に支援する拠点や、親子が遊び、保護者同士も交流できるとともに地域資源を活かして市の歴史文化にふれる場の整備を進めています。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	未来型児童館整備事業 基本設計			0	庁内WGを8回開催し、関係課からの意見を聴取した。子ども・子育て会議で未来型児童館の現状を説明し、意見を聴取した。令和3年度に計画していた基本構想業務については、令和4年度に繰り越し実施する予定である。					
	合計			0	自己評価 D…目標を大きく下回っている					
	未来型児童館整備事業 基本構想			4,994	ワークショップを3回開催し、市民から子育てに関する課題や未来型児童館に期待する役割・機能等の意見を聴取した。子ども・子育て会議で未来型児童館の現状を説明し、意見を聴取した。加西市未来型児童館整備基本構想を策定した。					
R4	合計			4,994	自己評価 B…ほぼ目標を達成					
	未来型児童館整備事業 基本計画			8,000						
	合計			8,000	自己評価					
R5	未来型児童館整備事業 基本設計・実施設計			未定						
	合計			0	自己評価					
	未来型児童館整備事業 整備工事			未定						
R6	合計			0	自己評価					
	未来型児童館整備事業 整備工事			未定						
	合計			0	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
児童館施設		目標		0	0	0	1	1	箇所	累計
		実績	—	0	0					
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-06	達成度		—	—					
上記指標の設定理由		親子や子が安心して過ごせる場として、子育て支援拠点施設の整備を行うため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実									
施策	③ 子育て環境の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 教育・福祉・保健部門が連携した相談支援体制の強化と公営・民営の協調連携による幼児期の教育・保育提供体制の強化に取り組めます。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	利用者支援事業委託料			20,987	未就園児の子育て相談から発達（療育）等専門的な相談やこども園訪問相談等、幅広い分野で支援を行うため、専門事業者へ委託を実施した。 障がい児保育事業については、私立園5園で対象児12名を受入れ、11名の加配職員に補助金交付を行った。 保育教諭就労支援一時金では申請者10名中8名に支給を行った。					
	障がい児保育事業			14,390						
	保育教諭就労支援一時金			2,060						
	地域型保育施設整備事業			—						
	合計			37,437	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	利用者支援事業委託料			20,276	未就園児の子育て相談や療育、園への訪問相談の実施等、専門家の立場からの支援を行うため、専門事業者へ委託を実施した。障がい児保育事業は、私立園6園で対象児16名を受け入れ、14名の加配職員に補助金交付を行った。保育教諭就労支援一時金は、申請者34名中32名に支給を行った。公立園の民営化と小規模保育所2園を新たに整備することで、受け入れ体制の整備と利用者サービスの向上に繋がった。					
	障がい児保育事業			28,112						
	保育教諭就労支援一時金			6,740						
	小規模保育所整備事業			52,464						
	北条東すみれこども園民営化			120,699	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
合計			228,291							
R5	利用者支援事業委託料			23,000						
	障がい児保育事業			35,340						
	保育教諭就労支援一時金			12,750						
	小規模保育所整備事業			—						
	北条東すみれこども園民営化			134,884	自己評価					
合計			205,974							
R6	利用者支援事業委託料			23,000						
	障がい児保育事業			35,340						
	保育教諭就労支援一時金			12,750						
	小規模保育所整備事業			—						
	北条東すみれこども園民営化			134,884	自己評価					
合計			205,974							
R7	利用者支援事業委託料			23,000						
	障がい児保育事業			35,340						
	保育教諭就労支援一時金			12,750						
	小規模保育所整備事業			—						
	北条東すみれこども園民営化			134,884	自己評価					
合計			205,974							
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
待機児童数		目標		0	0	0	0	0	人	単年減少指標
		実績	0	2	0					
第2期地域創生戦略アクションプラン		3-10	達成度	0.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		子育て世帯の負担軽減には、待機児童がないことが重要となるため。								
民間施設を活用した子育て支援施設		目標		0	2	2	2	2	箇所	単年
		実績	0	1	2					
第2期地域創生戦略アクションプラン		3-11	達成度	100.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		家庭的保育事業等の設置により、待機児童解消を目指すため。								
合同研修会開催数		目標		3	3	3	3	3	回	単年
		実績	3	2	2					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	66.7%	66.7%					
上記指標の設定理由		公私立園職員対象に研修を実施することが、保育力向上を図るのに欠かせないため。								

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実									
施策	③ 子育て環境の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 遊びながら学べる屋内遊具施設を設置し、雨の日でも遊ぶことができる環境を整備します。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	屋内型遊戯施設 & テレワークセンター整備費			176,000	地域再生計画に基づき、地域創生拠点整備交付金を活用し、北条町駅前の商業施設であるアスティかさい2階に同施設を4/25（月）にオープンさせた。同施設では、保育士の常駐、未就学児の一時預かりを行い、子育て支援の新たな一歩となっている。（3月オープンからは遅れた） 今後は、同施設を知っていただくためのPRや利用者増、さらには、利用者の満足度向上にむけた取組みが課題である。					
	屋内型遊戯施設 & テレワークセンター運営費			9,000						
	合計			185,000						自己評価
R4	屋内型遊戯施設 & テレワークセンター運営費			30,180	こども広場及び一時預かりについては、販促活動により利用者も増えてきており、利用者が広域化している。一方、テレワークセンターについては、市内事業所のニーズの掘り起こしだけでなく、新規事業などを通じて利用者を新たに生み出す仕掛けづくりが必要と思われる。					
	合計			30,180						自己評価
R5	屋内型遊戯施設 & テレワークセンター運営費			30,840						
	合計			30,840						自己評価
R6	屋内型遊戯施設 & テレワークセンター運営費			30,180						
	合計			30,180						自己評価
R7	屋内型遊戯施設 & テレワークセンター運営費			30,180						
	合計			30,180						自己評価
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
屋内型遊戯施設 & テレワークセンターの利用者数		目標		12,000	48,000	50,000	52,000	54,000	人	単年
		実績	—	0	38,996					
第2期地域創生戦略アクションプラン		3-09	達成度	0.0%	81.2%					
上記指標の設定理由		アスティあさい2階の空き店舗に、地域創生拠点整備交付金を活用して、ポストコロナ時代の新しい働き方の推進と子育て支援、駅前のにぎわい創出を目的とした施設を整備し、R4年3月オープン予定後の利用者数とするため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	2 子どもの教育の充実									
施策	④ 教育の質の向上									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 小・中・特別支援学校における国際理解を深める教育や一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実に取り組むなど、特色ある学習活動によって、生きる力を育む教育を推進します。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	外国語教育充実事業			31,861	SDGs等に関する課題学習を取り入れた外国語教育は十分な広がりを 見せていない。趣旨を踏まえた丁寧な周知を図りたい。教師の専門性を 高めるための研修会や連携を深めるためのネットワーク会議により、理解 が深まり、支援体制が整ってきた。さらなる充実を図る。部活動指導員は、 全中学校での運用を実現した。社会的な要請である地域移行や現場 のニーズを大切に、さらなる増員を目指す。					
	特別支援教育コーディネーター部会等の開催			120						
	部活動指導員の配置			1,709						
	合計			33,690	自己評価	C…目標を下回っている				
R4	外国語教育充実事業			31,787	SDGs等に関する課題学習を取り入れた外国語教育を進めてきたが、残念なが ら広がらなかった。単元の中でどう取り入れていか丁寧に説明し周知を図りた い。教師の専門性を高めるための研修会等を開催することで、特別支援教育に 対する理解が深まり、支援体制が整った。引き続き職員研修の充実を図る。部 活動指導員は、全中学校での運用に加え、昨年度より2名の増員をした。今後 も、地域移行や現場のニーズを大切に、さらなる増員を目指す。					
	特別支援教育コーディネーター部会等の開催			120						
	部活動指導員の配置			2,785						
	合計			34,692	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	外国語教育充実事業			34,459						
	特別支援教育コーディネーター部会等の開催			188						
	部活動指導員の配置			4,744						
	合計			39,391	自己評価					
R6	外国語教育充実事業			34,459						
	特別支援教育コーディネーター部会等の開催			188						
	部活動指導員の配置			4,744						
	合計			39,391	自己評価					
R7	外国語教育充実事業			34,459						
	特別支援教育コーディネーター部会等の開催			188						
	部活動指導員の配置			4,744						
	合計			39,391	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
SDGs等に関する課題学習を取り入れた外国語教育実施校数		目標		3	5	7	10	15	校	単年
		実績	—	2	3					
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-09	達成度		66.7%	60.0%					
上記指標の設定理由		SDGs等に関する課題学習を取り入れた外国語教育を実施することによって、児童生徒の自己の確立をめざし、国際的視野に立って主体的に行動するために必要な態度・能力を育成するため。								
部活動外部人材の活用人数		目標		6	7	7	8	8	人	単年
		実績	4	5	7					
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-12	達成度		83.3%	100.0%					
上記指標の設定理由		外部人材を活用した部活動運営を通じた、地域とともに生きる力を育む教育を推進するため。								
特別支援教育研修会等の実施回数		目標		50	50	60	60	60	回	単年
		実績	48	48	64					
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-13	達成度		96.0%	128.0%					
上記指標の設定理由		研修によって特別支援教育コーディネーターを中心とした校園内支援体制を充実させ、すべての教職員の指導力向上を図ることが期待できるため。								

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	2 子どもの教育の充実									
施策	④ 教育の質の向上									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 小・中学校において連携した教育を実現するため、学校間及び各校種間の連携強化を図ります。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	総合教育センター				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	小・中学校の連携強化			45	中学校からの乗り入れ授業や中学校での授業体験は、中1ギャップの軽減につながっている。アンケート調査でも、中1生徒の90%以上が戸惑いの軽減につながったと回答している。また、研修講座における小中教員の意見交流が、それぞれの指導理念の共通理解や交流につながっている。課題としては、コロナ禍により対面での意見交流が難しいことである。オンライン等による交流によって連携強化を図りたい。					
	研修講座の開催			907						
	合計			952	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	小・中学校の連携強化			305	中学校からの乗り入れ授業や中学校への体験入学を体験した中1生徒の87%が戸惑いの軽減につながったと回答している。また、中学校区ごとに小中連携推進委員会や合同研修会、相互授業参観を実施し、小中の円滑な接続や指導のあり方を協議する場となった。進学への不安は軽減されているが、不登校の増加が課題である。					
	研修講座の開催			1,240						
	合計			1,545	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	小・中学校の連携強化			795						
	研修講座の開催			1,500						
	合計			2,295	自己評価					
R6	小・中学校の連携強化			795						
	研修講座の開催			1,500						
	合計			2,295	自己評価					
R7	小・中学校の連携強化			795						
	研修講座の開催			1,500						
	合計			2,295	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
市内小中学校における小中連携をねらいとした活動回数		目標		20	20	20	20	20	回	単年
		実績	21	18	23					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	90.0%	115.0%					
上記指標の設定理由		小中合同研修会や体験入学など、中学校区で開催することで児童生徒や教員が交流し、施策目標の達成が期待できると考えると、年間を通して計画すべき回数であるため。								
小中教員が交流や意見交換ができ、小中連携へつながる研修		目標		30	30	30	30	30	回	単年
		実績	34	37	36					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	123.3%	120.0%					
上記指標の設定理由		研修講座に参加した小中教員が同じ研修テーマで考え、意見交流をすることで、それぞれの考え方や指導方法に触れることができ、結果として施策目標達成につながるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	2 子どもの教育の充実									
施策	④ 教育の質の向上									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 地元高校との連携を強化し、活性化に向けた支援を行います。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	北条高校活性化協議会への支援				4,135	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった事業も多々あるが、ワクチン接種も進み、withコロナ、afterコロナを迎える中で、状況を適切に判断し、手厚い支援を実施していく。				
	播磨農業高校への支援				0					
	合計				4,135	自己評価	D…目標を大きく下回っている			
R4	北条高校活性化協議会への支援				8,500	新型コロナウイルス感染の状況も落ち着く中で、各種事業を再開することができた。特に北条高校活性化協議会においては、アフタースクールゼミでの対面授業を再開するとともに鹿児島県鹿屋市における平和学習支援等、新たな取組みも実施することができた。なお、アフタースクールゼミについては、R3年度より生徒の下校時の安全面に配慮し、部活動終了後の講座は実施しなくなったため、生徒受講率は下がっているものの、参加した生徒の満足度は高い状況である。				
	播磨農業高校への支援				800					
	合計				9,300	自己評価	C…目標を下回っている			
R5	北条高校活性化協議会への支援				8,500					
	播磨農業高校への支援				800					
	合計				9,300	自己評価				
R6	北条高校活性化協議会への支援				8,500					
	播磨農業高校への支援				800					
	合計				9,300	自己評価				
R7	北条高校活性化協議会への支援				8,500					
	播磨農業高校への支援				800					
	合計				9,300	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
アフタースクールゼミの受講者率		目標		32	34	36	38	40	%	単年
		実績	30	15	15					
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-14	達成度		46.9%	44.1%					
上記指標の設定理由		アフタースクールゼミを更に浸透させて学力向上を目指し、1年に受講率を2%ずつ増加させる。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	2 子どもの教育の充実									
施策	④ 教育の質の向上									
施策目標・担当部課										
施策目標	エ タブレット端末を活用し、オンライン授業の普及など情報教育の環境を整備し、子どもたちの情報活用力の向上を図ります。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	ICT教育支援プロジェクト事業				2,590	指導者側が「分かりやすい授業」を目指し、GIGAスクール端末を活用する場面はかなり増えている。しかし、次の段階として、教師用デジタル教科書および文部科学省による実証事業による学習者用デジタル教科書を、学習者にとって有効な活用となる手法や単元開発も含めた研究や研修が必要である。				
	教師用デジタル教科書整備（中学校）※4年更新				5,210					
	合計				7,800	自己評価	C…目標を下回っている			
R4	ICT教育支援プロジェクト事業				5,429	R4年度は小学校音楽の指導者用デジタル教科書を導入した。授業の中でGIGAスクール端末を活用しながら、学習者にとって「個別最適化」された学びを実現するために、授業改善を継続的に行っている。また、ICT支援員を週1回ながら全校に配置し、年次更新作業や授業支援、教職員のスキルアップに貢献することで、子どもたちの情報活用力の向上を図ることができている。				
	教師用デジタル教科書整備（小学校）				2,759					
	合計				8,188	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	ICT教育支援プロジェクト事業				5,935					
	合計				5,935	自己評価				
R6	ICT教育支援プロジェクト事業				5,935					
	教師用デジタル教科書整備（小学校）				12,700					
	合計				18,635	自己評価				
R7	ICT教育支援プロジェクト事業				5,935					
	デジタル教科書整備（中学校）				5,210					
	合計				11,145	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
児童・生徒用P Cの使用率		目標		60	80	100	100	100	%	単年
		実績	—	49.29	49.9					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		82.2%	62.4%					
上記指標の設定理由		児童生徒が日常的に学習や情報収集でのICT活用や、双方向による多様な人々と学び合う学習を行い、各教科等における学習活動の充実を図るため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	2 子どもの教育の充実									
施策	⑤ 教育環境の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 安全な教育環境を実現するため、感染症対策に努めるとともに市内小中学校の老朽校舎の改修等を進めています。									
担当部課	部名	教育委員会				課名	教育総務課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	教育施設環境整備事業				64,600	富田小学校体育館改修と宇仁小学校体育館改修を実施した。 今後も計画的な維持管理・修繕が必要である。				
	合計				64,600	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	教育施設環境整備事業				100,573	富田小学校北校舎及び北条中学校武道場改修工事を実施した。 今後も計画的な維持管理・修繕が必要である。 デンタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、小中・特別支援学校等にSTEAM.laboを整備した。（ハード整備費92,355千円）				
	合計				100,573	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	教育施設環境整備事業				4,000					
	合計				4,000	自己評価				
R6	教育施設環境整備事業				198,400					
	合計				198,400	自己評価				
R7	教育施設環境整備事業				66,400					
	合計				66,400	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
改修工事の完了棟数		目標		3	5	8	12	13	棟	累計
		実績	1	3	5					
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-11	達成度		100.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		昭和56年度以前に建築された建物は耐震化工事に併せて改修工事を実施しているが、昭和56年度以降に建設された建物は改修を行なっておらず、老朽化が進んでいるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	2 子どもの教育の充実									
施策	⑤ 教育環境の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 小・中学校のあり方の検討を進め、これからの地域に相応しい学校の環境整備を図ります。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課				
	部名	教育委員会			課名	教育総務課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	小・中学校のあり方の検討			0	市長と教育委員が協議を行う、「総合教育会議」を開催し、学校あり方について意見交換を行うとともに、「未来の学校構想検討委員会」を教育委員会とともに運営し、素案について保護者・地域代表・教職員と多様な関係者からの意見を聴取できるよう、アンケートの設計を行った。今後、より丁寧に議論を重ねつつ、構想案を作成し、市民の理解を深めていくため、綿密な進行管理を行う必要がある。					
	「未来の学校構想検討委員会」の運営			0						
	「未来の学校構想(素案)」アンケートの設計			0						
	合計			0						自己評価
R4	「未来の学校構想検討委員会」の運営			0	4～5月に保護者や教職員、地域代表(約2,500件)を対象としたアンケート調査を実施した。また、昨年度に引き続き、「未来の学校構想検討委員会」を教育委員会とともに運営し、9月には答申が提出された。その後、10・11月にワークショップ(計3回・累計161名)を開催し、答申に対する意見集約を行った。次年度からは具体的な計画策定のフェーズに進むが、引き続き多くの方々からの意見を聴取していきたい。					
	「未来の学校構想(素案)」アンケートの実施・報告書作成			1,500						
	学校あり方についての市民ワークショップ開催			2,000						
	合計			3,500						自己評価
R5	新中学校整備における基本構想の策定委託			10,000						
	新中学校整備における基本構想の策定委員会の運営			877						
	合計			10,877						自己評価
R6	新中学校整備における基本計画・基本設計・実施計画の策定委託(1/2)			未定						
	合計			0						自己評価
R7	新中学校整備における基本計画・基本設計・実施計画の策定委託(2/2)			未定						
	合計			0						自己評価
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
加西市総合教育会議の開催数		目標		2	2	2	2	2	回	単年
		実績	2	2	2					
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度		100.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		市長部局と教育委員会との協議を行い、市全体の施策としての方向性を検討するため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策												
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ											
政策	2 子どもの教育の充実											
施策	⑤ 教育環境の充実											
施策目標・担当部課												
施策目標	イ 小・中学校のあり方の検討を進め、これからの地域に相応しい学校の環境整備を図ります。											
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課						
	部名	教育委員会			課名	教育総務課						
目標を達成するための具体的な取り組み												
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題							
R3	小・中学校のあり方の検討			374	市内小中学校の将来のあり方を有識者らで検討する「加西市未来の学校構想検討委員会」を設置し、市長から諮問を受けて翌年9月に答申を行うこととし、令和3年度は計3回の会議を開催した。中学校再編と小学校の学園構想を柱とする素案を発表し、連合PTA、教職員等へアンケート調査の説明を行った。令和4年度はアンケート結果の分析、答申作成に向けて9月末までの会議開催数を増やす必要がある。							
	合計			374						自己評価	A…目標を上回って達成	
R4	小・中学校のあり方の検討			1,042	「加西市未来の学校構想検討委員会」を令和4年度は計5回の会議を開催した。中学校再編と小学校の学園構想を柱とする素案について、保護者・地域代表・教職員と多様な関係者からの意見を基に加西市未来の学校構想について検討を行った。9月に加西市未来の学校構想検討委員会より加西市未来の学校構想についての答申を行った。							
	合計			1,042						自己評価	A…目標を上回って達成	
R5												
	合計			0						自己評価		
R6												
	合計			0						自己評価		
R7												
	合計			0						自己評価		
目標を達成するための主な指標（KPI）												
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分		
検討委員会、説明会、学習会の開催数		目標		5	10	11	11	11	回	単年		
		実績	—	5	10							
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度		100.0%	100.0%							
上記指標の設定理由		地域や学校等の関係者や住民の意見聴取を行い検討を行うため、各会議の開催回数を指標とする。										
		目標										
		実績										
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度										
上記指標の設定理由												
		目標										
		実績										
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度										
上記指標の設定理由												

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	2 子どもの教育の充実									
施策	⑥ 地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア いじめ・不登校対策として、スクールカウンセラーや学校サポートチームによる相談・支援等を行います。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	総合教育センター				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	スクールソーシャルワーカーによる相談・家庭訪問等の支援			人件費のみ	令和3年度よりスクールソーシャルワーカーを1名増員し、2名体制をとった。その結果、学校との連携や家庭訪問、相談等について、令和2年度と比べ1000件以上対応した。また、各学校への各種支援を周知することで、スクールソーシャルワーカー等の活用が認知されるようになり、各種相談や派遣依頼が増加している。支援が必要だがつなぐことができていない家庭をどのように支援していくかが課題である。					
	発達臨床心理士による検査・相談等の支援			人件費のみ						
	適応教室による不登校支援			323						
	総合教育センター臨床心理士による教育相談			1,340						
	スクールカウンセラーによる教育相談			県費						
	合計			1,663						自己評価
R4	スクールソーシャルワーカーによる相談・家庭訪問等の支援			人件費のみ	令和4年度よりセンター臨床心理士の配置日数を増やした。これにより、多くの相談者を相談支援につなぐことができた。スクールソーシャルワーカーや発達支援アドバイザーの認知も広がり、派遣依頼のケースも増加している。しかし、不登校児童生徒数は増加傾向であり、ひきこもり防止や居場所支援等の個に応じた支援がより必要な状況となっている。					
	発達臨床心理士による検査・相談等の支援			人件費のみ						
	教育支援センター・校内フリースクールによる不登校支援			323						
	総合教育センター臨床心理士による教育相談			2,250						
	スクールカウンセラーによる教育相談			県費						
	合計			2,573						自己評価
R5	スクールソーシャルワーカーによる相談・家庭訪問等の支援			人件費のみ						
	発達臨床心理士による検査・相談等の支援			人件費のみ						
	教育支援センター・校内フリースクールによる不登校支援			6,425						
	総合教育センター臨床心理士による教育相談			2,250						
	スクールカウンセラーによる教育相談			県費						
	合計			8,675						自己評価
R6	スクールソーシャルワーカーによる相談・家庭訪問等の支援			人件費のみ						
	発達臨床心理士による検査・相談等の支援			人件費のみ						
	教育支援センター・校内フリースクールによる不登校支援			5,000						
	総合教育センター臨床心理士による教育相談			2,250						
	スクールカウンセラーによる教育相談			県費						
	合計			7,250						自己評価
R7	スクールソーシャルワーカーによる相談・家庭訪問等の支援			人件費のみ						
	発達臨床心理士による検査・相談等の支援			人件費のみ						
	教育支援センター・校内フリースクールによる不登校支援			5,000						
	総合教育センター臨床心理士による教育相談			2,250						
	スクールカウンセラーによる教育相談			県費						
	合計			7,250						自己評価
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
市内16校のスクールソーシャルワーカーの活用率（活用した学校/学校数×100）		目標		100	100	100	100	100	%	単年
		実績	94	100	100					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		100.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		相談件数が増えることが必ずしも支援できている評価につながるとはいえないが、実際の対応率であれば不登校の相談・支援の活動状況が把握できるため。								
市内16校の発達臨床心理士の活用率（活用した学校/学校数×100）		目標		100	100	100	100	100	%	単年
		実績	94	100	100					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		100.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		相談件数が増えることが必ずしも支援できている評価につながるとはいえないが、実際の対応率であれば発達に課題を抱える児童生徒の相談・支援の活動状況が把握できるため。								
総合教育センター臨床心理士による教育相談回数		目標		130	130	130	130	130	回	単年
		実績	121	190	231					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		146.2%	177.7%					
上記指標の設定理由		指標として新規相談者数等も検討したが、継続相談者も多く、継続的な支援が必要であり、全体の教育相談回数の方がより取組に合った効果の反映が期待できるため。								

基本方針・政策・施策											
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ										
政策	2 子どもの教育の充実										
施策	⑥ 地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実										
施策目標・担当部課											
施策目標	イ 地域全体での学校の支援や、地域に信頼される学校づくりの推進に取り組みます。										
担当部課	部名	教育委員会				課名	学校教育課				
目標を達成するための具体的な取り組み											
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	加西学校づくり応援事業				5,291	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、参加者を限定するなど各校において工夫し、可能な限りでオープンスクールを開催することができた。ゲストティーチャーの活用や学校評議員会の実施回数は目標に到達しなかったが、より地域との連携強化を図り、特色ある学校づくりをするために、地域との対話の場を設定していく。					
	オープンスクールの実施				0						
	学校評議員会の開催				525						
	合計				5,816	自己評価	C…目標を下回っている				
R4	加西学校づくり応援事業				6,030	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑みながら、参加者を限定するなど各校において工夫し、可能な限りでオープンスクール・学校評議員会を開催することができた。学校づくり×STEAM推進事業を活用しながら、地域素材・人材の活用、地域企業との協働により、より地域との連携強化を図り、特色ある学校づくりをさらに進めていく。					
	オープンスクールの実施				0						
	学校評議員会の開催				520						
	合計				6,550	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	加西学校づくり応援事業				8,100						
	オープンスクールの実施				0						
	学校評議員会の開催				0						
	合計				8,100	自己評価					
R6	加西学校づくり応援事業				8,100						
	オープンスクールの実施				0						
	学校評議員会の開催				0						
	合計				8,100	自己評価					
R7	加西学校づくり応援事業				8,100						
	オープンスクールの実施				0						
	学校評議員会の開催				0						
	合計				8,100	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標			区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
学校における地域人材（ゲストティーチャー）の活用人数			目標		850	850	900	900	900	人	単年
			実績	810	672	792					
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-17	達成度		79.1%	93.2%						
上記指標の設定理由			SDGsの視点に基づき、地域の特性をいかした学習素材や地域人材を活用したSTEAM教育の推進を図るため。								
オープンスクール開催日数			目標		90	100	100	110	110	日	単年
			実績	85	111	114					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		123.3%	114.0%						
上記指標の設定理由			社会に開かれた教育課程の具現化し、地域から信頼される学校づくりを推進するため。								
学校評議員会の実施回数			目標		32	32	40	40	48	回	単年
			実績	32	29	34					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		90.6%	106.3%						
上記指標の設定理由			オープンスクールに参加した保護者や地域住民からの意見や感想をもとに省察し、地域から信頼される学校づくりを推進するため。								

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	2 子どもの教育の充実									
施策	⑥ 地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 地域との連携・協力のもと、子どもの学習支援・体験活動の推進に取り組みます。									
担当部課	部名	教育委員会				課名	総合教育センター			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業		経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	土曜チャレンジ学習事業		800	土曜チャレンジ学習事業では、それぞれの実施校区における体験や学習を通して、地域の方々や家族とのふれあいを深めたり、地域の良さを発見することができた。学校支援活動事業においても、すべての学校において地域を学習の場として生かしたり、地域人材を活用したりして、学校では実現できない体験学習を展開している。ただ、コロナによる制限や、活動を実施するための計画立案や連絡調整、準備に多くの時間と労力を要するため、負担軽減が課題である。						
	学校支援活動事業		155							
	合計		955	自己評価	C…目標を下回っている					
R4	土曜チャレンジ学習事業		1,000	地域の多様な経験や技能をもつ人材の協力を得ながら、土曜日等の学校休業日に、体系的・継続的なプログラムを実施している。6小学校区で計画され、コロナ禍により一部中止をしたものの、5小学校区で35教室が実施され参加総数は862名にのぼった。計画立案や連絡調整、準備に多くの時間と労力を要するため、負担軽減が課題である。						
	学校支援活動事業		182							
	合計		1,182	自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R5	土曜チャレンジ学習事業		1,514							
	学校支援活動事業		156							
	学校運営協議会設置事業		2,081							
	合計		3,751	自己評価						
R6	土曜チャレンジ学習事業		1,514							
	学校支援活動事業		156							
	学校運営協議会設置事業		2,081							
	合計		3,751	自己評価						
R7	土曜チャレンジ学習事業		1,514							
	学校支援活動事業		156							
	学校運営協議会設置事業		2,081							
	合計		3,751	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
土曜チャレンジ学習事業実施箇所数		目標		6	6	6	6	6	箇所	単年
		実績	6	4	5					
第2期地域創生戦略アクションプラン		4-10	達成度	66.7%	83.3%					
上記指標の設定理由		市内11小学校区の半数以上が開催することを目指し、多くの児童生徒の学習支援や体験活動の場を提供するため。								
地域による学習支援回数		目標		320	320	320	320	320	回	単年
		実績	320	297	327					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	92.8%	102.2%					
上記指標の設定理由		継続した学習支援の実施が必要と考え、年間320回は上限に近い回数であり、この状態を継続することを目標とする。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり									
施策	⑦ 生涯学習の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 公民館を中心とした学習の機会を充実させるとともに、自主的に学ぶ公民館登録グループによる社会貢献活動を推進し、幅広い年代の方が利用しやすい環境を整えます。									
担当部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課						
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業		経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	公民館主催講座・市民教養講座の開催		2,577	通年開催の連続講座36講座（394回）、子ども・親子講座など単発講座9講座（13回）を開催した。高齢者の参加者が多くシニアカレッジ「かしの木学園」受講生は年々増加している。また、市民教養講座ではデジタルディバイド解消を目的とした「初めてのスマホ講座」など3講座を実施した。今後は、社会問題や地域課題をテーマにした講座やリカレント教育、STEAM教育にも目を向けるとともに、幅広い世代に参加いただくため、ウェブ講座など開催方法を検討する。						
	公民館まちづくり出前講座の拡大とコーディネート		0							
合計		2,577	自己評価	B…ほぼ目標を達成						
R4	公民館主催講座・市民教養講座の開催		2,988	通年開催の連続講座36講座（393回）、子ども・親子講座など単発講座7講座（10回）を開催した。市民教養講座ではSTEAM教育の観点も取り入れ「ロケット de STEAM」、「初めてのスマホ講座」、「天文教室」など5講座（9回）を開催した。また、公民館・オクワツ加西のあり方検討委員会を開催し、「加西市公民館・オクワツ加西の発展のための基本計画」を策定した。今後は、基本計画で目指す“居場所”であり“学びのプラットフォーム”となっていくためにも社会問題や地域課題をテーマにした講座やリカレント教育、STEAM教育など講座内容の検討とともに、幅広い世代に参加いただけるように、STEAMラボを活用するなど開催方法を検討し、取り組む。						
	公民館まちづくり出前講座の拡大とコーディネート		0							
合計		2,988	自己評価	B…ほぼ目標を達成						
R5	公民館主催講座・市民教養講座・STEAM講座の開催		4,350							
	公民館まちづくり出前講座の拡大とコーディネート		0							
合計		4,350	自己評価							
R6	公民館主催講座・市民教養講座・STEAM講座の開催		4,350							
	公民館まちづくり出前講座の拡大とコーディネート		0							
合計		4,350	自己評価							
R7	公民館主催講座・市民教養講座・STEAM講座の開催		4,350							
	公民館まちづくり出前講座の拡大とコーディネート		0							
合計		4,350	自己評価							
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
公民館等主催講座総数		目標		410	410	410	420	420	回	単年
		実績	406	407	403					
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-15	達成度		99.3%	98.3%					
上記指標の設定理由		公民館主催講座からの登録グループ化を目指していることから、活動のきっかけ作りとして主催講座を増やすことが目標達成につながると考えたため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり									
施策	⑦ 生涯学習の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 幅広く高度な情報が提供できるよう、図書館サービスの拡充に努め、図書館の活性化を図ります。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	図書館				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	図書資料の充実			15,903	定期的におはなし会（295名）、えほんのひろば（142名）、映画会（1,112名）を開催しました。コロナ禍のため、少数参加のイベントを数多く実施した。 来館者の目に留まるように、3階にミニ展示コーナーを設け、図書資料を借りやすい環境づくりに努めた。 今後は、イベント参加人数の定員を増やすことも検討する。					
	視聴覚資料の充実			12,871						
	電子図書館の推進			0						
	図書館活性化イベントの開催			498						
	合計			29,272	自己評価	C…目標を下回っている				
R4	図書資料の充実			16,110	定期的におはなし会（491名）、えほんのひろば（172名）、映画会（1,365名）を開催した。新型コロナウイルスの状況を見ながらイベント数や参加定員数を増やしていった。 現図書館開館20周年を記念し、人気絵本作家を招いて絵本ライブ及びワークショップを開催した。また、「デジタル田園都市国家構想推進交付金」を活用し、電子図書館システムを含むスマート図書館サービスを導入した。 スマート図書館サービスの新機能を多くの方に利用してもらい、図書館の活性化に繋げたい。					
	視聴覚資料の充実			2,011						
	電子図書館の推進			17,518						
	図書館活性化イベントの開催			845						
	合計			36,484	自己評価	C…目標を下回っている				
R5	図書資料の充実			15,033						
	視聴覚資料の充実			1,650						
	電子図書館の推進			5,601						
	図書館活性化イベントの開催			866						
	合計			23,150	自己評価					
R6	図書資料の充実			15,033						
	視聴覚資料の充実			1,650						
	電子図書館の推進			5,601						
	図書館活性化イベントの開催			866						
	合計			23,150	自己評価					
R7	図書資料の充実			15,033						
	視聴覚資料の充実			1,650						
	電子図書館の推進			5,601						
	図書館活性化イベントの開催			866						
	合計			23,150	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
図書館来館者数		目標		210.9	213.2	215.4	217.7	220.0	千人	単年
		実績	208.7	174.9	176.4					
第2期地域創生戦略アクションプラン	－	達成度		82.9%	82.7%					
上記指標の設定理由		図書館の活性化を測る指標として、賑わいを表す来館者数が適していると判断し、目標値はコロナ禍の影響を受ける以前のH30年度の数値を設定した。								
図書館サービス利用者数		目標		100.0	100.5	101.0	101.5	102.0	千人	単年
		実績	99.5	98.1	94					
第2期地域創生戦略アクションプラン	－	達成度		98.1%	93.5%					
上記指標の設定理由		図書館サービスの充実度を測る指標として、図書資料の貸出と視聴覚資料の視聴等のサービスを利用した合計人数とし、目標値はサービスの拡充を図ることで基準値（R円）より増となる数値とした。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり									
施策	⑧ 芸術・スポーツの振興									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 生活の様々な場面において芸術文化を感じることをできる環境づくりやイベントの開催など、高齢者や障がい者を含めたスポーツ、レクリエーション活動の推進に取り組みます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	アスリート等によるスポーツ教室の開催及びスポーツ観戦				7,647	街角コンサートについては、12回の開催を予定していたが感染拡大対策のため8回の開催となった。プロサッカーチームのチエントクオーレハリマやヴィッセル神戸によるサッカー教室9回開催。日ノ本学園新体操部による新体操教室の開催。ヴィクトリーナ姫路応援ツアー4回開催。大人のテニス教室4回開催。新型コロナウイルス拡大防止のため中止した事業あり。				
	芸術文化に触れる機会の創出（文化祭、街角コンサート等）				704					
合計				8,351	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	アスリート等によるスポーツ教室の開催及びスポーツ観戦				7,786	プロサッカーチームのチエントクオーレハリマやヴィッセル神戸によるサッカー教室9回開催。ヴィクトリーナ姫路応援ツアー5回開催。新体操教室、テニス教室、バスケットボール教室、バラスーツ体験教室各1回開催。文化祭の開催11/3～23（囲碁大会中止）。街角コンサート12回開催。日本酒の日コンサートの開催1回、県いけばな展の開催2日（市展併催）。サイサイ囃子振付作成、音源CD化。				
	芸術文化に触れる機会の創出（文化祭、街角コンサート等）				1,129					
	市制55周年記念 加藤登紀子コンサート				4,000					
	市制55周年記念 ふれあいの祭典—兵庫県いけばな展（地域展）				709					
	加西サイサイ囃子普及事業				1,300					
合計				14,924	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	アスリート等によるスポーツ教室の開催及びスポーツ観戦				7,786					
	芸術文化に触れる機会の創出（文化祭、街角コンサート等）				1,267					
合計				9,053	自己評価					
R6	アスリート等によるスポーツ教室の開催及びスポーツ観戦				7,786					
	芸術文化に触れる機会の創出（文化祭、街角コンサート等）				1,267					
合計				9,053	自己評価					
R7	アスリート等によるスポーツ教室の開催及びスポーツ観戦				7,200					
	芸術文化に触れる機会の創出（文化祭、街角コンサート等）				1,267					
合計				8,467	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
スポーツ教室開催回数		目標		18	18	19	19	20	回	単年
		実績	17	18	18					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		100.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		参加人数も検討しましたが、種目によって開催規模（募集人数）が異なるため、実施回数を設定しました。								
文化祭・街角コンサート等参加人数		目標		1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	人	単年
		実績	2,851	2,569	4,929					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		160.6%	289.9%					
上記指標の設定理由		事業開催回数にとどまらず内容の魅力拡大を含めた検証を行うため、単なる回数ではなく参加人数を設定しました。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり									
施策	⑧ 芸術・スポーツの振興									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 総合体育館の整備や既存施設の改修を行い、身近な場所で芸術やスポーツを楽しむ機会を拡充します。									
担当部課	部名	ふるさと創造部		課名	文化・観光・スポーツ課					
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	住民ニーズに合った体育施設の有効活用（施設修繕）			900	市民会館では、自主事業として11本を計画し全事業を実施、4,648人の参加があった。ランドマーク展望台登山道修繕。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館日や開館時間の短縮があったため体育施設の利用者数は目標に達していないが、前年度比においては114%と増加している。					
	指定管理者による体育事業の展開			29,547						
	体育館耐震診断、長寿命計画			10,335						
	指定管理者による文化事業の展開			55,481						
	市民会館駐車場整備によるバリアフリー化の推進			8,250						
	合計			104,513						
R4	住民ニーズに合った体育施設の有効活用（施設修繕）			6,417	加西テニスコート殺虫灯交換、市民クラウドバックネット塗装修繕、アラジンスタジアム放送設備修繕等を行う。施設利用者数は目標には達していないが、前年度比106%と増加している。市民会館では、自主事業として12本を計画し全事業を実施、5,974人の参加があった。市民会館北側駐車場の実施設計を行った。					
	指定管理者による体育事業の展開			29,547						
	体育館耐震基本計画			1,800						
	指定管理者による文化事業の展開			55,789						
	市民会館北側駐車場整備			2,044						
	合計			95,597						
R5	住民ニーズに合った体育施設の有効活用（施設修繕）			5,000	自己評価					
	指定管理者による体育事業の展開			29,547						
	体育館耐震実施設計			3,658						
	指定管理者による文化事業の展開			56,273						
	市民会館舞台装置改修事業			100,000						
	合計			194,478						
R6	住民ニーズに合った体育施設の有効活用（施設修繕）			1,000	自己評価					
	指定管理者による体育事業の展開			29,547						
	体育館耐震改修			56,544						
	指定管理者による文化事業の展開			56,273						
	市民会館舞台装置改修事業			2,300						
	合計			145,664						
R7	住民ニーズに合った体育施設の有効活用（施設修繕）			1,000	自己評価					
	指定管理者による体育事業の展開			29,547						
	指定管理者による文化事業の展開			56,273						
	合計			86,820						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
文化・スポーツ活動の参加者数		目標		188	220	220	250	270	千人	単年
		実績	188	141	171					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		75.0%	77.7%					
上記指標の設定理由		施設の適切な管理運営による文化スポーツ各分野の一般利用者増加と、指定管理者によるより魅力的で多彩なメニューによる新たな施設利用者獲得の相乗効果を算るため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり									
施策	⑧ 芸術・スポーツの振興									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 地域に密着して活動するスポーツ団体や芸術団体の指導者を養成し、活動を支援します。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	スポーツ団体リーダー・指導者の養成				500	文化連盟所属団体へ、活動補助金を交付。スポーツ教室を通じて一流のコーチの指導を学ぶ機会の創出を図った。一方、多くの団体で高齢化が進んでおり、いかに活動を活性化し新規入会を募るかが課題といえる。				
	文化団体活性化に向けた活動推進(文化連盟)				580					
	合計				1,080	自己評価	A…目標を上回って達成			
R4	スポーツ団体リーダー・指導者の養成				500	スポーツ協会及びスポーツ少年団指導者を対象とした指導者講習会を開催。体罰等のスポーツガバナンスについてディスカッション方式で学び、現場で活かせるようにした。 文化連盟所属団体へ、活動補助金を交付。				
	文化団体活性化に向けた活動推進(文化連盟)				800					
	合計				1,300	自己評価	A…目標を上回って達成			
R5	スポーツ団体リーダー・指導者の養成				500					
	文化団体活性化に向けた活動推進(文化連盟)				800					
	合計				1,300	自己評価				
R6	スポーツ団体リーダー・指導者の養成				500					
	文化団体活性化に向けた活動推進(文化連盟)				800					
	合計				1,300	自己評価				
R7	スポーツ団体リーダー・指導者の養成				500					
	文化団体活性化に向けた活動推進(文化連盟)				800					
	合計				1,300	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
スポーツ指導者研修会の開催数		目標		1	1	1	2	2	回	単年
		実績	1	1	1					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	100.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		内容の充実を図りつつ、研修会の複数開催を目指すため。								
文化団体による自主事業開催回数		目標		20	45	54	56	58	回	単年
		実績	54	34	52					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	170.0%	115.6%					
上記指標の設定理由		広く一般市民向け事業を積極的に実施し、ゆくゆくは芸術分野の裾野拡大及びリーダー育成に繋げるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり									
施策	⑧ 芸術・スポーツの振興									
施策目標・担当部課										
施策目標	Ⅰ 郷土愛の醸成と伝統の継承を目的として、加西市こども狂言塾や加西能など、市独自の活動の促進に取り組みます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	播磨国風土記事業（こども狂言塾・加西能・風土記講座等）				11,700	こども狂言塾は、新規入塾者が5名あったが、卒業生との比率ではマイナスとなっており、現行募集方法での頭打ち感が出ている。 加西能はコロナ影響で、5月から8月に開催を変更し実施した（参加者：650人）。 風土記講座は令和2年度持ち越し分3回、入門編1回、本講座4回の計8回開催したが、コロナの影響もあり、大きくは伸びなかった。				
	合計				11,700					
R4	播磨国風土記事業（こども狂言塾・加西能・風土記講座等）				11,000	こども狂言塾は、新規入塾者が8名あった。姫路城新能へ初出演。市内イベントに4回出演。 加西能は5月4日にソーシャルディスタンス席を確保し400席で開催（参加者：1部・2部で650人）。 風土記講座は本講座4回、座談会1回の計5回開催し、毎回100人を超える受講があった。				
	合計				11,000					
R5	播磨国風土記事業（こども狂言塾・加西能・風土記講座等）				11,000	自己評価 B…ほぼ目標を達成				
	合計				11,000					
R6	播磨国風土記事業（こども狂言塾・加西能・風土記講座等）				11,000	自己評価 B…ほぼ目標を達成				
	合計				11,000					
R7	播磨国風土記事業（こども狂言塾・加西能・風土記講座等）				11,000	自己評価				
	合計				11,000					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
こども狂言塾塾生数		目標		30	30	30	30	30	人	単年
		実績	29	22	19					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		73.3%	63.3%					
上記指標の設定理由		指導体制と塾生個々の習熟バランスを踏まえた、こども狂言塾の規模を継続し、取り組みを継承するため。								
風土記講座参加者数		目標		630	640	650	660	670	人	単年
		実績	631	671	577					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		106.5%	90.2%					
上記指標の設定理由		風土記講座の受講者が播磨国風土記と加西との関わりを理解し、郷土愛を醸成することを目指すため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり									
施策	⑨ 健康増進の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 市民の健康づくりに対する意識醸成に取り組むほか、こころの健康についての支援体制を整えます。									
担当部課	部名	健康福祉部			課名	健康課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	こころの健康相談（電話・対面）の実施			147	こころの健康相談（電話・対面）について、電話（実：34人 延：96回）、対面（実：14人、延19回）相談を実施した。必要時には関係機関等と連携し、支援につないでいる。ゲートキーパー研修はコロナ禍により一般市民対象とすることが困難となり、市役所職員を対象に実施した。こころのケアセミナーはコロナ禍により実施できなかった。臨床心理士退職に伴い、次年度以降は同内容での相談体制の継続が困難なため、保健師で対応しうる範囲で継続し、今まで構築してきた関係機関との連携を深め、必要な支援へつないでいく。コロナ禍での普及啓発方法を検討し、研修やセミナーなどを開催する必要があります。					
	相談窓口の普及啓発			260						
	ゲートキーパー研修・こころのケアセミナーの開催			40						
	合計			447	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	こころの健康相談（電話・対面）の実施			0	こころの健康相談について、昨年度末で臨床心理士の退職に伴い、保健師による相談のみとなった（対面・実：9人 延：7人 電話・実：9人延：22人）。ゲートキーパー研修はコロナ禍により開催できず。こころのケアセミナーは、『健康講座』の一講座としてこころの健康についての講座を開催した。次年度、計画見直しを行い、現状を踏まえた相談体制確保の必要がある。健康都市推進事業では、子育て世代を主なターゲットとし、ウィクトリーナ姫路との連携による参加と配信を合わせたハイブリッド型の健康づくり教室「ウィクトレ」等を開催した。「ウィクトレ」では、現役選手やトレーナーの直接指導によるエクササイズやチャリリーダーによるダンスエクササイズ等、チームの特色を活かした内容で実施した。また、いつでもどこでもエクササイズに取り組めるようエクササイズ動画を5種類作成した。					
	相談窓口の普及啓発			287						
	ゲートキーパー研修・こころのケアセミナーの開催			24						
	健幸都市推進事業			9,412						
	合計			9,723	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	こころの健康相談（電話・対面）の実施			108						
	相談窓口の普及啓発			423						
	ゲートキーパー研修・こころのケアセミナーの開催			120						
	健幸都市推進事業			1,993						
	合計			2,644	自己評価					
R6	こころの健康相談（電話・対面）の実施			108						
	相談窓口の普及啓発			423						
	ゲートキーパー研修・こころのケアセミナーの開催			120						
	健幸都市推進事業			1,993						
	合計			2,644	自己評価					
R7	こころの健康相談（電話・対面）の実施			108						
	相談窓口の普及啓発			423						
	ゲートキーパー研修・こころのケアセミナーの開催			120						
	合計			651	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
こころの健康相談利用者数		目標		30	35	40	45	50	件	単年
		実績	20	48	18					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		160.0%	51.4%					
上記指標の設定理由		こころの健康に関する悩み事を一人で抱え込まずに相談して適切に対処できる市民が増えることは、市民のこころの健康増進に結び付くと考えられるため。								
ゲートキーパー研修参加者数		目標		140	170	200	230	260	人	累計
		実績	103	125	0					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		89.3%	0.0%					
上記指標の設定理由		ゲートキーパーはこころの健康や自殺抑止に関する知識を備えた市民の身近な相談相手であり、この研修参加者数が増えるほどこころの健康に関する支援体制の層が厚くなることに結び付くと考えられるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり									
施策	⑨ 健康増進の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 市民が歩いて暮らす健康づくりのための拠点整備や環境の整備を推進します。									
担当部課	部名	健康福祉部			課名	健康課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	運動ポイント事業			10,663	運動ポイント事業については、順調に参加者数を増やしており、令和2年度から約1,000人増となった。運動教室については、新型コロナウイルス感染症の集団接種会場が健康福祉会館となったことにより、会場をオークタウン加西に変更して開催したが、利用者数を大きく減らす結果となった。「会場が遠い」との意見が多かったため、令和4年度は、各公民館（北部、南部、善防）も借用し、地域の施設で教室に参加できる環境を整え、参加者増に取り組む。					
	健康福祉会館運動教室・自主トレーニング			1,867						
	合計			12,530	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	運動ポイント事業			8,050	運動ポイント事業では、令和4年度も順調に参加者数を増やしており、令和3年度から1,151人増の5,385人となった。また、ポイント交換の対象を満点カードからねっぴ〜Payに変更したことで、交換実績（人数）については、令和3年度の1,612人から2,761人に大幅に増やす結果となった。令和4年度の運動教室については、新型コロナウイルス感染症の集団接種の影響により、各公民館（北部、南部、善防）とオークタウン加西を借用し教室を開催した。公民館で開催したことで、令和3年度に足が遠のいた方の再利用が一定数あったが、利用実人員の増加にはつながらなかった。					
	健康福祉会館運動教室・自主トレーニング			1,598						
	合計			9,648	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	運動ポイント事業			12,500						
	健康福祉会館運動教室・自主トレーニング			1,814						
	合計			14,314	自己評価					
R6	運動ポイント事業			13,700						
	健康福祉会館運動教室・自主トレーニング			1,814						
	合計			15,514	自己評価					
R7	運動ポイント事業			12,600						
	健康福祉会館運動教室・自主トレーニング			1,814						
	合計			14,414	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
運動ポイント事業参加者数		目標		3,000	3,250	3,500	3,750	4,000	人	単年
		実績	2,231	4,234	5,385					
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-06	達成度		141.1%	165.7%					
上記指標の設定理由		「市民が歩いて暮らす健康づくり」の推進において、市民全体へのポピュレーションアプローチを目的とする運動ポイント事業の実績が指標として最も適しているため。								
健康福祉会館の「トレーニング利用証」保有者数		目標		290	305	320	335	350	人	累計
		実績	337	234	211					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		80.7%	69.2%					
上記指標の設定理由		健康づくりの拠点整備の成果としては、健康福祉会館の利用状況を計る利用実人員（「トレーニング利用証」保有者数）が指標として適しているため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり								
施策	⑨ 健康増進の推進								
施策目標・担当部課									
施策目標	ウ 市民の各種健診への受診率向上を図るとともに、地域の健康づくりを目的とした、自主的な地区組織活動を支援します。								
担当部課	部名	健康福祉部	課名	健康課					
	部名	健康福祉部	課名	国保医療課					
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	ウォーキングやラジオ体操等の出前講座の開催	44	がん検診無料クーポン券の配布を行い、クーポン券未利用者への受診勧奨を行った。また、乳がん検診の受診率向上にスポットをあて、40～50代の女性全員に、国立がん研究センターの勧奨資材を用いた受診勧奨を行った。希望者全員が受診できるよう、受け入れ枠を増やして対応した。出前講座については、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で依頼数が減少したが、令和3年度は令和元年度水準まで回復した。						
	がん検診無料クーポン券の配布とクーポン券未利用者への受診勧奨	734							
	町ぐるみ（集団）・医療機関（個別）健診の実施（がん検診）	43,797							
		合計	44,575	自己評価	C…目標を下回っている				
R4	ウォーキングやラジオ体操等の出前講座の開催	48	がん検診無料クーポン券の配布を行い、クーポン券未利用者への受診勧奨を行った。また、子宮頸がん検診の受診率向上にスポットをあて、後発年齢層の女性に受診勧奨を行った。出前講座については、令和3年度より2団体減少となったが目標値は達成している。今後の利用増のための周知等の検討が必要である。がん患者アピアランスサポートも新たに取り組み、必要な方に助成ができた。						
	がん検診無料クーポン券の配布とクーポン券未利用者への受診勧奨	823							
	町ぐるみ（集団）・医療機関（個別）健診の実施（がん検診）	34,446							
	がん患者アピアランスサポート事業	920							
		合計	36,237	自己評価	C…目標を下回っている				
R5	ウォーキングやラジオ体操等の出前講座の開催	52							
	がん検診無料クーポン券の配布とクーポン券未利用者への受診勧奨	1,215							
	町ぐるみ（集団）・医療機関（個別）健診の実施（がん検診）	36,000							
	がん患者アピアランスサポート事業	1,200							
		合計	38,467	自己評価					
R6	ウォーキングやラジオ体操等の出前講座の開催	56							
	がん検診無料クーポン券の配布とクーポン券未利用者への受診勧奨	1,000							
	町ぐるみ（集団）・医療機関（個別）健診の実施（がん検診）	40,000							
	がん患者アピアランスサポート事業	1,200							
		合計	42,256	自己評価					
R7	ウォーキングやラジオ体操等の出前講座の開催	60							
	がん検診無料クーポン券の配布とクーポン券未利用者への受診勧奨	1,000							
	町ぐるみ（集団）・医療機関（個別）健診の実施（がん検診）	40,000							
	がん患者アピアランスサポート事業	1,200							
		合計	42,260	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
出前講座の延べ利用団体数	目標		11	12	13	14	15	団体	単年
	実績	13	14	12					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	127.3%	100.0%					
上記指標の設定理由	健康づくりを目的とした自主的な地区組織活動の支援方法として出前講座があり、活動支援を評価する指標としては、講座の利用数が適しているため。								
女性がん検診の受診率（子宮頸がん）	目標		17	20	23	26	30	%	単年
	実績	14	14.1	16.4					
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-07	達成度	82.9%	82.0%					
上記指標の設定理由	兵庫県は目標受診率を30%と定めている。加西市では子宮頸がん検診受診率向上に向け無料クーポン券配布等を実施しており、施策目標を達成するための指標に適しているため。								
女性がん検診の受診率（乳がん）	目標		20	22	26	28	30	%	単年
	実績	17.6	18.5	22.7					
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-07	達成度	92.5%	103.2%					
上記指標の設定理由	兵庫県は目標受診率30%と定めている。加西市では乳がん検診受診率向上に向け無料クーポン券配布等を実施しており、施策目標を達成するための指標に適しているため。								

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり									
施策	⑨ 健康増進の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 市民の各種健診への受診率向上を図るとともに、地域の健康づくりを目的とした、自主的な地区組織活動を支援します。									
担当部課	部名	健康福祉部			課名	健康課				
	部名	健康福祉部			課名	国保医療課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	特定健康診査事業			23,385	特定健診未受診者対策については、加西市老人クラブ連合会と連携した戸別訪問や県の国保ヘルスアップ支援事業（電話勧奨事業、受診勧奨通知事業）を活用し積極的に受診勧奨を行った。また、集団健診の実施にあたっては、感染症対策を徹底し、受診控えが起こらないように努めた上で昨年度よりも予約枠を増やした。その結果、昨年度よりも受診者数を増加させることができた。来年度も引き続き積極的に未受診者対策を実施し、受診率の向上を目指す。					
	合計			23,385						自己評価
R4	特定健康診査事業			21,799	特定健診未受診者事業として、引き続き加西市シニアクラブ連合会と連携した個別訪問、兵庫県の国保ヘルスアップ支援事業（電話勧奨・受診勧奨通知）を活用した、受診勧奨を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前のR1年度の受診率までには回復していない。また、第3期国保特定健康診査等実施計画における2022年度目標受診率56.0%には届かない状況であり、受診率向上を目指し、未受診者対策を実施					
	合計			21,799						自己評価
R5	特定健康診査事業			29,225						
	合計			29,225						自己評価
R6	特定健康診査事業			29,000						
	合計			29,000						自己評価
R7	特定健康診査事業			29,000						
	合計			29,000						自己評価
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
特定健診受診率		目標		52.0	56.0	60.0	60.0	60.0	%	単年
		実績	38.3	34.1	34.9					
第2期地域創生戦略アクションプラン		－	達成度	65.6%	62.3%					
上記指標の設定理由		厚生労働省の指針に基づいて策定した『第3期加西市国民健康保険特定健康診査等実施計画』の目標値に合わせているため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり									
施策	⑨ 健康増進の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	Ⅰ 学校給食などでの地産地消、食の安全確保や、食育、健康教育の推進を図ります。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	教育総務課				
	部名	健康福祉部			課名	健康課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	食育セミナーの開催			470	国の食育推進会議の委員である服部幸應氏を招き、教職員を対象にSDGsをテーマとした講演会を7月30日に開催した。センターの調理員、栄養教諭に対してはイタリア料理店のシェフによる地元野菜を活用した調理員講習会を8月26日に開催した。また、親子で参加できる魚と食に関する体験学習One Day Fishを1月30日に開催した。					
	合計			470	自己評価	A…目標を上回って達成				
R4	食育セミナーの開催			0	8月4日、辻調理師専門学校の尾藤氏を講師に招き、播磨東地区の食育講演会を市民会館小ホールで開催した。また、12月23日に調理員を対象に衛生管理講習会を開催した。R4年度の講師料負担は発生しなかった。					
	合計			0	自己評価	A…目標を上回って達成				
R5	食育セミナーの開催			100						
	合計			100	自己評価					
R6	食育セミナーの開催			500						
	合計			500	自己評価					
R7	食育セミナーの開催			500						
	合計			500	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
食育セミナーの参加人数		目標		100	100	100	100	100	人	単年
		実績	—	383	206					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		383.0%	206.0%					
上記指標の設定理由		食育推進のため、教職員や調理員を対象とした食育セミナーの参加者を指標としました。								
		目標							%	単年
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり									
施策	⑨ 健康増進の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	Ⅰ 学校給食などでの地産地消、食の安全確保や、食育、健康教育の推進を図ります。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	教育総務課				
	部名	健康福祉部			課名	健康課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	食育推進事業			350	コロナ禍により教室等が中止・縮小したため、教育の機会や面接での相談件数は減少しているが、子どもの健診や各園での食育教室などで朝食や野菜の摂取について啓発しました。また、出前講座や健康相談で正しい食生活の普及、食育月間に合わせて展示コーナーを設け食育の啓発を行った。例年のような実施は出来なかったが、市民やいずみ会員の健康と安全を優先して健康づくり普及活動に取り組んだ。					
	いずみ会活動負担金			120						
	合計			470						
R4	食育推進事業			3,146	コロナにより教室等が縮小したため、教育の機会や面接での相談件数は減少したまま経過しているが、子どもの健診や各園での食育教室などで朝食や野菜の摂取の大切さについて引き続き啓発した。出前講座や健康相談で正しい食生活の普及、食育月間に合わせて展示コーナーを設け食育の啓発を行った。また加西市産の農産物を美味しくバランスよく食べること、加西市民が健康的な生活を過ごせるよう第3次加西市食育推進計画を策定した。例年のような実施は出来なかったが、市民やいずみ会員の健康と安全を優先して健康づくり普及活動に取り組んだ。					
	いずみ会活動負担金			120						
	合計			3,266						
R5	食育推進事業			747	自己評価					
	いずみ会活動負担金			120						
	合計			867						
R6	食育推進事業			500	自己評価					
	いずみ会活動負担金			120						
	合計			620						
R7	食育推進事業			500	自己評価					
	いずみ会活動負担金			120						
	合計			620						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
食に関する健康教育実施回数		目標		70	71	72	73	74	回	単年
		実績	70	66	64					
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度		94.3%	90.1%					
上記指標の設定理由		子どもやその保護者が食育について学ぶ機会を確保することが必要と考え、食に関する健康教育の実施回数を指標とすることが適しているため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	4 くらしを支える福祉・医療の充実									
施策	⑩ 高齢者福祉の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 配慮を必要とする方やその介護者及び家族を支援するための総合的な支援体制を構築するとともに、高齢者が孤立することのないよう、地域に密着した取り組みを推進します。									
担当部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	高齢者向け配食サービス				7,077	配食サービスはR1年4月より補助事業に変更となり社協に事務委託している。配食事業に現在まで4事業所が参入しR3年度は平均で月275人が利用した。またICTを活用した認知症見守りサービスについては、R2年度設置は30箇所、R3年度は計画通り55箇所です。加西市内の施設に合計85箇所の見守り感知器の設置が完了。今後は高齢者が一人で外出した際に早期発見に繋がることが出来るようBLEタグの周知や見守り感知器を加西市内の公共施設、介護事業所を中心にR4年度は55箇所の新規設置予定。R5年度までに感知器を170箇所設置し見守りサービスを周知、普及させていく。				
	総合的な相談支援体制の強化				64,406					
	ICTを活用した認知症高齢者見守りサービスの促進				2,345					
	あったか声かけ作戦の促進				330					
	合計				74,158	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	高齢者向け配食サービス				7,300	配食事業はR4年度1事業所が撤退し3事業所となったが、利用者は月平均で287人が利用した。新規参入を検討している事業所もありより利用しやすいようにしていく。ICTを活用した認知症見守りサービスについては、R4年度までに130箇所に設置が完了。R4年度は公民館等にも設置を依頼し、BLEタグの周知にも力を入れた。R5年度までに感知器を170箇所設置し、今後はアプリの登録や広報も含め、見守りサービスを周知、普及させていく。				
	総合的な相談支援体制の強化				64,159					
	ICTを活用した認知症高齢者見守りサービスの促進				2,295					
	あったか声かけ作戦の促進				330					
	合計				74,084	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	高齢者向け配食サービス				7,753					
	総合的な相談支援体制の強化				64,080					
	ICTを活用した認知症高齢者見守りサービスの促進				2,667					
	あったか声かけ作戦の促進				330					
	高齢者補聴器購入費助成事業				1,200	自己評価				
R6	高齢者向け配食サービス				7,753					
	総合的な相談支援体制の強化				66,184					
	ICTを活用した認知症高齢者見守りサービスの促進				2,800					
	あったか声かけ作戦の促進				330					
	高齢者補聴器購入費助成事業				1,200	自己評価				
R7	高齢者向け配食サービス				7,753					
	総合的な相談支援体制の強化				66,184					
	ICTを活用した認知症高齢者見守りサービスの促進				1,510					
	あったか声かけ作戦の促進				330					
	高齢者補聴器購入費助成事業				1,200	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
配食サービス利用数		目標		295	300	305	310	315	人	単年
		実績	269	275	287					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		93.2%	95.7%					
上記指標の設定理由		R元年度より、委託事業から助成事業に変更したことで民間事業者が参入し、選択肢が増えたことから毎年5人の増加を目標とする。								
高齢者相談件数		目標		5,800	6,000	6,100	6,200	6,300	件	単年
		実績	5,589	5,872	5,801					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		101.2%	96.7%					
上記指標の設定理由		地域包括支援センターは高齢者の総合相談窓口としてさまざまな相談に対応しており、高齢化や課題の複雑化により相談件数が増加すると推察し、毎年100件の増加を目標とする。								
BLEタグ感知器設置件数		目標		85	130	170	170	170	件	累計
		実績	0	85	130					
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-08	達成度		100.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		見守りサービスの取組を拡張・高度化させていくためには、施設などに設置するBLEタグ感知器を普及させることが重要であるため、R5年度までに早期設置し実施することを目標とする。								

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	4 くらしを支える福祉・医療の充実									
施策	⑩ 高齢者福祉の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 高齢者が自分らしく暮らすことができるよう、就業機会の拡充や集いの場での地域活動の推進に取り組みます。									
担当部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	高齢者の就業機会の開拓、拡充				10,459	シルバー人材センターでは、働く意欲のある高齢者が、年齢にかかわらずその能力や経験をいかし生涯現役で活躍し続けられるよう支援した。総合事業(サービスB)の実施を開始した。 きずなカフェは8か所、いきいき体操は51か所にまで増加したが、コロナ禍による活動の自粛のため、社会福祉協議会に活動費用の助成金を申請しているグループは65か所にまで減少した。コロナ禍においても地域活動の必要性があることについて周知していく必要がある。				
	地域住民や学生が参加する高齢者の介護支援(介護予防)				1,019					
	合計				11,478					
R4	高齢者の就業機会の開拓、拡充				10,459	シルバー人材センターでは、働く意欲のある高齢者が、年齢にかかわらずその能力や経験をいかし生涯現役で活躍し続けられるよう、総合事業(サービスB)を実施するなどして支援した。しかし、高齢者就業確保措置の影響もあり会員数は減少傾向にある為、引き続き会員拡大を重点的に取り組む必要がある。 きずなカフェ8か所、いきいき体操56か所、社会福祉協議会に活動費用の助成金を申請しているグループは72か所(いきいき体操との重複を除く)と昨年度に比べ増加した。新型コロナウイルス感染症の類型変更を機に、今後さらなる活動を促進する。				
	地域住民や学生が参加する高齢者の介護支援(介護予防)				1,215					
	合計				11,674					
R5	高齢者の就業機会の開拓、拡充				10,459	自己評価				
	地域住民や学生が参加する高齢者の介護支援(介護予防)				1,209					
	合計				11,668					
R6	高齢者の就業機会の開拓、拡充				10,459	自己評価				
	地域住民や学生が参加する高齢者の介護支援(介護予防)				1,209					
	合計				11,668					
R7	高齢者の就業機会の開拓、拡充				10,459	自己評価				
	地域住民や学生が参加する高齢者の介護支援(介護予防)				1,507					
	合計				11,966					
目標を達成するための主な指標(KPI)										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
シルバー人材センター会員数		目標		340	340	340	340	340	人	累計
		実績	339	312	298					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		91.8%	87.6%					
上記指標の設定理由		65歳までの雇用確保措置や高齢者の就業機会の多様化などの影響で、シルバー人材センターの会員数は減少傾向にあるが、高齢者の就業・社会参加を通じた地域貢献の役割は大きくなっており、今の人数を維持することを目標とする。								
開催件数(きずなカフェ・いきいき体操・サロン等)		目標		146	147	148	149	150	件	単年
		実績	145	124	136					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		84.9%	92.5%					
上記指標の設定理由		R元年度実績(きずなカフェ6か所、いきいき体操42か所、サロン97か所)から、毎年1件増加することを目標とする。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	4 くらしを支える福祉・医療の充実									
施策	⑪ 障がい福祉・地域福祉の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 障がいのある人や発達に課題を抱える子どもなど、配慮を必要とする人の地域生活移行や社会参画の促進に向け、発達支援の充実や就労機会の拡充に加え、様々な場面での合理的配慮の提供に取り組みます。									
担当部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	社会参加促進事業			700	社会参加促進事業については、コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を実施しない団体があり、縮小となった。今後、事業を休止している団体に改めて事業を実施してもらえるよう、声掛けをしていきたい。 就労継続支援事業については、全国的な利用者の増加に伴い、本市においても利用者が増加している。障がいの理解や制度の認知の拡大に従って、今後も事業規模が拡大していくと思われる。					
	就労継続支援事業（A型、B型）			227,893						
	合計			228,593	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	社会参加促進事業			400	社会参加促進事業については、コロナ禍等で事業を実施しない団体があり縮小となった。今後は、実施に向けた相談もあり、事業実施団体は増える予定。 就労支援事業については、障がいの理解や制度の認知が拡大し、利用者が増加している。今後も事業規模が拡大していくと見込まれる。					
	就労継続支援事業（A型、B型）			246,834						
	合計			247,234	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	社会参加促進事業			600						
	就労継続支援事業（A型、B型）			257,814						
	独立型短期入所施設整備補助事業			10,000						
	善防園大規模改修計画策定			5,000						
合計			273,414	自己評価						
R6	社会参加促進事業			600						
	就労継続支援事業（A型、B型）			267,814						
	善防園大規模修繕工事費			25,000						
合計			293,414	自己評価						
R7	社会参加促進事業			600						
	就労継続支援事業（A型、B型）			267,814						
	善防園大規模修繕工事費			25,000						
合計			293,414	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
就労継続支援事業利用者数（A型・B型）		目標		2,660	2,710	2,770	2,820	2,870	人日/月	単年
		実績	2,488	2,918	2,923					
第2期地域創生戦略アクションプラン		－	達成度	109.7%	107.9%					
上記指標の設定理由		就労継続支援B型で利用者の増加傾向がみられ、今後も増加が続くものと見込まれるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	4 くらしを支える福祉・医療の充実									
施策	⑪ 障がい福祉・地域福祉の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 社会福祉協議会や地域との連携のもと、住民の安全・安心な暮らしを支えるため、各町および小学校区単位で行う福祉活動の充実を図ります。									
担当部課	部名	健康福祉部			課名	福祉企画課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	地域福祉活動の推進			34,000	100町以上の自治会が活動をしていたが、今社協の補助金を使って開催している町は71町に減少した。さらに、コロナの影響で、サロンを取りやめる町が多く、令和3年度は目標の半分以下になっている。町によって、自分たちで開催している場合は、社協でも把握できないため、社協の支援を受けながら開催することを再度呼び掛ける必要がある。					
	合計			34,000	自己評価	C…目標を下回っている				
R4	地域福祉活動の推進			34,000	コロナの影響で、R3まではサロンなどの活動を自粛していた自治会が多かったが、R4に入り、感染が収まった時期に活動をした自治会が増えた。回数については、社協で把握している数であるが、自治会独自で開催しているところもあることから、社協の職員と一緒にする機会を設けられるよう呼びかけているところである。					
	合計			34,000	自己評価	C…目標を下回っている				
R5	地域福祉活動の推進			34,000						
	合計			34,000	自己評価					
R6	地域福祉活動の推進			34,000						
	合計			34,000	自己評価					
R7	地域福祉活動の推進			34,000						
	合計			34,000	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
地域福祉活動事業実施数		目標		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	回	単年
		実績	-	636	722					
第2期地域創生戦略アクションプラン		-	達成度	42.4%	48.1%					
上記指標の設定理由		各町のいきいきサロンや集まりなど、各地域で活動している事業の数が適しているため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策											
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ										
政策	4 くらしを支える福祉・医療の充実										
施策	⑪ 障がい福祉・地域福祉の充実										
施策目標・担当部課											
施策目標	ウ 経済的に困窮している方が自立した生活を送ることができるよう、就労支援や経済的支援等の自立支援に取り組みます。また、コミュニティにおける地域の見守りや居場所づくりにも取り組みます。										
担当部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課					
目標を達成するための具体的な取り組み											
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	生活困窮事業				36,034	コロナ禍にも関わらず、大幅に目標を上回った。就労支援については、生活困窮者の受け入れ先企業の開拓の課題がまだある。すぐに受け入れてくれる企業が市内にないので、理解のある企業開拓が課題。子ども食堂についても、当初目標設定時は休止中の子ども食堂しかなかったが、現在4箇所の子ども食堂が新たにでき、目標を大きく上回った。、今後ハローズとの連携、市の補助金の創設、意欲的な新たな団体もあるので、さらに増加する見込みである。					
	合計				36,034	自己評価	A…目標を上回って達成				
R4	生活困窮事業				27,312	就労支援については、目標どりの実績となった。生活困窮者の受け入れ先企業の開拓は市内にまだないので、今後も協力企業を探していく。子ども食堂は7箇所あり、申し込みのあった5箇所に補助金の支援を実施。補助対象の子ども食堂の利用者は目標を大きく上回り、令和5年度より補助を増額し、支援の拡充を図っている。					
	合計				27,312	自己評価	A…目標を上回って達成				
R5	生活困窮事業				44,711						
	合計				44,711	自己評価					
R6	生活困窮事業				44,711						
	合計				44,711	自己評価					
R7	生活困窮事業				44,711						
	合計				44,711	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標			区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
就労支援による就職者					25	25	25	25	25	人	単年
			実績	21	45	25					
第2期地域創生戦略アクションプラン			－	達成度	180.0%	100.0%					
上記指標の設定理由			稼働能力年齢世代の減少を考慮し、数値を設定しました。								
コミュニティ食堂利用者			目標		80	90	100	110	120	人	累計
			実績	0	550	1297					
第2期地域創生戦略アクションプラン			－	達成度	687.5%	1441.1%					
上記指標の設定理由			コミュニティ食堂を何箇所かで開始される動きがあるため、毎年10人増を目標とします。								
			目標								
			実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン				達成度							
上記指標の設定理由											

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	4 くらしを支える福祉・医療の充実									
施策	⑫ 保健・医療体制の確保									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 加西病院の改築整備を行い、総合診療の充実を図るとともに、医療従事者の確保と安全な医療体制を構築し、健全で着実な病院運営の実現を目指します。また、近隣病院、診療所との連携を強化します。									
担当部課	部名	加西病院		課名	病院総務課					
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	加西病院改築に係る調査及び基本設計			29,055	令和3年度は加西市新病院建設工事基本設計をまとめ、概要を病院ホームページにおいて公開した。紹介率は新型コロナウイルス感染症まん延のため、受診控えによる一般外来受診の減と発熱外来による受診増の影響を受け、目標値に届かなかったが、引き続き、地域の医療機関と顔の見える関係を築くよう努め、病病・病診連携を積極的に進めていく。					
	合計			29,055						
R4	加西病院改築に係る実施設計外			88,545	加西病院の改築整備について、令和4年度は前年度に策定した『新病院建設工事基本設計』を基に、地質調査等を実施のうえ、計画通りに実施設計の策定に着手した。 指標としている紹介率については、新型コロナにより受診・手術控えが増えたことや、発熱外来患者が直接来院するケースが増えたことを受け、低くならざるを得なかった。					
	合計			88,545						
R5	加西病院改築工事			161,000	自己評価					
	合計			161,000						
R6	加西病院改築工事			2,096,621	自己評価					
	システム導入費			190,000						
	合計			2,286,621						
R7	加西病院改築工事			4,880,454	自己評価					
	医療機器・什器等導入費			466,850						
	システム導入費			191,150						
	移転費等			300,000						
	合計			5,838,454						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
市立加西病院への紹介率		目標		45	47	48	49	50	%	単年
		実績	44	43	33					
第2期地域創生戦略アクションプラン	－	達成度		95.6%	70.2%					
上記指標の設定理由		地域医療に貢献する病院であることが求められることから、地域の医療機関と密に連携がとれていることを示す紹介率が適しているため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	4 くらしを支える福祉・医療の充実									
施策	⑫ 保健・医療体制の確保									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 県や医師会等との連携強化や、保健・医療・福祉・介護等の関係機関との連携により、サービスが適切に受けられる地域医療体制を確保します。									
担当部課	部名	健康福祉部	課名	健康課						
	部名	健康福祉部	課名	福祉企画課						
	部名	健康福祉部	課名	国保医療課						
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題							
R3	保健事業検討会の開催（加西市医師会・加西市歯科医師会）	90	定例事業、新規事業の実施及び感染症対策を図りながら保健事業を実施するために、加西市医師会、加西市歯科医師会と会議を開催し、安全に事業実施ができた。加西市医師会、加西市歯科医師会に年末年始の診療体制の整備を依頼し、加西市医師会には年間を越し休日の診療にも協力を仰ぎ、市民が安心して必要な医療を受けられる体制を確保することができた。							
	休日・年末年始の診療体制の維持（加西市医師会）	4,700								
	年末年始の診療体制の維持（加西市歯科医師会）	180								
		合計	4,970	自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R4	保健事業検討会の開催（加西市医師会・加西市歯科医師会）	70	保健事業の実施計画及び感染症対策について加西市医師会、加西市歯科医師会と会議を開催し、対策を講じながら事業実施ができた。加西市医師会、加西市歯科医師会に年末年始の診療体制の整備を依頼し、加西市医師会には年間を通し休日の診療にも協力を仰ぎ、市民が安心して必要な医療を受けられる体制を確保することができた。							
	休日・年末年始の診療体制の維持（加西市医師会）	4,700								
	年末年始の診療体制の維持（加西市歯科医師会）	180								
		合計	4,950	自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R5	保健事業検討会の開催（加西市医師会・加西市歯科医師会）	117								
	休日・年末年始の診療体制の維持（加西市医師会）	4,700								
	年末年始の診療体制の維持（加西市歯科医師会）	180								
		合計	4,997	自己評価						
R6	保健事業検討会の開催（加西市医師会・加西市歯科医師会）	117								
	休日・年末年始の診療体制の維持（加西市医師会）	4,700								
	年末年始の診療体制の維持（加西市歯科医師会）	180								
		合計	4,997	自己評価						
R7	保健事業検討会の開催（加西市医師会・加西市歯科医師会）	117								
	休日・年末年始の診療体制の維持（加西市医師会）	4,700								
	年末年始の診療体制の維持（加西市歯科医師会）	180								
		合計	4,997	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
休日・年末年始の医療体制協力団体数		目標		2	2	2	2	2	団体	単年
		実績	2	2	2					
第2期地域創生戦略アクションプラン		－	達成度	100.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		年末年始や休日の医療機関の休診が増加する際に、市民が安心して必要な医療を受けられる体制確保が必要であり、協力団体数が地域医療体制の評価に適しているため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	4 くらしを支える福祉・医療の充実									
施策	⑫ 保健・医療体制の確保									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 県や医師会等との連携強化や、保健・医療・福祉・介護等の関係機関との連携により、サービスが適切に受けられる地域医療体制を確保します。									
担当部課	部名	健康福祉部			課名	健康課				
	部名	健康福祉部			課名	福祉企画課				
	部名	健康福祉部			課名	国保医療課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	地域包括ケアシステム推進部会の開催				0	コロナワクチン接種のため、医師等が多忙で開催に至らなかった。 コロナ禍が収束し、平常に戻ってからの開催となる。				
	保健医療福祉推進協議会の開催				0					
	合計				0	自己評価	C…目標を下回っている			
R4	地域包括ケアシステム推進部会の開催				549	コロナ禍以来3年ぶりの開催となった。 地域包括ケアシステム推進部会では、今後の方向性、ワーキングの内容について情報共有を行った。 保健医療福祉推進協議会では、現在の福祉行政について共有を行った。				
	保健医療福祉推進協議会の開催				183					
	合計				732	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	地域包括ケアシステム推進部会の開催				672					
	保健医療福祉推進協議会の開催				129					
	合計				801	自己評価				
R6	地域包括ケアシステム推進部会の開催				549					
	保健医療福祉推進協議会の開催				183					
	合計				732	自己評価				
R7	地域包括ケアシステム推進部会の開催				549					
	保健医療福祉推進協議会の開催				183					
	合計				732	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
地域包括ケアシステム推進部会の開催		目標		1	1	1	1	1	回	単年
		実績	3	0	1					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		0.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		地域包括ケアシステム推進部会のワーキンググループで取り組んだことについて、上位の推進部会で情報共有する会議のため。								
保健医療福祉推進協議会の開催		目標		1	1	1	1	1	回	単年
		実績	1	0	1					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		0.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		医療・福祉関係者が集まり、地域包括ケアシステム推進部会で話し合われた課題や、保健・医療・福祉分野の喫緊の課題について協議するため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策											
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを楽しむ										
政策	4 くらしを支える福祉・医療の充実										
施策	⑫ 保健・医療体制の確保										
施策目標・担当部課											
施策目標	イ 県や医師会等との連携強化や、保健・医療・福祉・介護等の関係機関との連携により、サービスが適切に受けられる地域医療体制を確保します。										
担当部課	部名	健康福祉部				課名	健康課				
	部名	健康福祉部				課名	福祉企画課				
	部名	健康福祉部				課名	国保医療課				
目標を達成するための具体的な取り組み											
年度	事業					経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	精神障害者保健福祉手帳2級取得者への医療費助成					9,148	障害をお持ちの方にかかる経済的負担の軽減になり、適切に医療を受けられる体制を確保できた。令和4年度からは、より安心して医療を受けられるように、精神障害者保健福祉手帳3級取得者まで医療費助成対象者を拡大する。				
	合計					9,148	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	精神障害者保健福祉手帳2級取得者への医療費助成の継続、及び3級取得者への医療費助成拡充					10,925	R4年度より、対象を精神障害者保健福祉手帳3級取得者まで拡大したことで、経済的負担の軽減や、より適切に医療を受けられる体制を確保することができた。また、転入や手帳新規取得者等新規対象者については、受給者証交付時に使用方法の丁寧な説明を行い、確実に助成をうけていただけるように案内をした。				
	合計					10,925	自己評価	A…目標を上回って達成			
R5	精神障害者保健福祉手帳2、3級取得者への医療費助成継続					10,965					
	合計					10,965	自己評価				
R6	精神障害者保健福祉手帳2、3級取得者への医療費助成継続					10,965					
	合計					10,965	自己評価				
R7	精神障害者保健福祉手帳2、3級取得者への医療費助成継続					10,965					
	合計					10,965	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標			区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
受診件数			目標		2,800	3,100	3,300	3,300	3,300	件	単年
			実績	2,560	2,320	3,841					
第2期地域創生戦略アクションプラン			—	達成度	82.9%	123.9%					
上記指標の設定理由			医療費助成の拡充により、障害をお持ちの方にかかる経済的負担の軽減になり、適切に医療を受けられる体制を確保できるため。								
			目標								
			実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン				達成度							
上記指標の設定理由											
			目標								
			実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン				達成度							
上記指標の設定理由											

基本方針・政策・施策											
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む										
政策	5 農業の再生と活性化										
施策	⑬ 農業従事者の確保と育成										
施策目標・担当部課											
施策目標	ア 生産者を対象とした経営の指導のほか、6次産業化*に向けた支援の充実を図り、資質向上に取り組みます。										
担当部課	部名	地域振興部				課名	農政課				
目標を達成するための具体的な取り組み											
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	地元ブランド品開発事業				10,000	今年度は12件の申請があり、補助を行った。商品開発やパッケージデザインの経費に補助した結果、令和4年4月オープンのSORAかさい内での店舗でも販売されている商品が誕生した。今後は、予算が減額されるが、継続して支援する。かさい農力向上クラスの開催については、市内全域に広がっている獣害対策の講演会を開催し、有効な対策等を大学教授を交え市内での取組を公表し、全域に広げる取組を行った。今後は、若手農家の経営に向けての講演などを行いたいと考えている。					
	かさい農力向上クラスの開催				0						
	合計				10,000	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	特産品開発委託料				500	加西市の特産である加西ゴールデンベリーAは、ワイン用の品種としても評価が高い。加西市内で新設されたワイナリーでワインを醸造する際に、原料の仕入れに一部補助を実施した。加西市産の冬カボチャ「ダークホース」の生産に取り組んだ。また、神戸大学が開発したじゃがいも「はりまる」の生産者説明会を行い、生産者確保に取り組んだ。新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変わったこともあり、農業生産者の学びの場を広げていきたい。					
	かさい農力向上クラスの開催				0						
	合計				500	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	特産品開発委託料				500						
	かさい農力向上クラスの開催				0						
	農産物を通じた連携事業				8,000						
	合計				8,500	自己評価					
R6	特産品開発委託料				500						
	かさい農力向上クラスの開催				0						
	農産物を通じた連携事業				5,000						
	合計				5,500	自己評価					
R7	特産品開発委託料				500						
	かさい農力向上クラスの開催				0						
	農産物を通じた連携事業				5,000						
	合計				5,500	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標			区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
かさい農力向上クラスの開催数			目標		1	2	2	2	2	回	単年
			実績	0	1	0					
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-22	達成度		100.0%	0.0%						
上記指標の設定理由			新規就農者や兼業農家の育成を進めていくためには、学びと交流の機会を作ることが多くの農産物の生産に繋がるため。								
高付加価値農作物の品種数			目標		2	2	2	2	3	品種	累計
			実績	1	1	2					
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-16	達成度		50.0%	100.0%						
上記指標の設定理由			栽培指導から販売までの流れを作っていくためには、1品種3～4年の期間をかける必要があるため。								
			目標								
			実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度									
上記指標の設定理由											

基本方針・政策・施策									
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む								
政策	5 農業の再生と活性化								
施策	⑬ 農業従事者の確保と育成								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 若い世代や女性、定年退職者等も含めた新規就農者の支援に努めるとともに、法人の設立と参入を推進し、就農希望者の研修受入制度や市民農園をPRしていきます。								
担当部課	部名	地域振興部	課名	農政課					
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	女性若者担い手育成奨励金	300	今年度新たに青年等就農計画を認定した農業者は5名になった。今年度から農業次世代人材投資資金の交付対象者となった者も5名いる。1年間研修に行き、就農を目指していた者が多く、今年は多く就農した。以前は果樹での就農が多かったが、ハウスを建てて農業する者が増え、新規就農支援事業も6件の申請があった。新規就農促進協議会として、コロナ禍により相談会が中止になるなどしているが、2回参加し加西市のPRを行った。女性若者担い手として大型特殊免許の取得が伸び悩んでいるので、PRを図って女性の農業参加を進めていく。						
	新規就農支援事業補助事業	8,000							
	農業次世代人材投資資金	12,750							
	新規就農促進協議会負担金	200							
	合計	21,250							
R4	女性若者担い手育成奨励金	95	今年度新たに青年等就農計画を認定した農業者は2名。その内の1名は、新たに新規就農者育成総合対策事業により経営開始資金と経営発展支援事業の支援を受けた。昨年度までに認定した4名から新規就農者支援事業に申請があった。新規就農促進協議会として、相談会に3回参加し、加西市のPRを行った。女性若者担い手として大型特殊免許者が伸び悩んでおり、PRを図って女性の農業参加を進めていく。						
	新規就農支援事業補助事業	8,652							
	農業次世代人材投資資金	9,000							
	新規就農促進協議会負担金	200							
	新規就農者育成総合対策事業	7,875							
合計	25,822								
R5	女性若者担い手育成奨励金	135	自己評価 A…目標を上回って達成						
	新規就農支援事業補助事業	13,000							
	農業次世代人材投資資金	8,625							
	新規就農促進協議会負担金	200							
	新規就農者育成総合対策事業	12,750							
合計	34,710								
R6	女性若者担い手育成奨励金	150	自己評価						
	新規就農支援事業補助事業	9,000							
	農業次世代人材投資資金	12,000							
	新規就農促進協議会負担金	200							
	新規就農者育成総合対策事業	12,750							
合計	34,100								
R7	女性若者担い手育成奨励金	300	自己評価						
	新規就農支援事業補助事業	10,000							
	農業次世代人材投資資金	12,750							
	新規就農促進協議会負担金	200							
	新規就農者育成総合対策事業	12,750							
合計	36,000								
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
新規就農者数	目標		2	2	2	2	2	人	単年
	実績	1	5	3					
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-17	達成度	250.0%	150.0%					
上記指標の設定理由	新規就農者数は、新規就農促進協議会等において相談会に参加し、真剣に就農することを考える農家を誘致できたかの効果測定に適しているため。								
研修生受入人数	目標		2	2	3	4	5	人	単年
	実績	1	5	2					
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-19	達成度	250.0%	100.0%					
上記指標の設定理由	研修生の受入数を増やすことで、次の担い手の確保と受入農家の指導力を育成していくことができるため。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	5 農業の再生と活性化									
施策	⑭ 農業経営の支援									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 農地の利用集積支援、営農組織化や法人化の推進、農業用機械や施設整備にかかる補助の拡充など、農業経営の持続可能性を確保する支援を進めていきます。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	農政課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	担い手育成施設整備支援事業				15,000	市単事業の担い手育成施設整備支援事業にて、営農組合や認定農業者に対して、機械等の購入の一部補助を実施した。申込多数の為、関係機関により審査を行い交付対象者を決定した。県事業の農業経営スマート化促進事業では、農業法人からの申請を受け、雇用等の拡大を目指す取り組みに支援した。農地集積については、現在、事業検討が進んでいるインター周辺の3町のほか、9町において、農地中間管理事業を活用した集積事業を行った。				
	法人化促進総合対策事業				7,500					
	農地集積協力金				3,800					
	合計				26,300	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	担い手育成施設整備支援事業				16,069	市単事業の担い手育成施設整備支援事業にて、営農組合や認定農業者に対して、機械等の購入の一部補助を実施した。申込多数の為、関係機関により審査を行い交付対象者を決定した。県事業の農業経営スマート化促進事業では、農業法人からの申請を受け、雇用等の拡大を目指す取り組みに支援した。農地集積については、新規で1町、追加拡大で1町で農地中間管理事業を活用した集積事業を行った、前年度事業分について、差額交付が行われた。				
	農業経営スマート化促進事業				1,498					
	農地集積協力金				10,934					
	合計				28,501	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	担い手育成施設整備支援事業				17,000					
	農業経営スマート化促進事業				7,500					
	農地集積協力金				4,400					
	合計				28,900	自己評価				
R6	担い手育成施設整備支援事業				15,000					
	農業経営スマート化促進事業				7,500					
	農地集積協力金				3,800					
	合計				26,300	自己評価				
R7	担い手育成施設整備支援事業				15,000					
	農業経営スマート化促進事業				7,500					
	農地集積協力金				3,800					
	合計				26,300	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
担い手への集積面積		目標		1,220	1,235	1,250	1,275	1,300	ha	単年
		実績	1,215	1,255	1,255					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	102.9%	101.6%					
上記指標の設定理由		認定農業者等への農地の集積面積が農業経営の安定や健全化を確認できるため。								
農地利用率		目標		89	89	90	90	91	%	単年
		実績	89	87	87					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	97.8%	97.8%					
上記指標の設定理由		法人化を目指す農家数を検討したが、専業農家と兼業農家のいずれもが農地を適正に管理していくという観点から農地を活用している割合を指標にすることが適しているため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	5 農業の再生と活性化									
施策	⑭ 農業経営の支援									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 農業の所得拡大とまちのPRを目的として、地元農作物のブランディングを進めるとともに、主要農作物生産者に対して助成を行います。									
担当部課	部名	地域振興部	課名	農政課						
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業		経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	農業団体育成事業		432	特産品開発や集落営農組織の資質向上の為に、各協議会等に支援を行った。加西市の特産であるぶどうの生産継続に向けて、棚の改修新設やベリーAや大粒系品種への改植を進める為に苗木の購入補助を行った。市場ニーズがシャインマスカットを始めとする皮ごと食べられる大粒品種を求められている中、加西ゴールデンベリーA（品種名マスカットベリーA）の生産面積の減少をどのように対処するかが課題になってきている。						
	ぶどう生産推進補助事業		2,000							
	合計		2,432		自己評価 B…ほぼ目標を達成					
R4	農業団体育成事業		532	特産品開発や集落営農組織の資質向上の為に、各協議会等に支援を行った。加西市の特産であるぶどうの生産継続に向けて、棚の改修新設やベリーAや大粒系品種への改植を進める為に苗木の購入補助を行った。棚の新設や改修を支援し、規模拡大や作業の効率化を行った。市場ニーズがシャインマスカットを始めとする皮ごと食べられる大粒品種を求められている中、加西ゴールデンベリーAを継承する品種の選定が課題になってきている。						
	ぶどう生産推進補助事業		2,185							
	合計		2,717		自己評価 B…ほぼ目標を達成					
R5	農業団体育成事業		532							
	ぶどう生産推進補助事業		1,500							
	果樹生産基盤整備補助金		3,000							
	合計		5,032		自己評価					
R6	農業団体育成事業		532							
	ぶどう生産推進補助事業		1,500							
	果樹生産基盤整備補助金		3,000							
	合計		5,032		自己評価					
R7	農業団体育成事業		432							
	ぶどう生産推進補助事業		3,000							
	果樹生産基盤整備補助金		3,000							
	合計		6,432		自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
直売所売上高		目標		198,000	199,000	200,000	202,000	204,000	千円	単年
		実績	196,930	242,002	272,945					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		122.2%	137.2%					
上記指標の設定理由		各生産者部会員の増加を目標にすることも検討したが、専業・兼業問わず販売できる直売所の売上額を指数とし、農家の大多数が組合員となっておりJAの直売所の売上高とすることが適しているため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	5 農業の再生と活性化									
施策	⑭ 農業経営の支援									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 地元農産物を食材利用する事業者への支援や学校給食への提供などにより、地産地消や食育を推進します。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	農政課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	地産地消推進事業			2,200	神戸大学食資源センターや県立播磨農業高等学校の学生が栽培した野菜やJA兵庫みらい愛菜館を通じて市内産農作物を市内の学校給食に使用している。今年度は次年度以降からもっと安定的に野菜などの供給を行う為に、播磨農業高校と協定を締結した。また、加西ゴールデンベリーAを使用したゼリー、加西とまとのビュレを使ったハンバーグ、冬かぼちゃターホースを使ったコロッケなどが献立になった。今後の課題としては、学校給食用の野菜を生産する農家を増やすことが課題となっている。					
	合計			2,200						自己評価
R4	地産地消推進事業			845	神戸大学食資源センターや県立播磨農業高等学校の学生が栽培した野菜やJA兵庫みらい愛菜館を通じて市内産農作物を市内の学校給食に使用している。昨年度、播磨農業高校と協定を締結し、安定的に学校給食に使用した。新規就農者等も学校給食へ食材の提供を行った。今後、学校給食は公費負担となったことにより、地元産食材の使用については、教育総務課が中心となって進めていく。農政課としては、新たな農業者の確保や営農組合等へ野菜の生産について支援を行う必要がある。					
	合計			845						自己評価
R5	地産地消推進事業			0						
	合計			0						自己評価
R6	地産地消推進事業			0						
	合計			0						自己評価
R7	地産地消推進事業			0						
	合計			0						自己評価
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
学校給食市内産野菜使用日数		目標		95	100	100	110	120	日	単年
		実績	92	136	147					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	143.2%	147.0%					
上記指標の設定理由		市内飲食店での市内産農産物の使用店舗数も検討したが、食育や地域を知る学習への連携等も考え、学校給食での市内産農作物使用日数が適しているため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策											
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む										
政策	5 農業の再生と活性化										
施策	⑮ 農業環境の充実										
施策目標・担当部課											
施策目標	ア ICT技術を活用したスマート農業等、省力・高品質生産を実現する新たな農業の普及に取り組みます。										
担当部課	部名	地域振興部			課名	農政課					
目標を達成するための具体的な取り組み											
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	施設園芸設備整備支援事業				1,000	老朽化したハウスを撤去し、新たに露天において管理する花壇苗用の為に、ベンチを新設し、高さなどを調整し作業効率を高める事業を支援した。また、県予算を活用して、環境制御技術を導入し、気温、湿度などを測定し、ハウス内の加温機やハウスの袖の自動巻き上げに連動し、作業効率を上げ、農業者労働時間の軽減に支援した。資材等の高騰により、整備意欲の減退と労働意欲の減退を招かないように補助制度を検討していく必要がある。					
	合計				1,000	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	施設園芸設備整備支援事業				126	地下水をくみ上げる際に、ナノバブル発生装置を導入し、タイマーによって定期的な灌水を実施できる機器を導入し、収穫量の増加と労働時間の短縮に取り組んだ。 施設へ補助について、事業規模によっては国や県の補助メニューを活用して施設園芸のスマート機器の導入を進める。					
	合計				126	自己評価	A…目標を上回って達成				
R5	施設園芸設備整備支援事業				1,000						
	合計				1,000	自己評価					
R6	施設園芸設備整備支援事業				1,000						
	合計				1,000	自己評価					
R7	施設園芸設備整備支援事業				1,000						
	合計				1,000	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標			区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
ICT等導入事業者数			目標		2	2	2	2	3	経営体	累計
			実績	2	3	4					
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-18	達成度			150.0%	200.0%					
上記指標の設定理由			農業へのICT技術を進め、作業の効率化等を検討する施設園芸農家数が適しているため。								
			目標								
			実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度									
上記指標の設定理由											
			目標								
			実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度									
上記指標の設定理由											

基本方針・政策・施策											
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む										
政策	5 農業の再生と活性化										
施策	⑮ 農業環境の充実										
施策目標・担当部課											
施策目標	イ 耕種農家と畜産農家の連携や、生物多様性等の環境に配慮した生産等の推進により、持続可能な農業の発展を目指します。										
担当部課	部名	地域振興部			課名	農政課					
目標を達成するための具体的な取り組み											
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	環境保全型農業直接支払対策交付金				8,040	水稲作付で有機資材である堆肥の散布や中干の期間を短くしてオタマジャクシなど水生昆虫の生育を助け、また温暖化ガスであるメタンガスの発生抑制などに取組み環境にやさしい農業に取り組む農家の支援を行った。また、畜産農家に稲わらやWCS用稲を供給し、その農地へ堆肥を散布するという循環農業に取り組む農家も増えている。今後は、畜産や酪農の事業者を誘致し、自然にやさしい農業に取り組める環境を整えていくことが課題になっている。					
	合計				8,040	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	環境保全型農業直接支払対策交付金				7,969	水稲作付で有機資材である堆肥の散布や中干の期間を短くしてオタマジャクシなど水生昆虫の生育を助け、また温暖化ガスであるメタンガスの発生抑制などに取組み環境にやさしい農業に取り組む農家の支援を行い、令和4年度は新たに2団体が取り組んだ。また、畜産農家に稲わらやWCS用稲を供給し、その農地へ堆肥を散布するという循環農業に取り組む農家も増えている。 環境保全型農業に取り組んでいる者のコメについて、価格転嫁をどのように進めるかが課題。					
	合計				7,969	自己評価	A…目標を上回って達成				
R5	環境保全型農業直接支払対策交付金				9,692						
	合計				9,692	自己評価					
R6	環境保全型農業直接支払対策交付金				9,692						
	合計				9,692	自己評価					
R7	環境保全型農業直接支払対策交付金				9,692						
	合計				9,692	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標			区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
環境保全型農業取組実施者			目標		7	7	8	8	9	団体	単年
			実績	7	8	10					
第2期地域創生戦略アクションプラン			—	達成度		114.3%	142.9%				
上記指標の設定理由			有機農業など環境を意識した水稲作付農家を支援するとともに、畜産や酪農農家との連携も進むため。								
			目標								
			実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン				達成度							
上記指標の設定理由											
			目標								
			実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン				達成度							
上記指標の設定理由											

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	5 農業の再生と活性化									
施策	⑮ 農業環境の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ ため池の耐震化、農地維持・改良や農業用施設の長寿命化のほか、有害鳥獣対策の強化など、安定した農業経営を実現するための環境づくりに取り組みます。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	農政課・農林整備課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	多面的機能支払交付金事業				262,951	加西市全体に広がっている猪や鹿、アライグマの被害軽減に向けて、資材を提供し地域で金網柵などを設置する事業を行った。1つの集落をモデルとして、点検方法や管理の重要性を地域住民と一緒に取り組む活動を行った。スクミングガイ対策として、水管理や薬剤散布の効果を上げる実証として、農地の均平を行った。市内109組織が多面的機能支払交付金を活用し、農地維持活動や農業用施設の長寿命化を行った。金網柵の設置後の管理の徹底と集落で獣害捕獲を実施していく体制づくりが課題となっている。				
	ため池等整備事業				5,898					
	獣害防護柵補助金				25,000					
	鳥獣害駆除事業				11,000					
	水稲損害防止事業				2,000					
	合計				306,849	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	多面的機能支払交付金事業				243,247	多面的機能支払交付金事業については、市内109組織が交付金を活用し、農地維持活動や農業用施設の長寿命化を行った。ため池等整備事業については、ため池ハザードマップの作成を行い防災力の向上を図った。また、ため池の改修に向けて調査設計を行った。加西市全体に広がっているイノシシやシカ、アライグマ等の被害軽減に向けて、資材を提供し地域で金網柵などを設置する事業を行った。スクミングガイ対策として、薬剤の補助を実施した。				
	ため池等整備事業				18,830					
	獣害防護柵補助金				16,274					
	鳥獣害駆除事業				12,115					
	水稲損害防止事業				1,028					
	合計				291,494	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	多面的機能支払交付金事業				300,686					
	ため池等整備事業				61,400					
	獣害防護柵補助金				25,000					
	鳥獣害駆除事業				11,000					
	水稲損害防止事業				2,000					
	合計				400,086	自己評価				
R6	多面的機能支払交付金事業				300,000					
	ため池等整備事業				30,000					
	獣害防護柵補助金				25,000					
	鳥獣害駆除事業				11,000					
	水稲損害防止事業				2,000					
	合計				368,000	自己評価				
R7	多面的機能支払交付金事業				300,000					
	ため池等整備事業				30,000					
	獣害防護柵補助金				25,000					
	鳥獣害駆除事業				11,000					
	水稲損害防止事業				2,000					
	合計				368,000	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
防護柵新設延長		目標		6	6	6	6	6	km	単年
		実績	6	5	5					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度		83.3%	83.3%				
上記指標の設定理由		鳥獣の捕獲頭数を検討したが、地域主体での対策を進めていくために、最初的手段としての防御策の設置距離を指標として、柵の設置をきっかけに今後の点検や捕獲へと繋げていくため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	6 商工業の振興と新展開									
施策	⑯ 商工業の振興									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 持続可能な商工業の振興と地域経済の活性化を目指して、情報通信基盤を整備するとともに、企業のデジタル化等の設備投資や事業拡大に向けた支援にも取り組みます。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	新産業創出支援事業				15,000	制度の周知ができており、補助制度の利用が促進されている。ポストコロナ、ウィズコロナを見据え企業のデジタル化、持続化、販路開拓の取組に対して支援を行った。				
	小規模事業者持続化事業				5,000					
	合計				20,000	自己評価	A…目標を上回って達成			
R4	新産業創出支援事業				15,051	両事業とも制度の周知ができており、補助制度の利用が促進されている。ポストコロナ、ウィズコロナに対応する企業のデジタル化、持続化、販路開拓の取組に対して支援を行った。 事業者の持続化のため企業の見える化を積極的に進めていく必要がある。				
	小規模事業者持続化事業				6,366					
	合計				21,417	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	新産業創出支援事業				12,000					
	小規模事業者持続化事業				4,000					
	脱炭素化設備等導入促進事業				300,000					
	合計				316,000	自己評価				
R6	新産業創出支援事業				15,000					
	小規模事業者持続化事業				5,000					
	脱炭素化補助金				50,000					
	合計				70,000	自己評価				
R7	新産業創出支援事業				15,000					
	小規模事業者持続化事業				5,000					
	脱炭素化補助金				50,000					
	合計				70,000	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
製造品出荷額		目標		3,321	3,463	3,605	3,747	3,900	億円	単年
		実績	3,321	3,213	2,480					
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-21・23	達成度		96.7%	71.6%					
上記指標の設定理由		設備投資や従業員数の増加による生産体制の拡充が進んだ効果の反映が期待されるため。								
新産業創出支援事業助成件数		目標		10	10	10	10	10	件	単年
		実績	—	11	6					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		110.0%	60.0%					
上記指標の設定理由		ポストコロナを見据え、企業のデジタル化は急務であることから積極的な支援を目指すため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	6 商工業の振興と新展開									
施策	⑯ 商工業の振興									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 市内消費の喚起とキャッシュレス決済の普及促進のため、ポイントカード事業や市内共通商品券の発行及び電子化等に取り組みます。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	ポイントカード事業			1,000	ポイントカードや住宅リフォーム助成事業、市内共通商品券を発行し市内消費の喚起に努めた。コロナ対策として、市内共通商品券に関してプレミアム率を通常10%を20%にし、発行額も大幅に増やして実施した。また、県の商店街お買い物券・ポイントシール事業を活用した消費喚起の取組も実施した。					
	住宅リフォーム助成事業			5,000						
	プレミアム付市内商品券事業			7,000						
	合計			13,000	自己評価	A…目標を上回って達成				
R4	ポイントカード事業			1,000	コロナ禍で地域経済が落ち込む中、プレミアム付き商品券・ポイントシールを発行し、消費喚起に取り組んだ。R3より運用している地域通貨「加西市ねっぴ〜Pay」にマネーチャージ及びポイント付与機能を追加し、決済額に対するポイント還元事業を行うなど、消費喚起による地域経済の活性化を図るとともに、商工施策のデジタル化、キャッシュレス決済の普及に取り組んだ。					
	地域通貨による地域経済循環促進事業			103,353						
				22,567						
	合計			126,920	自己評価	A…目標を上回って達成				
R5	ポイントカード事業			1,000						
	地域通貨による地域経済循環促進事業			36,000						
	合計			37,000	自己評価					
R6	ポイントカード事業			1,000						
	地域通貨による地域経済循環促進事業			36,000						
	合計			37,000	自己評価					
R7	ポイントカード事業			1,000						
	地域通貨による地域経済循環促進事業			36,000						
	合計			37,000	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
卸売業・小売業販売額		目標		710	720	730	740	750	億円	単年
		実績	707	714	—					
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-03	達成度		100.6%						
上記指標の設定理由		第三次産業の成長の反映が期待されるため、年間10億円の増加を設定した。								
地域通貨加盟店登録事業所数 (3/31時点)		目標		—	270	275	280	285	事業所	単年
		実績	215	—	277					
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度		—	102.6%					
上記指標の設定理由		キャッシュレス決済の推進、事業所のデジタル化促進の指標となるため								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	6 商工業の振興と新展開									
施策	⑩ 商工業の振興									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 魅力ある商業施設の誘致を進めるとともに、市外からの観光客を受け入れるための宿泊施設等のさらなる充実に取り組みます。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課				
	部名	都市整備部			課名	都市計画課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	商業施設・宿泊施設誘致に係る調査研究				0	都市計画課との連携により西高室地区（南区画）への商業施設、アステアかさいへの屋内型遊戯施設＆テレワークセンターの誘致に成功した。引き続き、西高室地区（北区画）への商業施設誘致を進めていく。また、宿泊施設誘致を積極的に実施する。 ※R3の店舗・オフィス立地のための宅地供給促進補助については、人口増政策課が担当				
	店舗・オフィス立地のための宅地供給促進補助				1,500					
	合計				1,500	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	商業施設・宿泊施設誘致に係る調査研究				0	都市計画課との連携により西高室地区へ複合型商業施設（エルズモール加西）の誘致に成功した。引き続き、宿泊施設誘致を積極的に実施する。 ※R4の店舗・オフィス立地のための宅地供給促進補助については、人口増政策課が担当				
	店舗・オフィス立地のための宅地供給促進補助				862					
	合計				862	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	商業施設・宿泊施設誘致に係る調査研究				0					
	店舗・オフィス立地のための宅地供給促進補助				1,500					
	合計				1,500	自己評価				
R6	商業施設・宿泊施設誘致に係る調査研究				0					
	店舗・オフィス立地のための宅地供給促進補助				1,500					
	合計				1,500	自己評価				
R7	商業施設・宿泊施設誘致に係る調査研究				0					
	店舗・オフィス立地のための宅地供給促進補助				1,500					
	合計				1,500	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
卸売業・小売業販売額		目標		710	720	730	740	750	億円	単年
		実績	707	714	—					
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-03	達成度		100.6%						
上記指標の設定理由		第三次産業の成長の反映が期待されるため、年間10億円の増加を設定した。								
商業施設・宿泊施設誘致件数		目標		0	0	0	1	1	件	累計
		実績	0	2	0					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		100.0%	0.0%					
上記指標の設定理由		誘致件数を指標とし、少なくとも1件誘致することを設定した。								
新設店舗数		目標		1	1	1	1	1	店舗	単年
		実績	0	0	1					
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-11	達成度		0.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		市街地区域の土地の流動化を図ることにより年間1件程度の店舗新設を目標としました。								

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	6 商工業の振興と新展開									
施策	⑯ 商工業の振興									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 魅力ある商業施設の誘致を進めるとともに、市外からの観光客を受け入れるための宿泊施設等のさらなる充実に取り組みます。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課				
	部名	都市整備部			課名	都市計画課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	用途地域変更、地区計画等を活用した商業施設等の立地促進			0	過年度より誘致を進めていた東高室商業ゾーンのオープンモールについて、進出テナントの開発・建築計画の協議を進め、第1弾のテナントの開店がR4年4月27日に決まった。 三木穴栗線沿道の工場跡地の活用について、第2種低層住居専用地域から商業施設の誘致が可能になる第2種住居地域への変更案を検討した。					
合計			0	自己評価 A…目標を上回って達成						
R4	用途地域変更、地区計画等を活用した商業施設等の立地促進			0	東高室商業ゾーンの北・南区画で予定されたテナントの出店が完了した。三木穴栗線沿道の工場跡地の活用について、第2種低層住居専用地域から商業施設の誘致が可能になる第2種住居地域への都市計画変更が令和5年4月20日に決定した。 西笠原町への商業施設誘致のため、市街化調整区域での建築を可能とする地区計画を令和4年10月1日に決定した。					
合計			0	自己評価 A…目標を上回って達成						
R5	用途地域変更、地区計画等を活用した商業施設等の立地促進			0						
合計			0	自己評価						
R6	用途地域変更、地区計画等を活用した商業施設等の立地促進			0						
合計			0	自己評価						
R7	用途地域変更、地区計画等を活用した商業施設等の立地促進			0						
合計			0	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
卸売業・小売業販売額		目標		710	720	730	740	750	億円	単年
		実績	783	714	—					
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-03	達成度		100.6%						
上記指標の設定理由		総合計画のアンケート調査で明らかとなり、魅力ある商業施設の充実が「子育て世代に選ばれるまち」となるために必要不可欠な要素であり、商業販売額の増加は市民生活の充実を示す指数でもあるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	6 商工業の振興と新展開									
施策	⑰ 創業支援と働く場の拡大									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 創業希望者に対して、関係機関との連携のもと、相談や指導助言、空き店舗やオフィス補助などの創業支援を実施します。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	産業活性化センター事業委託				4,000	かさい創業塾やビジネスグランプリ等を通じて制度の周知ができており、補助制度利用が促進されている。				
	空き店舗活用補助				17,600					
	オフィス立地補助				0					
	合計				21,600	自己評価	A…目標を上回って達成			
R4	産業活性化センター事業委託				4,000	かさい創業塾やビジネスグランプリ等を通じて制度の周知ができており、補助制度利用が促進されている。個人事業主や小規模事業者の創業のみならず、事業承継の支援、事務系企業やクリエイティブ産業の誘致に取り組んでいる。				
	空き店舗活用補助				3,145					
	オフィス立地補助				0					
	定住自立圏共生ビジョン創業支援事業				32					
	合計				7,177	自己評価	A…目標を上回って達成			
R5	産業活性化センター事業委託				4,000					
	空き店舗活用補助				5,000					
	オフィス立地補助				300					
	定住自立圏共生ビジョン創業支援事業				101					
	合計				9,401	自己評価				
R6	産業活性化センター事業委託				4,000					
	空き店舗活用補助				6,000					
	オフィス立地補助				500					
	定住自立圏共生ビジョン創業支援事業				101					
	合計				10,601	自己評価				
R7	産業活性化センター事業委託				4,000					
	空き店舗活用補助				6,000					
	オフィス立地補助				500					
	定住自立圏共生ビジョン創業支援事業				101					
	合計				10,601	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
空き店舗活用関連補助金助成件数		目標		4	4	4	4	4	件	単年
		実績	3	10	2					
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-14	達成度		250.0%	50.0%					
上記指標の設定理由		空き店舗関連補助を利用する多くは創業者であり、創業支援の取り組みの指標として適切であるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	6 商工業の振興と新展開									
施策	⑰ 創業支援と働く場の拡大									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 若者等の起業や事業承継のための支援に努めます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課				
	部名	地域振興部			課名	産業振興課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	若者起業調査助成事業			150	若者起業調査助成事業はここ数年申請が無かったが、R3年度は2件30万円の申請があった。起業支援セミナーは開催出来ていない。					
	起業支援セミナー			90						
	合計			240	自己評価	C…目標を下回っている				
R4	若者起業調査助成事業			300	若者起業調査助成事業の申請件数は1件15万円であった。起業支援セミナーについては、開催できておらず、類似する他部署の取組との調整が必要である。					
	起業支援セミナー			90						
	合計			390	自己評価	C…目標を下回っている				
R5	若者起業調査助成事業			300						
	起業支援セミナー			60						
	合計			360	自己評価					
R6	若者起業調査助成事業			300						
	起業支援セミナー			60						
	合計			360	自己評価					
R7	若者起業調査助成事業			300						
	起業支援セミナー			90						
	合計			390	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
起業支援セミナー参加者数		目標		20	25	30	35	40	人	単年
		実績	14	0	0					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	0.0%	0.0%					
上記指標の設定理由		起業支援セミナーは支援活動の中心となるものであるため。								
若者・女性起業調査助成金交付件数		目標		1	2	2	2	2	件	単年
		実績	0	2	1					
第2期地域創生戦略アクションプラン		1-13	達成度	200.0%	50.0%					
上記指標の設定理由		若者・女性起業助成金交付件数は、支援拡大の目安として分かりやすい指標であるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策											
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む										
政策	6 商工業の振興と新展開										
施策	⑰ 創業支援と働く場の拡大										
施策目標・担当部課											
施策目標	イ 若者等の起業や事業承継のための支援に努めます。										
担当部課	部名	ふるさと創造部				課名	ふるさと創造課				
	部名	地域振興部				課名	産業振興課				
目標を達成するための具体的な取り組み											
年度	事業					経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	産業活性化センター事業委託					4,000	制度の周知ができており、補助制度の利用が促進されている。特定創業支援事業やビジネスグランプリにおいて積極的に制度のアピールを行っており、年々利用者（創業者）が増えている。				
	特定創業支援事業					上記委託料に含む					
	起業・創業スタートアップ支援事業補助					6,000					
	合計					10,000	自己評価	A…目標を上回って達成			
R4	産業活性化センター事業委託					4,000	制度の周知ができており、補助制度の利用が促進されている。特定創業支援事業やビジネスグランプリにおいて積極的に制度のアピールを行っており、年々利用者（創業者）が増えている。今後は、起業家同志のコミュニティづくりにも取り組んでいく必要がある。				
	特定創業支援事業					上記委託料に含む					
	起業・創業スタートアップ支援事業補助					8,748					
	ビジネスコンテスト運営業務委託					8,300					
	合計					21,048	自己評価	A…目標を上回って達成			
R5	産業活性化センター事業委託					4,000					
	特定創業支援事業					上記委託料に含む					
	起業・創業スタートアップ支援事業補助					2,000					
	ビジネスコンテスト運営業務委託					7,200					
	合計					13,200	自己評価				
R6	産業活性化センター事業委託					4,000					
	特定創業支援事業					上記委託料に含む					
	起業・創業スタートアップ支援事業補助					2,000					
	ビジネスコンテスト運営業務委託					9,300					
	合計					15,300	自己評価				
R7	産業活性化センター事業委託					4,000					
	特定創業支援事業					上記委託料に含む					
	起業・創業スタートアップ支援事業補助					2,000					
	ビジネスコンテスト運営業務委託					9,300					
	合計					15,300	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標			区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
創業者数			目標		7	7	7	7	7	件	単年
			実績	7	13	14					
第2期地域創生戦略アクションプラン			1-15	達成度	185.7%	200.0%					
上記指標の設定理由			起業実態を表すものとして一番適しているため。								
起業・創業スタートアップ支援事業補助金助成件数			目標		1	1	1	1	1	件	単年
			実績	—	1	6					
第2期地域創生戦略アクションプラン			—	達成度	100.0%	600.0%					
上記指標の設定理由			創業者数に加えて、補助事業の利用動向の数値化であるため。								
			目標								
			実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン				達成度							
上記指標の設定理由											

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	6 商工業の振興と新展開									
施策	⑰ 創業支援と働く場の拡大									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 地元企業も進出しやすい産業用地の整備の支援、市内企業の拡張・移転の支援に取り組みます。									
担当部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課（開発推進課）				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	特別指定区域制度等を活用した事業所拡張等の支援			0	東高室の民間産業用地はR1.6に地区計画決定後、R3.8に開発工事完了。全3区画で進出企業が決定し、うち2区画は市内企業の拡張・移転であり、施策目標を達成した。					
	民間による産業用地の創設（東高室）			0						
	合計			0						自己評価
R4	特別指定区域制度等を活用した事業所拡張等の支援			0	加西インター産業団地第2期事業3工区、5工区の造成を可能とするため、R5.7月を目標として地区計画13.2haの都市計画決定手続きを進めた。					
	合計			0						自己評価
R5	特別指定区域制度等を活用した事業所拡張等の支援			0						
	合計			0						自己評価
R6	特別指定区域制度等を活用した事業所拡張等の支援			0						
	合計			0						自己評価
R7	特別指定区域制度等を活用した事業所拡張等の支援			0						
	合計			0						自己評価
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
特別指定区域制度等を活用した規制緩和による事業所建築可能用地の拡大面積		目標		3	6	9	12	15	ha	累計
		実績	—	5.4	5.4					
第2期地域創生戦略アクションプラン		1-10・24	達成度	180.0%	90.0%					
上記指標の設定理由		既存事業所が多数立地し、多額の製造品出荷額を生み出している市街化調整区域内事業所の拡張・移転支援を進めることは、事業継承促進と本市の経済基盤の安定化に繋がるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	6 商工業の振興と新展開									
施策	⑰ 創業支援と働く場の拡大									
施策目標・担当部課										
施策目標	Ⅰ 加西インター産業団地整備を進め、企業誘致等について計画的に取り組みます。									
担当部課	部名	都市整備部			課名	開発推進課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	加西インター産業団地整備事業				941,133	1-2工区は進出企業のリスパック(株)が新工場の建築工事に着工。 1-1,2,4工区はR2年度に2社の事業協力者と官民連携協定締結。 1-1工区は先行、1期、2期の3期計画とし、R3年度は先行開発を完了。進出企業の(株)千石に引渡し、建築工事に着工。1期開発の進出企業の誘致を進めた。2・4工区は地権者との用地買収を完了。進出企業の誘致を進めた。				
	合計				941,133	自己評価	A…目標を上回って達成			
R4	加西インター産業団地整備事業				172,961	1期事業について、1-2工区は進出企業のリスパック(株)新工場の建築工事が進んだ。造成工事の中の1-1工区は新たに3社の進出企業を公表して計5社となった。4工区は4社の進出企業を公表し、造成工事に着手した。2工区は進出企業の誘致と開発設計を進めた。 2期事業について、土地利用規制緩和として、3・5工区の農産法実施計画の変更、農振農用地除外、地区計画の決定手続きを進めた。				
	合計				172,961	自己評価	A…目標を上回って達成			
R5	加西インター産業団地整備事業				336,225					
	同上 (R4繰越)				20,415					
	合計				356,640	自己評価				
R6	加西インター産業団地整備事業				未定					
	合計				0	自己評価				
R7	加西インター産業団地整備事業				未定					
	合計				0	自己評価				
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
分譲面積 (1-1・1-2・2・4工区)		目標		7	14	14	19	23	ha	累計
		実績	0	7.84	16.77					
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-09	達成度		112.0%	119.8%					
上記指標の設定理由		産業団地の分譲面積は、企業誘致等の取組実績を直接的に反映する数値であるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	6 商工業の振興と新展開									
施策	⑱ 雇用・勤労者福祉の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 多様な媒体を通じて就職に関する情報提供を進め、市内における雇用の促進を図ります。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	ふるさとハローワークの運営				12,640	インターンシップ促進事業を実施するなど、雇用の促進に努めている。製造業の労働力不足が益々高まる中、採用企業の見せ方、採用の方法など時代に合わせた検討改善の必要がある。また、高校生の採用についても、学校での企業説明会を実施するなど工夫が必要。				
	若者就職支援事業補助（就職ポータルサイトの運営）				1,500					
	雇用安定対策事業補助（JOBフェア開催）				300					
	合計				14,440	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	ふるさとハローワークの運営				11,863	リアル開催のJOBフェアのほか、学生向けにオンライン企業説明会を開催し、企業の採用活動を支援するなど、時代に沿った取り組みを実施している。				
	若者就職支援事業補助（就職ポータルサイトの運営）				1,500					
	雇用安定対策事業補助（JOBフェア開催）				300					
	合計				13,663	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	ふるさとハローワークの運営				4,288					
	若者就職支援事業補助（就職ポータルサイトの運営）				1,500					
	雇用安定対策事業補助（JOBフェア開催）				300					
	合計				6,088	自己評価				
R6	ふるさとハローワークの運営				5,000					
	若者就職支援事業補助（就職ポータルサイトの運営）				1,500					
	雇用安定対策事業補助（JOBフェア開催）				300					
	合計				6,800	自己評価				
R7	ふるさとハローワークの運営				5,000					
	若者就職支援事業補助（就職ポータルサイトの運営）				1,500					
	雇用安定対策事業補助（JOBフェア開催）				300					
	合計				6,800	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
就職支援セミナーの開催数		目標		12	12	12	12	12	回	単年
		実績	12	13	13					
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-07	達成度		108.3%	108.3%					
上記指標の設定理由		兵庫労働局との協定に基づき、求職者向け就職支援セミナーを月1回開催することを目標とする。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	6 商工業の振興と新展開									
施策	⑱ 雇用・勤労者福祉の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 関係機関と連携し、若者や高齢者、障がいのある人などの就職に向けた支援を実施します。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	ふるさとハローワークの運営				12,640	兵庫労働局との雇用対策協定のもと、求職者の就職支援に取り組んでいる。 コロナの影響で、職業講話は、市内1校のみの開催となった。 出張相談においては、相談件数こそ少ないものの、確実に就労に結びつけることができている。				
	若者サポートステーション出張相談の開催				132					
	高校生向け職業講話の実施				0					
	合計				12,772	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	ふるさとハローワークの運営				11,863	兵庫労働局との雇用対策協定のもと、求職者の就職支援に取り組んでいる。 市内事業所6社の協力のもと北条高校で「地元企業の魅力を知る会及び職業講話」を実施した。 出張相談においては、相談件数は少ないものの増加傾向である。				
	若者サポートステーション出張相談の開催				132					
	高校生向け職業講話の実施				0					
	合計				11,995	自己評価	C…目標を下回っている			
R5	ふるさとハローワークの運営				4,288					
	高校生向け職業講話の実施				0					
	合計				4,288	自己評価				
R6	ふるさとハローワークの運営				5,000					
	高校生向け職業講話の実施				0					
	合計				5,000	自己評価				
R7	ふるさとハローワークの運営				5,000					
	高校生向け職業講話の実施				0					
	合計				5,000	自己評価				
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
市内事業所高校生新卒正規社員採用者数		目標		70	70	70	70	70	人	単年
		実績	66	46						
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-01	達成度		65.7%						
上記指標の設定理由		高卒者の市外企業への流出が課題となっているため、市内事業所的高校生新卒正規社員採用者数を設定した。 (R4年度より西脇公共職業安定所が指標数値を集計していないため、実績・達成率を算出することが出来ない。)								
加西市ふるさとハローワーク支援における就職件数		目標			450	450	450	450	件	単年
		実績	465	440	465					
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度			103.3%					
上記指標の設定理由		求職者に対して、就職に向けて様々な支援をし、就職に結びつけたという指標になるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	6 商工業の振興と新展開									
施策	⑬ 雇用・勤労者福祉の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ U J I ターンによる就職・起業など、市外からの就業に向けた取り組みを推進し、定住促進を図ります。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	大学訪問				0	兵庫労働局との雇用対策協定のもと、求職者の就職支援に取り組んでいる。 インターンシップの促進においては、啓発を行うものの実施企業が少ない。選ばれる製造業のイメージづくりと地方への就労希望者を増やす取り組みが必要と思われる。				
	インターンシップ雇用促進モデル事業				849					
	起業・創業スタートアップ支援事業補助				6,000					
	合計				6,849	自己評価	C…目標を下回っている			
R4	大学訪問				0	兵庫労働局との雇用対策協定のもと、求職者の就職支援に取り組んでいる。 市内事業所4社の協力のもと小学生向けの産業観光ツアーを3年ぶりに開催した				
	ふるさと就職支援事業				800					
	起業・創業スタートアップ支援事業補助				8,748					
	合計				9,548	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	大学訪問				0					
	ふるさと就職支援事業				800					
	起業・創業スタートアップ支援事業補助				2,000					
	合計				2,800	自己評価				
R6	大学訪問				0					
	ふるさと就職支援事業				800					
	起業・創業スタートアップ支援事業補助				2,000					
	合計				2,800	自己評価				
R7	大学訪問				0					
	ふるさと就職支援事業				800					
	起業・創業スタートアップ支援事業補助				2,000					
	合計				2,800	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
就職支援セミナーの開催数		目標		12	12	12	12	12	回	単年
		実績	12	13	13					
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-07	達成度		108.3%	108.3%					
上記指標の設定理由		兵庫労働局との協定に基づき、求職者向け就職支援セミナーを月1回開催することを目標とする。								
市内事業所従業員市内居住率		目標		32	34	36	38	40	%	単年
		実績	30	43	39					
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-03	達成度		134.4%	114.7%					
上記指標の設定理由		特に製造業においては、労働力不足が続いており、市外からも労働力の流入を図る必要があるが、必ずしも定住に直結しているとは言えないため、市内への定着を目指す。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出									
施策	⑬ 歴史・文化の再発見と交流拡大									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 歴史文化遺産を活かしたまちづくりと、計画的な保存・活用を推進します。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課				
	部名	ふるさと創造部			課名	鶴野未来課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	歴史文化遺産を活かした活動への補助制度の新設				1,000	補助制度を活用し、活用事業9団体・美化事業8団体が、地域文化財の修理・公開・清掃等に取り組んだ。住民主体の文化財の活用・維持による地域活性化を推進出来るよう、さらなる制度の周知を図る。史跡整備においては、クワンス塚古墳の墳丘・外堤部の崩落が確認されたため、令和4年度崩落地点の調査及び緊急修理を実施する。近代戦争遺産調査は、神戸大学と連携し、『加西市近代遺産調査報告書1・2』の印刷製本を行った。本件は継続し実施する。				
	史跡玉丘古墳の整備（整備計画改正）				64					
	近代戦争遺産の調査と資料の拡充				2,000					
	合計				3,064	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	歴史文化遺産を活かした活動への補助制度の拡充				905	補助制度を活用し、11団体が地域文化財の調査研究資料の印刷や掲示板を作成し、公開や周知活動に取り組んだ。また地域に伝わる民謡の演奏会や行事開催を通じて伝統芸能の伝承等にも取り組んだ。美化事業として8団体が、地域文化財の清掃等に取り組んだ。史跡整備においては、クワンス塚古墳の崩落箇所の緊急修理と遺構確認調査を実施、成果について報告書を作成した。近代戦争遺産調査は、神戸大学と連携し、『加西市近代遺産調査報告書3』について加筆修正作業を行うとともに冊子版を作成した。				
	史跡玉丘古墳群の整備				3,004					
	近代戦争遺産の調査と資料の拡充				900					
	合計				4,809	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	歴史文化遺産を活かした活動への補助制度の拡充				1,000					
	史跡玉丘古墳群の整備				8,656					
	近代戦争遺産の調査と資料の拡充				1,200					
	合計				10,856	自己評価				
R6	歴史文化遺産を活かした活動への支援				1,500					
	史跡玉丘古墳群の整備				18,363					
	近代戦争遺産の調査と資料の拡充				未定					
	合計				19,863	自己評価				
R7	歴史文化遺産を活かした活動への支援				2,000					
	史跡玉丘古墳群の整備				3,963					
	近代戦争遺産の調査と資料の拡充				未定					
	合計				5,963	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
地域団体等による歴史文化遺産を活かした活動への支援		目標		10	15	20	20	20	件	単年
		実績	0	17	19					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	170.0%	126.7%					
上記指標の設定理由		地域団体等による歴史文化遺産を活かした活動への支援件数が、目標達成度を見るための指標として適しているため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出									
施策	⑨ 歴史・文化の再発見と交流拡大									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 歴史文化遺産を活かしたまちづくりと、計画的な保存・活用を推進します。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課				
	部名	ふるさと創造部			課名	鶺野未来課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	加西市地域活性化拠点施設建設工事				266,409	加西市地域活性化拠点施設「soraかさい」建設工事・外構工事・駐車場工事、祈念碑移設工事、巨大防空壕駐車場整備工事、巨大防空壕雨水対策整備工事を行った。増加する来訪者の利便性向上を図るとともに近隣住民の生活圏を守る。また、昨年度策定の道の駅基本構想を踏まえ、道の駅整備を推進する基本計画として取りまとめ、さらなる地域振興を図る。				
	加西市地域活性化拠点施設外構・駐車場工事				75,665					
	巨大防空壕駐車場整備工事				4,824					
	巨大防空壕雨水対策整備工事				248					
	鶺野飛行場案内看板設置工事				1,278					
	合計				348,424	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	地域活性化拠点施設屋外トイレ建設工事				35,015	soraかさい屋外トイレの整備、フィールドミュージアム無線LAN・監視カメラの整備、機銃座模型の移設、フィールドミュージアム内に注意喚起看板の設置、姫路海軍航空隊復元図を基にしたジオラマの作成、戦争体験談を基にしたアニメーションの作成を行った。また、鶺野飛行場RVパーク整備導入可能性調査の委託を行い、RVパークの効率的な管理運営方法等について調査した。				
	爆弾庫活用整備事業				21,978					
	鶺野飛行場活用整備工事（wifi、カメラ、看板、機銃模型移設）				8,020					
	RVパーク試行及び基本計画策定業務				3,267					
	合計				68,280	自己評価	A…目標を上回って達成			
R5	デジタルミュージアム事業				32,500					
	戦争遺跡安定性評価業務委託				10,000					
	案内看板設置工事				2,000					
合計				44,500	自己評価					
R6	案内看板設置工事				3,000					
	エプロン跡活用整備				10,000					
	コンクリート防空壕活用整備				10,000					
	I型防空壕活用整備				10,000					
	合計				33,000	自己評価				
R7	RVパーク整備				40,000					
	未利用防空壕活用整備				30,000					
	案内看板設置工事				3,000					
合計				73,000	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
鶺野飛行場跡の観光誘客数		目標		40,000	100,000	110,000	115,000	120,000	人	単年
		実績	32,596	20,894	122,149					
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-01	達成度		52.2%	122.1%					
上記指標の設定理由		令和4年春にオープンを予定している鶺野フィールドミュージアムの拠点「soraかさい」の整備計画において、施設の完成及び鶺野飛行場線の完成により「soraかさい」の年間来場者数120,000人になるという試算データを参考に設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出									
施策	⑨ 歴史・文化の再発見と交流拡大									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 加西市独自の地域資源を活用した観光サービスを展開するとともに、観光拠点のネットワーク化など、観光振興の仕組みづくりにも取り組みます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	「気球の飛ぶまち加西」の推進				9,300	<気球> 市内企業からの寄附金を活用し、2機目となる気球を製作。2名のパイロット養成を実施。引き続きプロモーションを続ける。<滞在ツアー> 宿泊に導く持続自走型観光コンテンツ造成事業を民間に委託して実施。<サイクル> カサイチfanライド2021を実施し全国から307名が参加した他、デジタルスタンプラリーには246名が参加した。<観光ガイド> 「ふるさと加西の歴史講座」を開講し 3 名が会員登録。観光協会と共催で「鶴野ガイド養成塾」を開催し33名が受講。<飲食店> ふーど記店舗をめぐるスタンプラリーを開催。6,775件の応募（市内5,499、市外1,276）				
	滞在ツアーの構築				5,000					
	サイクルツーリズムの推進				5,000					
	観光ガイドの育成				800					
	飲食店への誘客				2,000					
	合計				22,100	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	「気球の飛ぶまち加西」の推進				4,300	<気球> ハッピーバルーンクリスマスや市内外での気球係留、絵画コンクール、市内小学校2校を対象としたアクティブバルーンスクールを実施し、「気球の飛ぶまち加西」の推進に取り組んだ。<サイクル> 北条鉄道キハ40を貸し切り、列車とライドを楽しむイベント「カサイチトレインライド」を実施。カサイチゆるボタスタンプラリーでは、317名が参加し2387個のデジタルスタンプが押された。<観光ガイド> 鶴野周辺のガイド教本が完成し、ガイド養成塾の中から8名に認定証を授与し、R4年度2期生は3名の応募があった。<飲食店> ふーど記店舗をめぐるデジタルスタンプラリーを開催。デジタル化の弊害があつつも、3,200件の応募があった。				
	サイクルツーリズムの推進				2,500					
	観光ガイドの育成				500					
	飲食店への誘客（加西ふーど記）（観光協会）				2,700					
	合計				10,000	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	「気球の飛ぶまち加西」の推進				3,000					
	サイクルツーリズムの推進				2,000					
	観光ガイドの育成				400					
	飲食店への誘客（加西ふーど記）（観光協会）				2,500					
	合計				7,900	自己評価				
R6	「気球の飛ぶまち加西」の推進				3,000					
	サイクルツーリズムの推進				2,000					
	観光ガイドの育成				400					
	飲食店への誘客（加西ふーど記）（観光協会）				2,500					
	合計				7,900	自己評価				
R7	「気球の飛ぶまち加西」の推進				3,000					
	サイクルツーリズムの推進				2,000					
	観光ガイドの育成				400					
	飲食店への誘客（加西ふーど記）（観光協会）				2,000					
	合計				7,400	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
加西市内宿泊者数		目標		70	72	74	76	78	千人	単年
		実績	75	53	74					
第2期地域創生戦略アクションプラン		2-05	達成度	75.7%	102.8%					
上記指標の設定理由		市内滞在時間すなわち経済波及効果の拡大に繋げるため、毎年2千人の増加を目標とした。								
観光ガイド実施回数		目標		250	270	280	290	300	回	単年
		実績	212	200	399					
第2期地域創生戦略アクションプラン		2-04	達成度	80.0%	147.8%					
上記指標の設定理由		市民ガイドがおもてなしの精神で観光客を案内し、加西市をより深く理解していただける仕組み作りにつなげるための指標として、適しているため。								
「加西ふーど記」登録店舗数		目標		65	70	75	75	80	店	累計
		実績	75	95	100					
第2期地域創生戦略アクションプラン		1-20	達成度	146.2%	142.9%					
上記指標の設定理由		市最大の飲食店ネットワークの構築度合いを計り、観光と連動した経済促進活動の拡大につなげるため、毎年5店舗の増加を目標とした。								

基本方針・政策・施策											
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む										
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出										
施策	⑭ 歴史・文化の再発見と交流拡大										
施策目標・担当部課											
施策目標	ウ 北条旧市街地の活性化や市内宿泊施設の活用などを進め、まちのにぎわいづくりに取り組みます。										
担当部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課					
目標を達成するための具体的な取り組み											
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	空き家活用支援事業（事業所型）				0	R3年度に活用候補となる旧市街地内の空き家を2件、空き家バンクに新たに登録したが、空き家を事業所として改修を行う事業は令和3年度においては無かった（内1件は住宅用地として成約）。引き続き、活用候補となる物件を空き家バンクに登録していくと同時に、起業を検討している相談者に支援制度の周知を図っていく。					
	合計				0	自己評価	C…目標を下回っている				
R4	空き家活用支援事業（事業所型）				0	R4年度は旧市街地内の空き家バンク登録はなく、空き家活用支援事業（事業所型）の実績は0件であった。一方で、県と連携し、旧市街地内の課題解決を目的として、エリアを設定し、エリア内の住民やプレイヤーや企業及び行政などで構成される「エリアプラットフォーム」を立ち上げ、まちなか再生にむけたビジョンの策定や具体的取組の検討を行った。					
	合計				0	自己評価	C…目標を下回っている				
R5	空き家活用支援事業（事業所型）				2,250						
	空き家等活用によるまちなか再生モデル事業補助金				1,200						
	合計				3,450	自己評価					
R6	空き家活用支援事業（事業所型）				2,250						
	空き家等活用によるまちなか再生モデル事業補助金				1,200						
	合計				3,450	自己評価					
R7	空き家活用支援事業（事業所型）				2,250						
	空き家等活用によるまちなか再生モデル事業補助金				1,200						
	合計				3,450	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標			区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
空き家・空き店舗助成数			目標		1	2	3	4	5	件	累計
			実績	0	0	0					
第2期地域創生戦略アクションプラン		2-12	達成度		0.0%	0.0%					
上記指標の設定理由			旧市街地の空き家等を改修し、店舗や事業所等として活用していくことが、にぎわいづくりにつながると考え、改修費用の助成件数を指標とし、毎年1件の実施を目標値した。								
			目標								
			実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度								
上記指標の設定理由											
			目標								
			実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度								
上記指標の設定理由											

基本方針・政策・施策											
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む										
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出										
施策	⑳ 移住・定住の支援										
施策目標・担当部課											
施策目標	ア 転出の抑制と移住の促進のため、奨学金返還補助など各種支援に取り組みます。										
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課					
目標を達成するための具体的な取り組み											
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	U J I ターン促進補助金				9,178	令和元年度より所得制限を設けたことにより、令和2年度以降の新規申請者数が減少している。各種移住施策を総合的にPRすることで、本制度利用者数の増加を図る。					
	合計				9,178	自己評価	D…目標を大きく下回っている				
R4	U J I ターン促進補助金				11,000	令和元年度より所得制限を設けたことにより、令和2年度以降の新規申請者数が減少している。本制度のみならず各種移住施策を総合的にPRすることで、利用者数の増加を図る。					
	合計				11,000	自己評価	D…目標を大きく下回っている				
R5	U J I ターン促進補助金				9,500						
	合計				9,500	自己評価					
R6	U J I ターン促進補助金				9,700						
	合計				9,700	自己評価					
R7	U J I ターン促進補助金				9,900						
	合計				9,900	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標			区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
U J I ターン者数（新規申請者数）			目標		57	60	63	66	69	人	単年
			実績	54	32	34					
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-06	達成度		56.1%	56.7%						
上記指標の設定理由		新たに「UJIターン促進補助金」の交付を受けたUJIターン者を指標とし、年間3名の増加を目標としました。									
			目標								
			実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度									
上記指標の設定理由											
			目標								
			実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度									
上記指標の設定理由											

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出									
施策	⑳ 移住・定住の支援									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 若者の住居確保をサポートする取り組みを推進します。									
担当部課	部名	地域振興部	課名	きてみて住んで課						
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業		経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	若者定住促進住宅補助事業		35,238	若者定住促進住宅補助事業については、目標件数を達成した。一方で、新婚世帯向け家賃補助事業と新結婚新生活支援事業は目標件数を下回っており、婚姻数や新婚世帯の転入件数を増やしていく必要があるため、子育て支援のPRに併せて、本制度についても様々な方法で周知を図っていく。						
	新婚世帯向け家賃補助事業		11,844							
	結婚新生活支援事業		829							
	合計		47,911	自己評価 C…目標を下回っている						
R4	若者定住促進住宅補助事業		33,723	いずれの項目も目標に対して、9割前後の達成となり、目標には届かなかった。しかしながら、加西市への移住・定住の入り口となる制度として、各制度のPRを人口増政策課とも連携して様々な媒体で発信を行った結果、新婚世帯家賃補助事業と結婚新生活支援事業の利用者が増え、若者世帯の転入者数増につなげることができた。						
	新婚世帯向け家賃補助事業		11,793							
	結婚新生活支援事業		3,603							
	合計		49,119	自己評価 C…目標を下回っている						
R5	若者定住促進住宅補助事業		34,000							
	新婚世帯向け家賃補助事業		12,000							
	結婚新生活支援事業		8,000							
	合計		54,000	自己評価						
R6	若者定住促進住宅補助事業		40,000							
	新婚世帯向け家賃補助事業		20,400							
	結婚新生活支援事業		8,000							
	合計		68,400	自己評価						
R7	若者定住促進住宅補助事業		40,000							
	新婚世帯向け家賃補助事業		21,100							
	結婚新生活支援事業		8,000							
	合計		69,100	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
加西市若者世帯持家促進補助金助成件数		目標		80	80	80	80	80	件	単年
		実績	67	80	73					
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-21	達成度		100.0%	91.3%					
上記指標の設定理由		若者世帯の定住人口を把握するための指標として、市内に住宅を新築・購入して居住する若者世帯に対して補助を行う本制度の受給者数を使用するもので、過去の実績から目標値を設定した。								
新婚世帯向け家賃補助金新規助成件数		目標		48	55	60	65	70	件	単年
		実績	39	36	47					
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-22	達成度		75.0%	85.5%					
上記指標の設定理由		若者世帯の定住促進状況を把握するための指標として、市内の民間賃貸住宅に居住する新婚世帯に対して家賃を補助する本制度の受給数を使用するもので、市内に居住する新婚世帯を毎年5件以上増やしていくことを目標とした。								
結婚新生活支援事業補助金助成件数		目標		20	22	25	27	30	件	単年
		実績	—	5	19					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		25.0%	86.4%					
上記指標の設定理由		若者の結婚にかかる初期費用（新居の敷金・礼金や引越費用）を補助する本制度の受給者数を使用するもので、市内に居住する新婚世帯を毎年2～3件ずつ（補助対象者の約50%が該当するため）増やしていくことを目標とした。								

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出									
施策	⑳ 移住・定住の支援									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 若い世代の定住を促進するため、若者の夢の実現を支える支援を進めます。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課				
	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	移住相談（随時）				0	新型コロナウイルス感染症による地方への移住の流れに合わせて、移住希望者の住まいの主な候補となる空き家の積極的なバンク登録の実施や、移住定住特設サイトの新設により、当初の予定より大幅に相談件数を伸ばすことができた。				
	合計				0	自己評価	A…目標を上回って達成			
R4	移住定住相談業務（委託）				2,500	移住相談業務を一般社団法人に委託し、多岐にわたる移住相談に対応可能なワンストップ窓口の設置するとともに、相談会やワークショップ等を開催し、移住者や関係人口の増加につなぐことができた。 また、市内の空き家を活用し、お試し居住・地域交流カフェなど複合的な機能を有した施設を令和5年度に設置するにあたり、移住PR計画やリノベーション計画の策定などを実施した。				
	古民家再生お試し居住による地域交流活性化事業				11,977					
	合計				14,477	自己評価	A…目標を上回って達成			
R5	移住定住相談業務（委託）				2,500					
	古民家再生お試し居住による地域交流活性化事業				36,000					
	合計				38,500	自己評価				
R6	移住定住相談業務（委託）				2,500					
	古民家再生お試し居住による地域交流活性化事業				13,000					
	合計				15,500	自己評価				
R7	移住定住相談業務（委託）				2,500					
	合計				2,500	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
お試し滞在施設設置数		目標		0	1	1	2	2	件	累計
		実績	0	0	0					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	0.0%	0.0%					
上記指標の設定理由		空き家を活用した中・長期間滞在ができるお試し滞在施設を設置することで、若者の移住定住促進につなげていくこととし、R4・R6年度にそれぞれ1件ずつ設置することを目標とした。								
移住相談件数		目標		160	170	180	190	200	件	単年
		実績	152	327	334					
第2期地域創生戦略アクションプラン		2-08	達成度	204.4%	196.5%					
上記指標の設定理由		移住定住の促進状況の指標として、移住相談件数を使用するもので、コロナ禍の影響により地方への移住希望者が増加することを考慮し、相談件数を年間10件ずつ増やすことを目標とした。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出									
施策	⑳ 移住・定住の支援									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 若い世代の定住を促進するため、若者の夢の実現を支える支援を進めます。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課				
	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	若者チャレンジ事業			400	申請数は近年と比較して増加した。増加理由としては、ふるさと創造課をはじめとする別事業の関係者への周知ができたためと考えている。更なる周知に努める。					
	合計			400	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	若者チャレンジ事業			100	申請数は1件10万円に減少。制度の本来の趣旨を逸脱しないように注意の上、利用しやすい制度改正が必要と考える。					
	合計			100	自己評価	C…目標を下回っている				
R5	若者チャレンジ事業			300						
	合計			300	自己評価					
R6	若者チャレンジ事業			300						
	合計			300	自己評価					
R7	若者チャレンジ事業			300						
	合計			300	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
若者チャレンジ助成件数		目標		4	5	5	5	5	件	単年
		実績	1	3	1					
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-12	達成度		75.0%	20.0%					
上記指標の設定理由		若者チャレンジ助成件数をあげることが、本事業の推進状況を図る最もよい指標になるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出									
施策	㊴ 空き家・空き店舗の利活用									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 関係団体との連携のもと、空き家相談体制の強化や空き家バンク制度の定着を図ります。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課				
		総務部				危機管理課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	空き家バンク事業				132	空き家所有者へのアンケート実施や、不動産事業者への声掛け等、物件のバンク登録に向けた積極的な取り組みを実施した。その結果、物件のバンク新規登録数は目標を大幅に超え、家財道具等処分支援補助事業も11件実施し、成約数も25件（R2は10件）と大きく増加した。また、え〜がい加西と連携し、定期相談会を5回開催した。また、地域と連携した空き家相談を実施するために西在田地区でセミナーを開催した。				
	空き家家財道具等処分支援補助事業				1,075					
	え〜がい加西による空き家相談（個別、定期相談会）				181					
	合計				1,388	自己評価	A…目標を上回って達成			
R4	空き家バンク事業				0	不動産事業者との連携強化や、空き家バンク制度の情報発信を積極的に実施し、その結果、新規登録数は目標を大幅に超え、成約数も32件と過去最高となった。家財道具等処分支援補助事業も15件実施し、空き家利活用の促進につなげることができた。また、え〜がい加西と連携し、定期相談会や地域セミナーを開催し、空き家問題解決に向けた取組を実施した。				
	空き家家財道具等処分支援補助事業				1,330					
	え〜がい加西による空き家相談（個別、定期相談会）				250					
	合計				1,580	自己評価	A…目標を上回って達成			
R5	空き家バンク事業				0					
	空き家家財道具等処分支援補助事業				1,000					
	え〜がい加西による空き家相談（個別、定期相談会）				250					
	合計				1,250	自己評価				
R6	空き家バンク事業				0					
	空き家家財道具等処分支援補助事業				1,300					
	え〜がい加西による空き家相談（個別、定期相談会）				250					
	合計				1,550	自己評価				
R7	空き家バンク事業				0					
	空き家家財道具等処分支援補助事業				1,500					
	え〜がい加西による空き家相談（個別、定期相談会）				250					
	合計				1,750	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
空き家バンク新規登録数		目標		15	15	15	15	15	件	単年
		実績	13	36	33					
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-10	達成度		240.0%	220.0%					
上記指標の設定理由		市内空き家の利活用の促進状況の指標として、空き家バンク新規登録数を使用するもので、令和元年度の実績以上の15件を目標値とした。								
「え〜がい加西」相談引渡件数		目標		5	5	5	5	5	件	単年
		実績	4	5	7					
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-11	達成度		100.0%	140.0%					
上記指標の設定理由		空き家相談体制強化の指標として、市内の専門家により組織された「え〜がい加西」に相談を引き渡した件数を使用するもので、令和元年度の実績件数から、年間5件を目標値とした。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出									
施策	㊸ 空き家・空き店舗の利活用									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 関係団体との連携のもと、空き家相談体制の強化や空き家バンク制度の定着を図ります。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課				
		総務部				危機管理課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3										
	合計			0						自己評価
R4										
	合計			0						自己評価
R5	空き家等実態調査業務			4,000						
	合計			4,000						自己評価
R6	空き家等対策計画策定業務			4,000						
	合計			4,000						自己評価
R7	R6年度空き家等対策計画策定を受けての事業									
	・空き家等化の予防・発生抑制			0						
	・空き家等の適切な管理の促進			0						
	・空き家等及び跡地の活用の促進			0						
	・空き家バンク制度の活用 等			0						
	合計			0						自己評価
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
空き家バンク新規登録数		目標		15	15	15	15	15	件	単年
		実績	13	36	33					
第2期地域創生戦略アクションプラン		2-10	達成度	240.0%	220.0%					
上記指標の設定理由		市内空き家の利活用の促進状況の指標として、空き家バンク新規登録数を使用するもので、令和元年度の実績以上の15件を目標値とした。								
「え〜がい加西」相談引渡件数		目標		5	5	5	5	5	件	単年
		実績	4	5	7					
第2期地域創生戦略アクションプラン		2-11	達成度	100.0%	140.0%					
上記指標の設定理由		空き家相談体制強化の指標として、市内の専門家により組織された「え〜がい加西」に相談を引き渡した件数を使用するもので、令和元年度の実績件数から、年間5件を目標値とした。								
関係部署との事業連携件数		目標						10	件	単年
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由		計画を策定に伴い、市内の空き家の把握や対応方針の整理が進められ、空き家の利活用について関係機関と連携を図ることで、空き家課題に対する多面からのアプローチが可能となる。								

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出									
施策	㊸ 空き家・空き店舗の利活用									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 空き家・空き店舗を幅広く活用したまちづくりを進めます。									
担当部課	部名	地域振興部				課名	きてみて住んで課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業		経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	空き家改修補助事業		3,500	空き家バンクの物件登録件数や成約数の大幅な増加に合わせて、空き家改修補助事業も目標件数を大きく超えることができた。						
	合計		3,500	自己評価	A…目標を上回って達成					
R4	空き家改修補助事業		4,467	空き家バンク物件の成約数が前年よりも増加したことで、空き家改修補助事業も目標件数を大きく超えることができ、空き家の利活用及び移住促進につながることができた。						
	合計		4,467	自己評価	A…目標を上回って達成					
R5	空き家改修補助事業		2,000							
	合計		2,000	自己評価						
R6	空き家改修補助事業		3,000							
	合計		3,000	自己評価						
R7	空き家改修補助事業		3,000							
	合計		3,000	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
空き家改修補助事業助成件数		目標		4	5	5	6	6	件	単年
		実績	4	7	10					
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-09	達成度		175.0%	200.0%					
上記指標の設定理由		空き家の利活用や加西市への移住定住促進状況の指標として、空き家の改修費用を補助する本制度の助成数を使用するもので、令和元年度の実績から、R3年度を4件とし、さらに段階的に増やしていくことを目標とした。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出									
施策	㊸ 空き家・空き店舗の利活用									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 移住・定住の促進を目的として、お試し居住や社宅利用、事務所、リモートワーク等に適した空き家・空き店舗の活用を図ります。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	お試し滞在補助制度			43	移住相談件数の増加に合わせて、お試し滞在補助制度の件数も増加した。一方で、緊急事態宣言やまん延防止期間と重なり、利用者が申請を取りやめるケースもあったため、感染状況が落ち着けば、さらに件数は増加するものとする。					
	合計			43	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	お試し滞在補助制度			48	お試し滞在補助制度の件数は2件であったが、内1名が加西市に移住し、もう1名も将来的には加西市の移住を検討している。移住につなげるための最初の入り口となる制度として大きな成果をあげることができた。					
	合計			48	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	お試し滞在補助制度			200						
	合計			200	自己評価					
R6	お試し滞在補助制度			240						
	合計			240	自己評価					
R7	お試し滞在補助制度			280						
	合計			280	自己評価					
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
お試し滞在補助金		目標		5	5	6	6	7	件	単年
		実績	1	4	10					
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-07	達成度		80.0%	200.0%					
上記指標の設定理由		移住定住の促進状況の指標として、市内宿泊施設を利用したお試し滞在を補助する本事業の件数を使用するもので、コロナ禍の影響による地方への移住の流れがあるため、R3年度を5件とし、段階的に増やしていくことを目標とした。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	8 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実									
施策	② 防災・感染症対策の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 防災訓練や災害対策に関する情報提供、災害時要援護者の登録促進や防災リーダーの育成を図り、防災体制の強化に取り組みます。									
担当部課	部名	総務部			課名	危機管理課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	要援護者台帳の更新・個別支援計画の策定			300	防災ネットは昨年度は火災情報、外国語自動翻訳を含めて241件のメール配信を行っており、効果的に情報発信を行っていると言える。要援護者台帳の更新については、新規追加調査を行ったことから台帳登載者が増加した。個別支援計画の策定については、令和3年に災害対策基本法に努力義務規定されたことから、今後とも積極的に取り組んでいきたい。					
	防災ネット等使用料			1,570						
	県防災ネットワーク運営協議会分担金			840						
	情報伝達システム実施設計単価更正費委託料			1,000						
	合計			3,710	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	要援護者台帳の更新・個別支援計画の策定			360	防災ネットは、令和2年から続く新型コロナウイルス感染症の情報発信に利用する等有効に活用している。防衛省の補助を受けて実施しているコミュニティ無線については、九会地区・富合地区の一部を受信エリアとし、令和4年度は基地局、送信局の設備工事が完了し、九会地区の一部の自治会で戸別受信機の配布が完了し、運用を開始した。					
	防災ネット等使用料			1,875						
	県防災ネットワーク運営協議会分担金			760						
	コミュニティ無線工事			104,500						
	合計			107,495	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	要援護者台帳の更新・個別支援計画の策定			300						
	防災ネット等使用料			1,570						
	県防災ネットワーク運営協議会分担金			840						
	コミュニティ無線工事			88,000						
	情報伝達システム整備委託料			368,000	自己評価					
合計			458,710	自己評価						
R6	要援護者台帳の更新・個別支援計画の策定			300						
	防災ネット等使用料			1,570						
	県防災ネットワーク運営協議会分担金			840						
	合計			2,710	自己評価					
R7	要援護者台帳の更新・個別支援計画の策定			300						
	防災ネット等使用料			1,570						
	県防災ネットワーク運営協議会分担金			840						
	合計			2,710	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
災害時要援護者台帳登載率		目標		67.0	68.0	69.0	70.0	71.0	%	単年
		実績	52.8	70.2	65.9					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		104.8%	96.9%					
上記指標の設定理由		災害時要援護者名簿における県内の市町村平均登録率が70.3%であるため、それを上回る水準を目標とした。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	8 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実									
施策	② 防災・感染症対策の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 自主防災組織の活動促進や地域の消防団への支援等、地域防災力の向上に努めます。									
担当部課	部名	総務部				課名	危機管理課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	自主防災訓練費補助				500	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の関係で土のう作り訓練が年2回実施予定が1回のみとなり、自主防災訓練補助もコロナ禍前には20～30件の申請があったが、令和3年度は11件の申請に留まっている。逆に資機材整備費は、例年増加傾向にあり、地元の防災設備の更新でかなり需要があると言える。今後は、感染症対策と防災訓練の共存を図る必要があると考える。				
	資器材整備費補助				2,010					
	土のう作り訓練				495					
	合計				3,005	自己評価	C…目標を下回っている			
R4	自主防災訓練費補助				127	令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、通年通り2回実施した。自主防災訓練補助については、令和3年度が11件の申請に対して令和4年度が12件で横ばい状態である。資機材整備費は、今年度も前年度に引き続き予算を全額執行し、更に申請希望の自治会があったため、予算枠の増加を行うことにより今後の需要に応える必要があると言える。				
	資器材整備費補助				2,478					
	土のう作り訓練				263					
	合計				2,868	自己評価	C…目標を下回っている			
R5	自主防災訓練費補助				500					
	資器材整備費補助				2,010					
	土のう作り訓練				495					
	合計				3,005	自己評価				
R6	自主防災訓練費補助				500					
	資器材整備費補助				2,010					
	土のう作り訓練				495					
	合計				3,005	自己評価				
R7	自主防災訓練費補助				500					
	資器材整備費補助				2,010					
	土のう作り訓練				495					
	合計				3,005	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
防災訓練・研修回数		目標		71	72	73	74	75	回	単年
		実績	57	55	56					
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-16	達成度		77.5%	77.8%					
上記指標の設定理由		平成29年度から令和元年度の実績平均が74.3であるため、それを上回る水準を目標としました。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	8 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実									
施策	② 防災・感染症対策の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 関係機関との連携体制を強化し、情報共有及び感染症患者の入院受入体制の確保等に取り組みます。									
担当部課	部名	加西病院			課名	病院総務課				
	部名	健康福祉部			課名	新型コロナワクチン接種対策室				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	県加東健康福祉事務所と情報共有の実施			0	令和3年度は前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症への対応を行い、その情報を加東健康福祉事務所と共有した。 地域の感染状況に対応するため、新型コロナウイルス感染症患者の受入れ病床を増床（年度当初は17床、5月に2床増、9月にさらに2床増、計21床）し、対応した。					
	合計			0	自己評価	A…目標を上回って達成				
R4	県加東健康福祉事務所と情報共有の実施			0	令和4年度は引き続き新型コロナウイルス感染症への対応を最優先課題として行い、その情報を加東健康福祉事務所と共有した。 新型コロナウイルス感染症患者の受入れは、9月までは引き続き21床確保、10月以降は感染状況（感染拡大期10床、特別期15床）に応じて、県主導のもと地域に必要なとされる病床を確保し対応した。					
	合計			0	自己評価	A…目標を上回って達成				
R5	県加東健康福祉事務所と情報共有の実施			0						
	合計			0	自己評価					
R6	県加東健康福祉事務所と情報共有の実施			0						
	合計			0	自己評価					
R7	県加東健康福祉事務所と情報共有の実施			0						
	合計			0	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
感染症病床数		目標		6	6	6	6	6	床	単年
		実績	6	21	21					
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度		350.0%	350.0%					
上記指標の設定理由		地域医療を下支えする公立病院の役割として、地域の感染症に対応のできる体制を維持することが必要であるため、感染症病床数が適していると判断した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	8 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実									
施策	② 防災・感染症対策の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 関係機関との連携体制を強化し、情報共有及び感染症患者の入院受入体制の確保等に取り組みます。									
担当部課	部名	加西病院	課名	病院総務課						
	部名	健康福祉部	課名	新型コロナワクチン接種対策室						
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業		経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	新型コロナワクチン接種体制確保事業		0	初回接種は、5月から集団接種、6月から個別接種を開始。10月末に集団接種を終了、個別接種は継続。3回目の追加接種は12月から開始し現在継続中。接種にあたっては集団接種に加え、個別接種による接種体制の確保、おまかせ予約やLINE予約などアクセシビリティ向上に努めている。今後は、国から、早期に、明確な長期方針が示されることを希望する。事業が長期化すると集団接種会場の確保が課題となる。						
	合計		476,361	自己評価	A…目標を上回って達成					
R4	新型コロナワクチン接種体制確保事業			12歳以上を対象とした3回目接種を継続し、6月より4回目接種、9月よりオミクロン株対応2価ワクチンを使用した令和4年秋開始接種（3～5回目）を実施。生後6か月～4歳の初回接種を11月より、5～11歳の初回接種を継続し、追加接種を9月より実施。3月に特例臨時接種の期間が令和5年度末まで延長されることが決定したが、安定的な法制度の下での接種への移行を見据え、個別接種中心の体制への移行が課題となる。						
	合計		0	自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R5	新型コロナワクチン接種体制確保事業									
	合計		200,216	自己評価						
R6										
	合計		0	自己評価						
R7										
	合計		0	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
高齢者接種率【国の自治体毎接種状況資料より令和4年秋開始接種状況】		目標			70.0%				%	
		実績	—		75.2%					
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度			107.4%					
上記指標の設定理由		新型コロナウイルス感染症の発症予防、重症化予防のためには、速やかな接種を行う必要があり、指標としては一番直接的なものと思われる。								
接種率【国の自治体毎接種状況資料より令和4年秋開始接種状況】		目標			45.0%				回	
		実績	—		50.1%					
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度			111.3%					
上記指標の設定理由		新型コロナウイルス感染症の発症予防、重症化予防のためには、速やかな接種を行う必要があり、接種体制の確保状況は、その指標として適当と思われる。								
		目標							回	
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	8 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実									
施策	② 防犯・交通安全の向上									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 防犯灯や防犯カメラなどの機器設置に加え、地域と連携した見守り体制の強化により、安全安心な地域づくりに取り組みます。									
担当部課	部名	総務部			課名	危機管理課				
	部名	都市整備部			課名	土木課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	防犯灯設置事業			8,000	防犯灯については、令和2年度326灯、令和3年度355灯を設置し、市内設置数がほぼ一巡したことから、今後は保守に重点を置いた事業展開になっていくと考えられる。また、電柱がなく設置が困難な場所への設置を検討する。防犯カメラ設置事業については、地元自治会からの要望も多いため補助事業を継続する。市が市内交差点に設置する防犯カメラについては、設置可能な主要交差点への設置は完了しており、今後は、保守に重点を置いた事業となる。					
	防犯カメラ設置事業			2,400						
	合計			10,400	自己評価	A…目標を上回って達成				
R4	防犯灯設置事業			8,742	防犯灯については、令和4年282灯を設置しました。なお、電柱がなく設置が困難な場所へは、小学校区で1件の11基、河内バイパスに38基の計49基の防犯灯設置工事を行いました。市内設置数がほぼ一巡したことから、今後は保守に重点を置いた事業展開になっていくと考えられる。また、電柱がなく設置が困難な場所への設置を増やすよう検討する。防犯カメラ設置事業については、地元自治会からの要望も多いため補助事業を継続する。市が市内交差点に設置する防犯カメラについては、設置可能な主要交差点への設置は完了しており、今後は、保守に重点を置いた事業となる。					
	防犯カメラ設置事業			2,243						
	合計			10,985	自己評価	A…目標を上回って達成				
R5	防犯灯設置事業			8,340						
	防犯カメラ設置事業			3,000						
	合計			11,340	自己評価					
R6	防犯灯設置事業			3,500						
	防犯カメラ設置事業			3,000						
	合計			6,500	自己評価					
R7	防犯灯設置事業			3,500						
	防犯カメラ設置事業			2,400						
	合計			5,900	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
LED防犯灯設置数		目標		4,700	5,000	5,300	5,600	5,900	灯	累計
		実績	4,158	4,839	5,121					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	103.0%	102.4%					
上記指標の設定理由		市民並びに各種協議会により、設置の要望が多いことから、毎年300灯を市内各所に計画的に増設する。								
防犯カメラ設置数		目標		47	50	55	60	65	台	累計
		実績	38	50	55					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	106.4%	110.0%					
上記指標の設定理由		各種団体の要望のあった場所や、危険交差点に計画的に設置して行きます。								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	8 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実									
施策	㊸ 防犯・交通安全の向上									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 防犯灯や防犯カメラなどの機器設置に加え、地域と連携した見守り体制の強化により、安全安心な地域づくりに取り組みます。									
担当部課	部名	総務部			課名	危機管理課				
	部名	都市整備部			課名	土木課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	街灯り事業の推進				5,294	街灯り事業では、市内の必要箇所に防犯灯を31器設置した。引き続き年間25機の設置を目指す。 今後の課題としては、予算の確保と執行体制の強化が必要である。				
	合計				5,294	自己評価	C…目標を下回っている			
R4	街灯り事業の推進				1,848	街灯り事業では、市内の必要箇所に防犯灯を20器設置した。引き続き年間25機の設置を目指す。 今後の課題としては、予算の確保が重要である。				
	合計				1,848	自己評価	C…目標を下回っている			
R5	街灯り事業の推進				5,000					
	合計				5,000	自己評価				
R6	街灯り事業の推進				5,000					
	合計				5,000	自己評価				
R7	街灯り事業の推進				5,000					
	合計				5,000	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
主要道路の照明器具台数		目標		50	75	100	125	150	灯	累計
		実績	0	31	51					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		62.0%	68.0%					
上記指標の設定理由		市内主要道路を中心に、年間25灯の増設を目指す。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	8 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実									
施策	㊸ 防犯・交通安全の向上									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 警察や交通安全協会等との連携をより強化することで交通安全に関する活動を推進する体制を充実させ、交通事故のないまちを目指します。									
担当部課	部名	総務部			課名	危機管理課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	自転車保険加入事業				1,804	令和3年度については、加西市内の中学生1,041名を対象とした、自転車保険加入事業を実施した。 交通安全教室については、新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮しながら、市内こども園、小中学校において実施する。なお小学校4校で前記事由により実施できなかった。				
	交通安全教室の開催支援				0					
	合計				1,804	自己評価	A…目標を上回って達成			
R4	自転車保険加入事業				1,560	令和4年度については、加西市内の中学生951名を対象とした、自転車保険加入事業を実施した。 交通安全教室については、高齢者施設、市内こども園、小中学校（小学校1校で雨天により実施できなかった）において実施する。なお中学生に対して自転車シミュレータを実施する。				
	交通安全教室の開催支援				0					
	合計				1,560	自己評価	A…目標を上回って達成			
R5	自転車保険加入事業				1,650					
	交通安全教室の開催支援				0					
	合計				1,650	自己評価				
R6	自転車保険加入事業				1,650					
	交通安全教室の開催支援				0					
	合計				1,650	自己評価				
R7	自転車保険加入事業				1,650					
	交通安全教室の開催支援				0					
	合計				1,650	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
交通事故件数		目標		1,400	1,370	1,350	1,320	1,300	件	単年減少指標
		実績	1,466	1,262	1,272					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	109.9%	107.2%					
上記指標の設定理由		小中高等学校を対象とした交通安全教室を実施するなど、交通安全運動を通して交通事故の撲滅を図る。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	8 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実									
施策	⑳ 市民相談・消費者保護の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 市民の様々な悩みごとに対応するため、市民相談体制の充実を図ります。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	市民相談事業			4,137	土地の境界、家族間の問題、相続等日常生活上の様々なトラブルや悩みを抱える相談者の気持ちに寄り添いながら対応する。 また、高齢者の健康問題や生活苦、野焼き、騒音等行政への相談については、話しを伺い関係部署へ案内する。					
	合計			4,137	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	市民相談事業			4,137	土地の境界、家族間の問題、相続等日常生活上の様々なトラブルや悩みを抱える相談者の気持ちに寄り添いながら対応する。 また、月1回の弁護士相談も実施しているが、毎回ほぼ予約枠が埋まっており、困りごとの解消に寄与している。					
	合計			4,137	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	市民相談事業			4,224						
	合計			4,224	自己評価					
R6	市民相談事業			4,224						
	合計			4,224	自己評価					
R7	市民相談事業			4,224						
	合計			4,224	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
市民相談件数		目標		150	150	150	150	150	件	単年
		実績	142	150	126					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	100.0%	84.0%					
上記指標の設定理由		市民相談件数をあげることが、本事業の推進状況を図る最もよい指標になると考えるため目標とした。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	8 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実									
施策	㊸ 市民相談・消費者保護の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 複雑化する消費者被害を防止するため、消費者問題の啓発や情報提供に努めるとともに消費生活相談体制の充実を図ります。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	消費生活相談事業			5,034	若干、消費者相談の件数が減っている。また、消費者講座については、参加者が少なくなっているため講座の内容や方法を検討する必要がある。					
	消費者問題への啓発活動、講座			400						
	合計			5,434	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	消費生活相談事業			6,176	公民館と連携することで、啓発グッズの配布に努め消費生活センターの周知につなげた。しかし、全国の傾向に反して消費者相談の件数が減っている。消費者講座への参加も低調となっており、啓発方法や内容の再検討が必要である。					
	消費者問題への啓発活動、講座			400						
	合計			6,576	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	消費生活相談事業			5,840						
	消費者問題への啓発活動、講座			350						
	合計			6,190	自己評価					
R6	消費生活相談事業			5,840						
	消費者問題への啓発活動、講座			350						
	合計			6,190	自己評価					
R7	消費生活相談事業			5,840						
	消費者問題への啓発活動、講座			350						
	合計			6,190	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
消費生活相談件数		目標		300	300	300	300	300	件	単年
		実績	311	290	277					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	96.7%	92.3%					
上記指標の設定理由		消費生活相談件数をあげることが、本事業の推進状況を図る最もよい指標になると考えるため目標とした。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	9 快適な都市空間の創出									
施策	㊟ 住環境の整備									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 市街化区域内の未利用地の流動化や土地区画整理事業区域内の住宅化利用の促進を図ることにより、住宅地の供給に取り組むとともに、新たな住宅地の開発を支援します。									
担当部課	部名	総務部			課名	管財課				
	部名	都市整備部			課名	都市計画課（開発推進課）				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	北条西保育所跡地売却			0	北条町横尾市有地は、令和3年11月に登記完了 北条西保育所跡地等については、市のホームページを活用し情報発信を行い、購入希望者を募っている。					
	北条西保育所跡地売却（駐車場）			0						
	北条町横尾市有地売却			0						
	合計			0	自己評価	C…目標を下回っている				
R4	北条西保育所跡地売却			0	・朝妻町市有地は、令和4年7月に登記完了 ・北条町北条市有地は、令和4年10月に登記完了 ・旧西在田駐在所跡地は、令和5年1月に登記完了 ・北条西保育所跡地等については、市のホームページを活用し情報発信を行い、購入希望者を募っている。					
	北条西保育所跡地売却（駐車場）			0						
	朝妻町市有地売却			0						
	北条町北条市有地売却			0						
	旧西在田駐在所跡地売却			0						
	合計			0	自己評価	C…目標を下回っている				
R5										
	合計			0						
R6										
	合計			0						
R7										
	合計			0						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
遊休市街地の積極的な売却		目標		3	0	0	0	0	件	単年
		実績	2	1	3					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	33.3%	100.0%					
上記指標の設定理由		売却予定の物件数を目標とした。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策											
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる										
政策	9 快適な都市空間の創出										
施策	㊵ 住環境の整備										
施策目標・担当部課											
施策目標	ア 市街化区域内の未利用地の流動化や土地区画整理事業区域内の住宅化利用の促進を図ることにより、住宅地の供給に取り組むとともに、新たな住宅地の開発を支援します。										
担当部課	部名	総務部			課名	管財課					
	部名	都市整備部			課名	都市計画課（開発推進課）					
目標を達成するための具体的な取り組み											
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	民間開発による住宅団地整備の推進				0	西高室土地区画整理事業はR2年度の事業完了後も換地部分も順調に宅地化が進んでいる。商業施設の立地など土地利用が進む中野・下宮木地区では、更なる宅地化を促進するための区画道路4号線の工事に着手した（R4年度完成予定）					
	土地区画整理事業区域内での住宅化利用の促進				0						
	中野・下宮木地区の将来へ向けたまちづくり事業				40,000						
	合計				40,000	自己評価	A…目標を上回って達成				
R4	民間開発による住宅団地整備の推進				0	西高室土地区画整理事業はR2年度の事業完了後も換地部分も順調に宅地化が進んでいる。商業施設の立地など土地利用が進む中野・下宮木地区では、更なる宅地化を促進するための区画道路4号線の工事が完了し、供用を開始した。また、残る区画道路7号線の整備に向けて実施設計を行った。					
	土地区画整理事業区域内での住宅化利用の促進				0						
	中野・下宮木地区の将来へ向けたまちづくり事業				51,300						
	合計				51,300	自己評価	A…目標を上回って達成				
R5	民間開発による住宅団地整備の推進				0						
	土地区画整理事業区域内での住宅化利用の促進				0						
	中野・下宮木地区の将来へ向けたまちづくり事業				80,000						
	合計				80,000	自己評価					
R6	民間開発による住宅団地整備の推進				0						
	土地区画整理事業区域内での住宅化利用の促進				0						
	中野・下宮木地区の将来へ向けたまちづくり事業				未定						
	合計				0	自己評価					
R7	民間開発による住宅団地整備の推進				0						
	土地区画整理事業区域内での住宅化利用の促進				0						
	中野・下宮木地区の将来へ向けたまちづくり事業				未定						
	合計				0	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標			区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
市内戸建て新築住宅建築確認受付件数			目標		80	82	85	87	90	戸	単年
			実績	115	95	106					
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-19	達成度		118.8%	129.3%						
上記指標の設定理由			住宅団地整備だけではなく小規模低未利用地における住宅立地促進を含め住宅地供給増を進めるため、建築確認受付件数が適している。								
中野地区新築住宅建築確認受付件数			目標		0	0	5	10	20	戸	累計
			実績	—	3	17					
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-20	達成度		100.0%	100.0%						
上記指標の設定理由			中野町上山地区の住・商・工バランスよく配置するまちづくり計画の進展と、周辺市街地の土地利用促進を合わせた目標にしているため、建築確認受付件数が適している。								
中野・鶉野地区事業所建築確認受付件数			目標		1	2	3	4	5	件	累計
			実績	—	8	14					
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-20	達成度		800.0%	700.0%						
上記指標の設定理由			中野町上山地区の住・商・工バランスよく配置するまちづくり計画の進展と、令和2年度末に市街化区域に編入した隣接する鶉野地区の土地利用促進を合わせた目標としているため、建築確認受付件数が適している。								
西高室土地整理事業地区の住宅戸数			目標		100	140	180	220	250	戸	累計
			実績	70	160	184					
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-28	達成度		160.0%	131.4%						
上記指標の設定理由			住宅戸数は住宅地供給の取組実績を直接的に反映するため								

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	9 快適な都市空間の創出									
施策	㊟ 住環境の整備									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 市街化調整区域における特別指定区域制度や地区計画制度の活用、線引きの見直し等、規制緩和に向けた働きかけにより地域の活力再生を図ります。									
担当部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	特別指定区域制度等を活用した住宅、事業所建築の推進			0	産業施設が集積している畑町の三木穴栗線沿道について、事業所の敷地拡張、新規進出が可能になる「工場、店舗等周辺区域 県道三木穴栗線沿道産業集積型」の指定を受けた。また、別府中町、東野田町において地域の小規模な事業所の建築のため「地域活力再生等区域 地縁者小規模事業所型」の指定を受けた。 R4年度中の指定を目指して、空き家の活用促進、地域で働く方も地縁者に加える、新規居住者区域の指定地区増を目指して、住宅系における加西市独自基準の策定について協議を進めた。					
	合計			0	自己評価	D…目標を大きく下回っている				
R4	特別指定区域制度等を活用した住宅、事業所建築の推進			0	兵庫県では、R7年度末を目途に都市計画区域マスタープランの見直し、区域区分の要否を含めた検討がなされているが、本市においても、市街化調整区域の廃止を念頭に新たな土地利用コントロール手法等について研究を進めた。また、前年度に引き続き、空き家の活用促進、地域で働く方も地縁者に加える、新規居住者区域の指定地区増を目指して、住宅系における加西市独自基準の策定について協議を進めた。					
	合計			0	自己評価	D…目標を大きく下回っている				
R5	特別指定区域制度等を活用した住宅、事業所建築の推進			0						
	合計			0	自己評価					
R6	特別指定区域制度等を活用した住宅、事業所建築の推進			0						
	合計			0	自己評価					
R7	特別指定区域制度等を活用した住宅、事業所建築の推進			0						
	合計			0	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
特別指定区域制度を利用した建築許可申請受付件数		目標		40	40	40	40	40	件	単年
		実績	39	25	20					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	62.5%	50.0%					
上記指標の設定理由		新しい加西市独自ルールの適用を含めた特別指定区域指定の市内全面見直しと周辺地域まちづくりに係る地区計画の策定を検討しており、施策実施後に建築許可増が期待されるため、適していると判断した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	9 快適な都市空間の創出									
施策	㊟ 住環境の整備									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 北条市街地の空き家対策と狭あい道路の整備を行い、住環境整備による定住促進を図ります。									
担当部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	北条市街地住環境整備の推進			3,612	道路拡幅工事2件、測量登記1件、用地提供奨励金3件、空き家除却1件を実施した。また、R4年度以降に実施したい対象地の検討と協議を行った。					
	合計			3,612	自己評価	A…目標を上回って達成				
R4	北条市街地住環境整備の推進			3,699	道路拡幅工事2件、測量登記1件、用地提供奨励金2件を実施した。また、R5年度以降に実施したい対象地の検討と協議を行った。					
	合計			3,699	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	北条市街地住環境整備の推進			3,050						
	合計			3,050	自己評価					
R6	北条市街地住環境整備の推進			3,050						
	合計			3,050	自己評価					
R7	北条市街地住環境整備の推進			3,050						
	合計			3,050	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
狭あい道路整備、老朽危険空き家撤去等の実施件数		目標		6	12	18	24	30	件	累計
		実績	—	7	12					
第2期地域創生戦略アクションプラン		2-13	達成度	116.7%	100.0%					
上記指標の設定理由		狭あい道路整備等の実施は、住環境整備の効果として期待されるため、適している。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	9 快適な都市空間の創出									
施策	㊟ 住環境の整備									
施策目標・担当部課										
施策目標	Ⅰ 高齢化にも対応した住環境づくりに向けて、関係機関とも連携しながらユニバーサルデザインに基づくまちづくりを推進します。									
担当部課	部名	健康福祉部			課名	福祉企画課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	バリアフリーマップ作成について検討			0	県の基準に該当する市内公共施設に対して状況を照会し、とりまとめた。 来年度は基準外の公共施設に対しても整備状況を照会する。					
合計			0	自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R4	作成するバリアフリーマップの目的の整理			0	基準外の4公共施設に整備状況を確認した。バリアフリーマップの活用（広報）について、HPに掲載することがいいのか、他の広報手段があるのか検討する必要がある。					
合計			0	自己評価	C…目標を下回っている					
R5	庁内連携体制の構築			0						
合計			0	自己評価						
R6	関係する事業者や障害者等との連携体制の構築			0						
合計			0	自己評価						
R7	協議会等の開催やアンケート・ヒアリングを実施			2,000						
合計			2,000	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
バリアフリーマップの進捗率		目標		20	40	60	80	100	%	単年
		実績	0	20	30					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	100.0%	75.0%					
上記指標の設定理由		バリアフリーマップを作成するにあたり、計画立てて作業を進めるため目標とした。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	9 快適な都市空間の創出									
施策	㊟ 住環境の整備									
施策目標・担当部課										
施策目標	オ 地域住民と行政の協働により、北条旧市街地の歴史的街並みなど景観の保全に努めます。									
担当部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課				
	部名	都市整備部			課名	土木課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	県指定歴史的景観形成地区内の景観保全に係る調整			0	景観形成地区内における建築行為について適切な指導を行った。					
	合計			0	自己評価	D…目標を大きく下回っている				
R4	県指定歴史的景観形成地区内の景観保全に係る調整			0	景観形成地区内における建築行為について、景観ガイドラインで定められた住宅の新築における外壁の色彩等の景観形成基準への適応に向けた指導、相談を行った。					
	合計			0	自己評価	A…目標を上回って達成				
R5	県指定歴史的景観形成地区内の景観保全に係る調整			0						
	合計			0	自己評価					
R6	県指定歴史的景観形成地区内の景観保全に係る調整			0						
	合計			0	自己評価					
R7	県指定歴史的景観形成地区内の景観保全に係る調整			0						
	合計			0	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
県指定歴史的景観形成地区内の建築届出件数	目標			5	5	5	5	5	件	単年
	実績		4	3	6					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		60.0%	120.0%					
上記指標の設定理由		建築物の建築時において景観保全に係る調整を行うことになるため、適している。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	9 快適な都市空間の創出									
施策	㊟ 住環境の整備									
施策目標・担当部課										
施策目標	オ 地域住民と行政の協働により、北条旧市街地の歴史的街並みなど景観の保全に努めます。									
担当部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課				
	部名	都市整備部			課名	土木課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	石畳風舗装の施工			13,001	北条旧市街地の歴史的街並みの景観保全のため、石畳風舗装を179mにわたり整備した。引き続き年間80mの舗装実施を目指す。					
	合計			13,001	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	石畳風舗装の施工			6,775	北条旧市街地の歴史的街並みの景観保全のため、石畳風舗装を43mにわたり整備した。舗装自体の修繕が発生したため延長が伸びながったが概ね事業としては進捗している。（舗装修繕部分64m）引き続き年間80mの舗装実施を目指す。					
	合計			6,775	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	石畳風舗装の施工			7,000						
	合計			7,000	自己評価					
R6	石畳風舗装の施工			7,000						
	合計			7,000	自己評価					
R7	石畳風舗装の実施			7,000						
	合計			7,000	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
石畳風舗装の実施延長		目標		740	820	900	980	1,060	m	累計
		実績	566	745	788					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		101%	96%					
上記指標の設定理由		北条旧市街地の主要市道を中心に、年間80mの石畳風舗装の実施を目指す。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	9 快適な都市空間の創出									
施策	②⑥ 地球に優しい環境都市の創造									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 地球温暖化問題への対応として、地球環境に配慮した循環型かつ脱炭素社会の構築を推進します。									
担当部課	部名	生活環境部			課名	環境課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	普及啓発費用			0	リサイクル事業については、コスト費用を抑えながら、国の施策に準じ新規のリサイクル品目（廃プラスチックリサイクル）の追加検討を行っていきたい。 また、地球温暖化対策事業については、「エネルギーの地産地消が実現された脱炭素のまちかさい」の実現に向けた2050年までの脱炭素シナリオや再エネ導入目標の設定、経営層に向けてのセミナー、市民への補助を実施した。 太陽光発電設備の設置に伴う自然災害や景観等への懸念が指摘されているため、今後は再エネの普及促進と自然環境との調和を考えていく必要がある。					
	新エネルギー設備設置補助（蓄電池補助）			1,717						
	電気自動車導入補助			1,300						
	リサイクル関連事業			49,090						
	脱炭素地域循環共生圏構築事業			9,350						
	合計			61,457	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	普及啓発費用			0	リサイクル事業については、コスト費用を抑えながら、国の施策に準じプラスチック資源の分別収集・再資源化の検討を行っていきたい。 また、地域再エネ導入ゾーニング事業を実施し、地域の関係者と合意形成を図りながらゾーニングマップを作成した。今後は、太陽光発電設備の設置に伴う自然災害や景観等への懸念が指摘されているため、市条例等による太陽光発電の設置を抑制する区域の設定も検討し、再エネの普及促進と自然環境との調和を考えていく必要がある。					
	新エネルギー設備設置補助（太陽光発電設備+蓄電池又は蓄電池設置補助）			1,760						
	電気自動車導入補助			1,500						
	リサイクル関連事業			47,598						
	地域再エネ導入ゾーニング事業			15,939						
	合計			66,797	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	新エネルギー設備設置補助（太陽光発電設備+蓄電池又は蓄電池設置補助）			2,000						
	電気自動車導入補助			1,500						
	脱炭素先行地域づくり事業			182,256						
	地球温暖化対策等計画策定事業			8,000						
	リサイクル関連事業			48,478						
	合計			242,234	自己評価					
R6	新エネルギー設備設置補助（太陽光発電設備+蓄電池又は蓄電池設置補助）			2,500						
	電気自動車導入補助			2,500						
	脱炭素先行地域づくり事業			207,579						
	リサイクル関連事業			48,478						
	合計			261,057	自己評価					
R7	新エネルギー設備設置補助（太陽光発電設備+蓄電池又は蓄電池設置補助）			2,500						
	電気自動車導入補助			2,500						
	脱炭素先行地域づくり事業			544,099						
	リサイクル関連事業			48,478						
	合計			597,577	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
市域の温室効果ガス排出量		目標		420	400	390	380	370	千t-co2	単年減少指標
		実績	441	368	360					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		112.4%	110.0%					
上記指標の設定理由		2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティを表明したことにより指標として最適であると判断し目標とした。								
市内の太陽光発電設備導入量		目標		113,400	115,300	117,100	118,900	120,800	kw	単年
		実績	109,732	124,944	128,110					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		110.2%	111.1%					
上記指標の設定理由		指標として市域のエネルギー消費量等も検討したが、企業のエネルギー消費量は社会情勢に影響を受けやすいことから、市内の太陽光発電設備導入量の方がより取組に合った効果の反映が期待されるため目標とした。								
市民一人あたり1日のごみ排出量		目標		796	789	781	774	766	g	単年減少指標
		実績	793	811	828					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		98.1%	95.1%					
上記指標の設定理由		ごみの減量とリサイクルを進め、循環型社会の構築を図り、生活環境への負担の低減を図るため、適していると判断し目標とした。								

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	9 快適な都市空間の創出									
施策	②⑥ 地球に優しい環境都市の創造									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 田園・ため池・森林など豊かな緑と調和した景観の保全に努め、地域と共に生物多様性に育まれた自然環境づくりを推進します。									
担当部課	部名	生活環境部			課名	環境課				
	部名	都市整備部			課名	都市計画課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	普及啓発事業				6	普及啓発事業では、人と自然の博物館へのバスツアーを実施した。動植物生態調査事業では、年次計画書に沿って6地点の詳細調査を実施した。野生生物保護地区保全事業では周遍寺野生生物保護地区でカタクリを保全するために日照不足を改善するために支障となっている高木等の伐採を実施した。今後も市内の貴重な生物多様性を保全するためには、普及啓発事業や計画的な動植物生態調査が必要となってくる。				
	動植物生態調査事業				1,166					
	野生生物保護地区保全事業				1,000					
	合計				2,172	自己評価	A…目標を上回って達成			
R4	普及啓発事業				14	普及啓発事業では、人と自然の博物館へのバスツアーを実施した。動植物生態調査事業では、年次計画書に沿って3地点の詳細調査を実施した。野生生物保護地区保全事業では周遍寺野生生物保護地区でカタクリを保全するために、日照不足を改善するために支障となっている高木等の伐採並び作業道の開設を実施した。今後も市内の貴重な生物多様性を保全するためには、普及啓発事業や計画的な動植物生態調査が必要となってくる。				
	動植物生態調査事業				990					
	野生生物保護地区保全事業				1,000					
	合計				2,004	自己評価	A…目標を上回って達成			
R5	普及啓発事業				81					
	動植物生態調査事業				1,000					
	野生生物保護地区保全事業（森林環境譲与税を活用）				1,000					
	合計				2,081	自己評価				
R6	普及啓発事業				335					
	動植物生態調査事業				2,125					
	野生生物保護地区保全事業（森林環境譲与税を活用）				1,000					
	合計				3,460	自己評価				
R7	普及啓発事業				335					
	野生生物保護地区保全事業（森林環境譲与税を活用）				1,000					
	合計				1,335	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
動植物生態調査実施箇所数		目標		6	9	12	15	15	箇所	累計
		実績	2	8	11					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	133.3%	122.2%					
上記指標の設定理由		市内の貴重な生物多様性を効率的に保全するためには、優先的・重点的に保全すべき場所を抽出したうえで現状の詳細調査を実施する必要があることから指標として最適である。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	9 快適な都市空間の創出									
施策	②⑥ 地球に優しい環境都市の創造									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 田園・ため池・森林など豊かな緑と調和した景観の保全に努め、地域と共に生物多様性に育まれた自然環境づくりを推進します。									
担当部課	部名	生活環境部				課名	環境課			
	部名	都市整備部				課名	都市計画課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	市開発調整条例に基づく事前協議による調整				0	条例に規定する対象事業の実施における事前協議において調整を行った。				
	合計				0	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	市開発調整条例に基づく事前協議による調整				0	条例に規定する一定規模以上の建築物、資材置場、太陽光発電施設等対象事業の実施における事前協議において、条例に規定する緑地の設置など環境配慮や近隣と事業者との相互理解などに係る調整を行った。				
	合計				0	自己評価	D…目標を大きく下回っている			
R5	市開発調整条例に基づく事前協議による調整				0					
	合計				0	自己評価				
R6	市開発調整条例に基づく事前協議による調整				0					
	合計				0	自己評価				
R7	市開発調整条例に基づく事前協議による調整				0					
	合計				0	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
市開発調整条例事前協議受付件数		目標		20	20	20	20	20	件	単年
		実績	17	21	15					
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度		105.0%	75.0%					
上記指標の設定理由		市開発調整条例に基づく事前協議において調整を行うことになるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	9 快適な都市空間の創出									
施策	㊼ 地球に優しい環境都市の創造									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 加西の風土や文化を活かした環境学習を実施し、自然の大切さの理解を深めます。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	環境体験学習（小学3年生）				1,932	地域の里山で動植物の観察や身近な川や池の水質調査、水辺の生き物調査、豆や綿の栽培や米作りに取り組んだ。また、網引湿原の見学及び保全活動には、加西市内の多くの小学校（11校中9校）が参画し、生息する希少水生動植物の生態を学び、ふるさとに愛着をもち、自然を大切にしようとする心情を育んだ。さらには、小・中学校とともに、活動の舞台を地域に広げ、ゴミ拾いや清掃など地域の環境美化に働きかける学習に取り組んだ。今後も、児童生徒が探究心をもって身近な環境に立ち止まり、SDGsの観点を踏まえた次世代型環境学習を進めていきたい。				
	環境学習（小・中学校）				0					
	地域教材を活用した学習（小・中学校）				0					
	合計				1,932	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	環境体験学習（小学3年生）				2,014	児童生徒が探究心をもって身近な環境に立ち止まり、仲間と協働して調査・観察・対話し、命の営みやつながりを感じたり、課題を解決したりする環境体験学習を推進した。例えば、校区の城山での野鳥を増やす取組、加西の農業をより良くする取組、稲やハマ王にんにくの栽培・収穫・販売の取組、ノナシヨウブの里親体験で網引湿原へ返す希少植物の保護の取組等である。今年度も、市内の全小学校の児童が網引湿原を訪れ、希少水生動植物の生態にふれ美しい環境を守り育てることに加え、小・中学校とともに学校内や地域でのゴミ拾いや掃除等を通して、環境を守り育てる活動に参画した。今後も、SDGsやSTEAMの観点を踏まえた環境学習の取組をさらに進めていきたい。				
	環境学習（小・中学校）				0					
	地域教材を活用した学習（小・中学校）				0					
	合計				2,014	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	環境体験学習（小学3年生）				2,014					
	環境学習（小・中学校）				0					
	地域教材を活用した学習（小・中学校）				0					
	合計				2,014	自己評価				
R6	環境体験学習（小学3年生）				2,014					
	環境学習（小・中学校）				0					
	地域教材を活用した学習（小・中学校）				0					
	合計				2,014	自己評価				
R7	環境体験学習（小学3年生）				2,014					
	環境学習（小・中学校）				0					
	地域教材を活用した学習（小・中学校）				0					
	合計				2,014	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
環境学習実施校数		目標		15	15	15	15	15	校	単年
		実績	15	15	15					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度		100.0%	100.0%				
上記指標の設定理由		持続可能な社会の実現をめざして、児童生徒一人一人が主体的に行動する力を育成することを目標とするため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備									
施策	㊦ 道路・河川の整備・維持管理									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 国道372号や主要幹線道をはじめとする道路網を整備するとともに、通学路・ガードレール等の安全施設の整備を行います。									
担当部課	部名	都市整備部			課名	土木課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	市道鶉野飛行場場線・豊倉日吉線の新設改良				359,918	市道鶉野飛行場場線(道路改良工事) 豊倉日吉線 (実施設計)				
	市道中野網引線の通学路整備				7,942	市道中野網引線 (実施設計)				
	市道草刈り補助事業				13,669	市道草刈り補助事業(123町)				
	道路修繕工事				93,225	道路修繕工事 (68件発注)				
						修繕要望が増加しており、市道の老朽化も進んでいる。予算・人員の増強が必須である。				
	合計				474,754	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	市道鶉野飛行場場線・豊倉日吉線の新設改良				476,069	市道鶉野飛行場場線(道路改良工事) 豊倉日吉線 (用地測量・道路改良)				
	市道中野網引線の通学路整備				20,649	市道、中野網引線 (用地測量・道路改良工事)				
	市道草刈り補助事業				13,877	市道草刈り補助事業(125町)、道路修繕工事 (126件発注)				
	道路修繕・改良工事				128,489	修繕要望が増加しており、市道の老朽化も進んでいる。予算・人員の増強が必須である。				
	合計				639,084	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	市道鶉野飛行場場線・上宮木玉野線の新設改良				861,650					
	市道中野網引線の通学路整備				8,000					
	市道草刈り補助事業				15,000					
	道路修繕・改良工事				145,000					
		合計				1,029,650	自己評価			
R6	上宮木玉野線の新設改良				187,000					
	市道中野網引線の通学路整備				40,000					
	市道草刈り補助事業				15,000					
	道路修繕・改良工事				180,000					
		合計				422,000	自己評価			
R7	上宮木玉野線の新設改良				90,000					
	市道中野網引線の通学路整備				30,000					
	市道草刈り補助事業				15,000					
	道路修繕・改良工事				180,000					
		合計				315,000	自己評価			
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
主要幹線道路の整備延長		目標		2.4	3.9	4.9	4.9	4.9	km	累計
		実績	0	0.97	1.61					
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-01	達成度		40.4%	41.3%					
上記指標の設定理由		市道鶉野飛行場場線・豊倉日吉線の計画的な事業実施により、幹線道路 (L=4.9km)の早期開通を目指すため目標とした。								
歩道設置の総延長		目標		0	0	0.3	0.6	0.9	km	累計
		実績	0	0	0.1					
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-01	達成度		0.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		市道中野網引線の通学路整備(L=900m)を計画的に実施するため目標とした。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備									
施策	㊦ 道路・河川の整備・維持管理									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 河川や橋梁の維持管理の強化及び未改修河川の整備を進めます。									
担当部課	部名	都市整備部			課名	土木課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	市道橋梁の点検・補修の実施				36,727	安全確保のため、橋梁点検49か所、橋梁補修3橋を実施した。また、河川のしゅんせつ要望にも計画的に対応していくこととしている。				
	合計				36,727	自己評価	A…目標を上回って達成			
R4	市道橋梁の点検・補修の実施				43,603	安全確保のため、橋梁点検49か所、橋梁補修実施設計を7橋実施した。また、普光寺川護岸修繕及び1河川の浚渫を実施した。今後も計画的に対応していくこととしている。				
	合計				43,603	自己評価	A…目標を上回って達成			
R5	市道橋梁の点検・補修の実施				100,000					
	合計				100,000	自己評価				
R6	市道橋梁の点検・補修の実施				65,000					
	合計				65,000	自己評価				
R7	市道橋梁の点検・補修の実施				20,000					
	合計				20,000	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
市道橋梁の補修工事の件数		目標		2	4	6	8	10	橋	累計
		実績	—	3	3					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		150.0%	75.0%					
上記指標の設定理由		市道橋約250橋について、5年毎の定期点検を行うとともに、補修箇所が発見されたもの（年間2橋を予定）については、早期の補修を行うため目標とした。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備									
施策	㊴ 道路・河川の整備・維持管理									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 都市公園等の計画的な管理と保全により、活用を促進します。									
担当部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	都市公園・一般公園の適正管理			22,363	芝生広場にザイルクライミング、エンドレススターザンロープなど小学校高学年向け遊具を設置、じゃぶじゃぶ池を改修し水遊びができる人工芝生広場と噴水を設置、新田池西側の遊歩道沿いにトイレ1基を設置するなど、幅広い年齢層の利用者に向けた満足度向上に努めた。ローラー滑り台のローラー交換、踊り場改修など、遊具の安全性向上に努めた。日常の草刈り、清掃など適正管理を行った。					
	合計			22,363	自己評価	A…目標を上回って達成				
R4	都市公園・一般公園の適正管理			22,201	指定管理者と公園施設の安全管理に努めるとともに、公園内の支障樹木の伐採や剪定を行い景観の整備を行った。					
	合計			22,201	自己評価	A…目標を上回って達成				
R5	都市公園・一般公園の適正管理			22,786						
	合計			22,786	自己評価					
R6	都市公園・一般公園の適正管理			22,786						
	合計			22,786	自己評価					
R7	都市公園・一般公園の適正管理			22,786						
	合計			22,786	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
丸山総合公園の利用者数		目標		32,500	33,000	33,500	34,000	34,500	人	単年
		実績	31,396	46,042	44,228					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		141.7%	134.0%					
上記指標の設定理由		市外からも多くの方が訪れる丸山総合公園に対象に絞ることで施策が効果的に反映できるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備									
施策	⑳ 上下水道の整備・維持管理									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 上下水道事業の効率化、安定化、適正化を進め、持続可能な経営を行います。									
担当部課	部名	生活環境部			課名	上下水道管理課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	兵庫県企業庁・市川町との受水量・単価交渉				0	市川町との受水交渉により令和7年度をもって受水を終了することになり、将来的に受水費が低減される見込みである。 また、前年度に引き続き、水洗化促進補助金交付制度を活用し、未水洗化家屋のうち22戸が新たに水洗化を実施した。				
	水洗化補助金の交付				3,100					
	合計				3,100	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	兵庫県企業庁・市川町との受水量・単価交渉				0	市川町との受水交渉の決着により、令和7年度までは一時的に受水費が高額となるものの、令和8年度以降は低減される見込みである。 また、前年度に引き続き、水洗化促進補助金交付制度を活用し、未水洗化家屋のうち23戸が新たに水洗化を実施した。				
	水洗化補助金の交付				3,800					
	合計				3,800	自己評価	C…目標を下回っている			
R5	兵庫県企業庁・市川町との受水量・単価交渉				0					
	水洗化補助金の交付				9,000					
	合計				9,000	自己評価				
R6	兵庫県企業庁・市川町との受水量・単価交渉				0					
	水洗化補助金の交付				9,000					
	合計				9,000	自己評価				
R7	兵庫県企業庁・市川町との受水量・単価交渉				0					
	水洗化補助金の交付				9,000					
	合計				9,000	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
給水原価		目標		199.4	199.1	198.8	198.5	198.2	円/㎡	単年 減少指標
		実績	199.7	199.3	220.2					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	100.1%	89.4%					
上記指標の設定理由		水道事業の効率経営を数値化するにあたり、給水原価がより取組に合った効果の反映が期待されるため目標とした。								
水洗化率		目標		92.4	92.7	93	93.3	93.6	%	単年
		実績	92.1	92.9	93.3					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	100.5%	100.6%					
上記指標の設定理由		降雨量等気象条件の影響を受けやすいことから、水洗化率がより取組に合った効果の反映が期待されるため目標とた。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備									
施策	㊸ 上下水道の整備・維持管理									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 上下水道施設の計画的な整備・改修と施設の統廃合を進め、安全な水の供給と安定的な下水処理に努めます。									
担当部課	部名	生活環境部				課名	上下水道課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	水道管路の耐震管への更新事業				0	水道管路の耐震管への更新事業については、計画に基づき順次実施していくこととなり、R3年度は実績なしとなる。 下水統廃合事業については、R2年度に坂本町地区、R3年度には在田地区南部の接続を実施している。				
	下水の処理施設の統廃合事業				248,000					
	合計				248,000	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	水道管路の耐震管への更新事業				22,000	水道管路の耐震管への更新事業については、計画に基づきR4年度は実施設計業務を実績した。(重要給水施設配水管事業) 下水統廃合事業については、R4年度は在田地区南部処理施設の廃止工事を実施した。				
	下水の処理施設の統廃合事業				43,806					
	合計				65,806	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	水道管路の耐震管への更新事業				158,200					
	下水の処理施設の統廃合事業				375,000					
	合計				533,200	自己評価				
R6	水道管路の耐震管への更新事業				150,000					
	下水の処理施設の統廃合事業				85,300					
	合計				235,300	自己評価				
R7	水道管路の耐震管への更新事業				150,000					
	下水の処理施設の統廃合事業				95,400					
	合計				245,400	自己評価				
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
水道管耐震管 率 (耐震管路延長／水道管路延長)		目標		5.85	6.03	6.20	6.38	6.55	%	単年
		実績	5.85	6.1	6.19					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		104.3%	102.7%					
上記指標の設定理由		事業実施計画(R03～R07)により目標とした。								
下水の処理施設の統廃合施設数		目標		3	3	3	3	4	施設	累計
		実績	1	3	3					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		100.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		事業実施計画(R03～R07)により目標とした。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備									
施策	㊸ 公共交通の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 地域の実情に応じた道路交通網の整備や公共交通の導入等を通じて、利便性の高い生活ネットワークを構築します。また、配慮を必要とする方への公共交通利用に関する支援や、わかりやすい情報提供にも取り組みます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	バスロケーションシステム事業			3,958	分かりやすく利用しやすい情報提供のため、市内施設3か所にデジタルサイネージを追加設置した。また、R2年度に整備したバスロケーションシステムの機能を拡張し、携帯端末等でのバス位置情報等を閲覧可能とするシステムの構築を行った。公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」を作成し、北条鉄道、コミバス、路線バス、高速バスなどの時刻表や市内の公共施設、商業施設などへの交通機関でのアクセスを掲載するなど、分かりやすく利用しやすい情報提供に努めた。					
	総合時刻表作成事業			1,870						
	合計			5,828	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	総合時刻表作成事業			2,220	公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」の更新を行い、全戸配布するなど市民に向けて分かりやすく利用しやすい情報提供に努めた。地域公共交通計画策定事業では、コミバスや北条鉄道等の利用者に対して交通調査を行い利用状況の調査・分析を行った。市の今後5年間の目指す公共交通網の姿を明らかにする公共交通のマスタープラン「加西市地域公共交通計画」を策定した。					
	地域公共交通計画策定調査事業			9,990						
	合計			12,210	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	バスロケーションシステム事業			488						
	総合時刻表作成事業			2,000						
	合計			2,488	自己評価					
R6	バスロケーションシステム事業			488						
	総合時刻表作成事業			2,000						
	合計			2,488	自己評価					
R7	バスロケーションシステム事業			488						
	総合時刻表作成事業			2,000						
	合計			2,488	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
コミュニティバス等の利用者数		目標		32	34	36	38	40	千人	単年
		実績	31.5	26.4	28.5					
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-01・4-03	達成度		82.5%	83.8%					
上記指標の設定理由		利用者が安心、安全に利用できる公共交通を目指し、分かりやすい情報発信や利便性の向上したダイヤやルート改正、地域主体型交通の導入支援などを行い、利用者の増加を図ることを目的とするため目標設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備									
施策	㊸ 公共交通の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 北条鉄道の利便性の高い利用環境の整備のため、経営支援と利用促進策を実施します。									
担当部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課						
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業		経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	北条鉄道利用促進事業		680	R2年度に引き続き、北条鉄道通勤定期購入特典キャンペーンを実施し、新規定期購入者の増加に努めた。鉄道安全輸送設備（枕木交換、踏切保安設備更新）、車両等整備に対する支援を行った。また、新車両（キハ40形）の導入に当たり車両購入・整備に対し補助を行った。北条鉄道の経常損失部分に対して、運営費補助を行った。						
	北条鉄道設備等整備費補助事業		36,985							
	北条鉄道運営補助事業		22,420							
	合計		60,085	自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R4	北条鉄道設備等整備費補助事業		26,999	鉄道安全輸送設備（枕木交換、踏切保安設備更新等）、車両等の設備整備に対する支援を行った。また、北条鉄道の経常損失部分に対して、運営費補助を行った。 令和4年度に実施した利用者アンケート調査からも特に要望の多かったICカードの導入について、引き続き検討を行う。						
	北条鉄道運営補助事業		21,381							
	合計		48,380	自己評価	A…目標を上回って達成					
R5	北条鉄道利用促進事業		1,000							
	北条鉄道設備等整備費補助事業		27,000							
	北条鉄道運営補助事業		23,000							
	合計		51,000	自己評価						
R6	北条鉄道利用促進事業		1,000							
	北条鉄道設備等整備費補助事業		27,000							
	北条鉄道運営補助事業		23,000							
	合計		51,000	自己評価						
R7	北条鉄道利用促進事業		1,000							
	北条鉄道設備等整備費補助事業		27,000							
	北条鉄道運営補助事業		23,000							
	合計		51,000	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
北条鉄道の輸送人員数		目標		300	320	340	360	380	千人	単年
		実績	334	339	380					
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-02	達成度		113.0%	118.8%					
上記指標の設定理由		市内唯一の鉄軌道の維持確保のため、様々な利用促進施策を行うことで、乗車人数の増加を図ることを目的とするため目標とした。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備									
施策	㊸ 公共交通の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 各種バスの増便やバス停周辺の整備等を推進し、利用しやすい環境づくりに取り組みます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課						
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業		経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	公共交通結節点整備事業		10,108	九会地区における4つの交通軸（市外連携軸・まちなか巡回軸・市内連携軸・地域内交通）が結節する地域拠点施設の整備を行った。日吉地区ふるさと創造会議が地域主体型交通「ひよタク」の運行をR4.3より開始した。宇仁郷まちづくり協議会「宇仁ふれあいバス」の運行に係る経常損益額に対し補助を行った。富田・賀茂地区にて地域主体型交通導入に向けた住民アンケート調査を実施した。						
	地域主体型交通導入支援事業		11,271							
	合計		21,379		自己評価 A…目標を上回って達成					
R4	地域主体型交通導入支援事業		10,676	地域主体型交通が運行中の2地区（宇仁地区、日吉地区）への運営支援を行うほか、新たに導入を進める富田地区への支援を行った。また、在田地区で地域主体型交通導入に向けた住民アンケート調査を実施し、九会地区ではふるさと創造会議を通じて公共交通に関する住民勉強会を開催した。						
	合計		10,676		自己評価 B…ほぼ目標を達成					
R5	地域主体型交通導入・運営支援事業		12,895							
	地域主体型交通導入支援事業（R4繰越）		3,531							
	合計		16,426		自己評価					
R6	公共交通結節点整備事業		2,000							
	地域主体型交通導入・運営支援事業		17,000							
	合計		19,000		自己評価					
R7	公共交通結節点整備事業		12,000							
	地域主体型交通導入・運営支援事業		17,000							
	合計		29,000		自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
公共交通結節点整備箇所		目標		2	2	3	3	4	カ所	累計
		実績	1	2	2					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		100.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		地域主体型交通の導入を支援していく中で、既存の路線バスやコバスに乗り換えを行う結節点の整備が必要となるため目標設定した。								
地域主体型交通導入団体数		目標		1	2	2	3	3	団体	累計
		実績	0	2	2					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		200.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		現在、宇仁郷まちづくり協議会が運行している「宇仁ふれあいバス」のような地域住民が自ら運営し、自分たちの足を確保する地域主体型交通の取組みを、市内小学校区に広げていくため目標設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	11 協創のまちづくりの推進									
施策	③⑩ 協創のまちづくり									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 小学校区での地域課題解決に向けて多くの市民が主体的に取り組むことを目指し、ふるさと創造会議（まちづくり協議会）の活動支援に取り組めます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課						
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業		経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	ふるさと創造会議地域づくり交付金		14,877	島根大学作野教授を座長とし、副市長や代表区長、社協等とともに計6回の策定委員会を実施し「地域づくりのあり方指針」を作成した。共同研究は、コロナの影響もあり予定通りとはいかず、集落支援員についても1地区のみであった。地域づくり交付金やまちづくり計画書の策定等について指針に基づき、見直し・推進予定である。						
	島根大学まちづくり共同研究		266							
	加西市地域づくりアドバイザー会議事業		938							
	集落支援員活動交付金（1地区）		247							
	合計		16,328	自己評価 B…ほぼ目標を達成						
R4	ふるさと創造会議地域づくり交付金		14,858	地域づくりのあり方指針に基づいて「加西市地域づくり戦略会議」を設置し、地域づくりに係る取組みの評価検証や今後に向けた市の推進方策等について、計5回の会議を行った。また、「地域づくり活動拠点に関する基本方針」を作成した。集落支援員については2地区に設置した。						
	島根大学まちづくり共同研究		0							
	加西市地域づくり戦略会議		606							
	集落支援員活動交付金（2地区）		596							
	合計		16,060	自己評価 C…目標を下回っている						
R5	ふるさと創造会議地域づくり交付金		16,700							
	島根大学まちづくり共同研究		300							
	加西市地域づくり戦略会議		716							
	集落支援員活動交付金（3地区）		1,400							
	地域づくり活動拠点支援事業（日吉、下里）		4,000							
	合計		23,116	自己評価						
R6	ふるさと創造会議地域づくり交付金		17,750							
	加西市地域づくり戦略会議		800							
	集落支援員活動交付金（4地区）		2,000							
	地域づくり活動拠点支援事業		10,000							
	合計		30,550	自己評価						
R7	ふるさと創造会議地域づくり交付金		17,750							
	加西市地域づくり戦略会議		800							
	集落支援員活動交付金（5地区）		2,500							
	地域づくり活動拠点支援事業		10,000							
	合計		31,050	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
集落支援員の配置数		目標		4	5	7	8	10	名	累計
		実績	0	1	2					
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-04	達成度		25.0%	40.0%					
上記指標の設定理由		ふるさと創造会議が地域づくりを進めていくうえで事務局を専門的に担う事務局員（集落支援員）の配置が必要であり、地域づくり活動が進んでいるかどうかの一つの指標として適当なため。（R3年度より総務省の集落支援員制度を活用）								
まちづくり計画書の策定地区数		目標		5	5	6	6	7	地区	累計
		実績	4	5	5					
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-05	達成度		100.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		ふるさと創造会議が地域づくりを進めていくうえで必要な取組みであり、地域づくり活動が進んでいるかどうかの一つの指標として適当なため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	11 協創のまちづくりの推進									
施策	⑩ 協創のまちづくり									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 市民参画によるまちづくりを進めるため、NPO法人・地域活動家の育成を図ります。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	地域活動団体への支援			0	地域交流センターの登録団体に関するご相談は増加傾向にあるものの、実際の登録団体数は頭打ちの状況である。その他、公益活動支援制度である「プロバイダ事業」など、支援メニューの周知が不十分であるため整理が必要である。					
	市民活動講座			100						
	合計			100						
R4	地域活動団体への支援			0	地域交流センターの登録団体数は増加傾向にある。4公民館における登録団体制度の兼ね合いを考慮しつつ、支援メニューの見直し等を検討する必要がある。					
	市民活動講座			0						
	合計			0						
R5	地域活動団体への支援			0						
	市民活動講座			45						
	合計			45						
R6	地域活動団体への支援			0						
	市民活動講座			45						
	合計			45						
R7	地域活動団体への支援			0						
	市民活動講座			45						
	合計			45						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
地域交流センターの登録団体数		目標		60	62	64	66	68	団体	累計
		実績	57	58	61					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	96.7%	98.4%					
上記指標の設定理由		地域交流センターの登録団体数をあげることは、地域活動団体の活動支援に対する評価に適していると考えため目標を設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	11 協創のまちづくりの推進									
施策	㊸ 協創のまちづくり									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 都市部との交流と都市部人材の受入体制整備による関係人口の増加に取り組みます。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	関係人口創出事業				5,000	関係人口の増加を図ることを目的に、加西市で何かしたい都市部の人々と、それを応援する市内の各分野で活躍している人々をつなぐ中間支援組織として、R3年12月に「一般社団法人ユニテ」を設立した。今後は、関係人口創出にかかる事業を自主的に実施していくと共に、移住定住に関する相談をワンストップで受ける窓口としても活用していく。				
	合計				5,000	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	中間支援組織による関係人口創出事業				2,000	中間支援組織である「一般社団法人ユニテ」に委託して、ワンストップ移住相談窓口による移住相談を実施した。また、都市部住民や、市内で活躍する住民との交流を目的にしたワークショップや交流会も実施した。R4年度は計23回開催し、移住人口や関係人口の増加を図った。				
	合計				2,000	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	中間支援組織による関係人口創出事業				2,000					
	ふるさと納税CFプロジェクトによる関係人口創出事業				4,000					
	合計				6,000	自己評価				
R6	中間支援組織による関係人口創出事業				2,000					
	ふるさと納税CFプロジェクトによる関係人口創出事業				4,000					
	合計				6,000	自己評価				
R7	中間支援組織による関係人口創出事業				2,000					
	ふるさと納税CFプロジェクトによる関係人口創出事業				4,000					
	合計				6,000	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
中間支援組織の設立数		目標		1	1	1	1	1	件	累計
		実績	—	1	1					
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-14	達成度		100.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		関係人口の増加を図るため、加西市で何かしたい都市部の人々と、それを応援する市内の各分野で活躍している人々をつなぐための中間支援組織を令和3年度に設立するものとして目標設定した。								
中間支援組織による各種相談件数		目標		—	170	180	190	200	件	単年
		実績	—		137					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度			80.6%					
上記指標の設定理由		上記の理由により設置した中間支援組織の稼働状況を図る指標として、加西市で何かしたい人や移住希望者からの中間支援組織への相談件数を使用する。移住相談件数の実績（R1年度152件）から、R4年度の目標値を170件とし、さらに段階的に増やしていくことを目標として値を設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	11 協創のまちづくりの推進									
施策	③ シティプロモーションの推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 郷土の豊かな歴史を学び体験するなど、シビックプライド*の醸成を図り、シティプロモーションを推進します。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	シティプロモーション推進事業補助事業				600	ふるさと納税をPRするデザイントラック作成と、鵜野飛行場跡やその周辺施設のバーチャル体験プログラム作成の2件を、市のシティプロモーション推進にかかる事業として、補助を実施した。 市民が行政と一緒にシティプロモーションを実施することで、より大きな効果が期待できるため、今後も積極的に活用を行っていく。				
	合計				600	自己評価	C…目標を下回っている			
R4	シティプロモーション推進事業補助事業				597	市内外の参加者・出演者との交流を目的に開催した演劇イベントと、ふるさと納税寄附者への配布を目的とした12種類のデザインカード作成を、市のシティプロモーション推進にかかる事業として、補助を実施した。 市民が行政と一緒にシティプロモーションを実施することで、より大きな効果が期待できるため、今後も積極的に活用を行っていく。				
	合計				597	自己評価	C…目標を下回っている			
R5	シティプロモーション推進事業補助事業				900					
	シティプロモーション冊子作成事業				2,200					
	地域DXプログラム等によるデータ活用事業				15,000					
	合計				18,100	自己評価				
R6	シティプロモーション推進事業補助事業				1,200					
	シティプロモーション冊子作成事業				2,200					
	地域DXプログラム等によるデータ活用事業				15,000					
	合計				18,400	自己評価				
R7	シティプロモーション推進事業補助事業				1,500					
	シティプロモーション冊子作成事業				2,200					
	地域DXプログラム等によるデータ活用事業				15,000					
	合計				18,700	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
シティプロモーション推進事業補助件数		目標		3	3	4	4	5	件	単年
		実績	—	2	2					
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-15	達成度		66.7%	66.7%					
上記指標の設定理由		シティプロモーション推進の指標として、市のシティプロモーション推進に寄与する事業を補助する本事業の補助件数を使用するもので、R3年度の目標値を3件とし、さらに段階的に増やしていくことを目標として値を設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	11 協創のまちづくりの推進									
施策	③ シティプロモーションの推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 近隣自治体等との連携による情報発信体制の強化や、魅力的なふるさと納税返礼品の充実などにより、まちの魅力を積極的にPRしていきます。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	ふるさと納税推進事業				3,216,931	寄附の多くが楽天等のポータルサイトからであることを踏まえ、各ポータルサイトへの検索を増やすための取組や、鶴野飛行場跡の保存・活用を目的としたクラウドファンディングの実施、加西市の魅力が詰まったPRパンフレットの作成を行い、R3年度は約64億円（前年比121%増）の寄附につなげた。移住相談会もコロナの影響で一部中止となったが、オンラインも活用し、3回参加した。				
	移住相談会の実施				0					
	合計				3,216,931	自己評価	A…目標を上回って達成			
R4	ふるさと納税推進事業				3,286,365	返礼品の充実に加え、楽天ポータルサイト内での特設ページ作成や、ファンミーティング開催、デジタル広告の掲載など、様々な取組を実施した結果、寄附金額を維持するとともに、寄附件数を1万件増やすことができ、関係人口の増加につなげた。県主催による移住相談会に4回参加し、都市部住民に市の魅力をアピールした。また、移住相談者に大阪在住者が多いため、大阪シティバスの窓や、大阪周辺のSA・PAに広告シートを設置し、加西市のPRを実施した。				
	移住相談会の実施				0					
	シティプロモーション広告事業				1,837					
	合計				3,288,202	自己評価	A…目標を上回って達成			
R5	ふるさと納税推進事業				1,590,869					
	移住相談会の実施				0					
	シティプロモーション広告事業				1,300					
	ふるさと納税CFプロジェクト事業				8,000					
	合計				1,600,169	自己評価				
R6	ふるさと納税推進事業				500,000					
	移住相談会の実施				0					
	シティプロモーション広告事業				1,200					
	ふるさと納税CFプロジェクト事業				8,000					
	合計				509,200	自己評価				
R7	ふるさと納税推進事業				500,000					
	移住相談会の実施				0					
	シティプロモーション広告事業				1,200					
	ふるさと納税CFプロジェクト事業				8,000					
	合計				509,200	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
ふるさと納税額		目標		2,500	2,000	2,000	1,000	1,000	百万円	単年
		実績	2,004	6,456	6,360					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	258.2%	318.0%					
上記指標の設定理由		今後のふるさと納税制度が不透明であることを考慮し、目標値を設定した。								
出張相談会参加数		目標		5	5	5	5	5	回	単年
		実績	6	3	4					
第2期地域創生戦略アクションプラン		1-05	達成度	60.0%	80.0%					
上記指標の設定理由		加西市の魅力を積極的にPRしている状況の指標として、出張の移住合同相談会の参加数を使用するもので、過去の実績から目標値に設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	11 協創のまちづくりの推進									
施策	③ シティプロモーションの推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 特産品のブランド化を進め、販売チャネルを増やすなどの販売促進に努めます。また、SNSに加えて、観光事業者への地域資源のPR、まちの魅力を発掘などを通じ、本市への誘客につながるような魅力を情報発信します。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	「かさい喝采みやげ」の充実				2,000	<喝采みやげ>「加西喝采みやげ」をリニューアルし、登録品目が27から55品目に大幅増となった。<情報発信>webサイト「かさい観光ナビ」リニューアル、観光案内所運営、レンタサイクル事業、ガイド支援、看板補修、商品開発などの事業実施。<まちあそび>かさいまちあそび事業をまちらぼに委託。10月開催のかさいまちあそび2021以外にも主催事業を展開。新たな体験型プログラムやプログラム主催者を獲得できた。				
	観光情報の発信（観光協会）				13,200					
	「かさいまちあそび」の推進				2,000					
	合計				17,200	自己評価	C…目標を下回っている			
R4	「かさい喝采みやげ」の充実				950	<喝采みやげ>登録品目は55から60品目に増やすことができた。また、パンフレットをリニューアルした。<情報発信>「かさい観光ナビ」をベースに、レンタサイクル事業、ふーど記、喝采みやげ等の情報発信をおこなった。また、既存の観光資源をストーリーで紡ぐ「劇場型周遊観光事業」を造成・PRした。<まちあそび>かさいまちあそび2022開催、スキルアップセミナー開催、通年事業としてカヌー体験や森の図書室事業等を実施した。				
	観光情報発信、観光資源の発掘・PR				7,025					
	「かさいまちあそび」の推進				2,000					
	合計				9,975	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	食の開発（開発）				500					
	観光情報発信、観光資源の発掘・PR				6,500					
	「かさいまちあそび」の推進				1,200					
	合計				8,200	自己評価				
R6	食の開発（販売）				500					
	観光情報発信、観光資源の発掘・PR				6,500					
	「かさいまちあそび」の推進				1,200					
	合計				8,200	自己評価				
R7	食の開発（販売）				500					
	観光情報発信、観光資源の発掘・PR				6,500					
	「かさいまちあそび」の推進				1,200					
	合計				8,200	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
「かさい観光ナビ」アクセス数		目標		180	185	190	195	200	千ビュー	単年
		実績	178	140	449					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		77.8%	242.7%					
上記指標の設定理由		観光情報発信基地としての機能が果たせているかの効果測定に適しているため。								
観光協会SNSフォロワー数		目標		3,600	3,700	3,800	3,900	4,000	人	累計
		実績	3,592	4,149	5,074					
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-16	達成度		115.3%	137.1%					
上記指標の設定理由		観光のリアルタイム情報を受けてもらう環境がどれだけ整っているかを検証するのに適しているため。								
「かさいまちあそび」参加者数		目標		650	650	700	700	750	人	単年
		実績	573	467	433					
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-02	達成度		71.8%	66.6%					
上記指標の設定理由		事業参加者数を測定することで、当市の誘客状況を把握することが可能であるため								

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	11 協創のまちづくりの推進									
施策	③ 広報・広聴の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 親しみやすく読みやすい広報誌を全市民に配布し、各種施策やサービス・制度の周知を図るとともに、報道機関へのプレスリリースを積極的に進め、情報発信の充実に努めます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	秘書課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	報道機関へのプレスリリースの実施			0	定例記者懇談会の開催：12回					
	広報かさいの作成			6,697	プレスリリース件数：464件（うちコロナ関連84件）					
					市民アンケートをもとに5月号より広報誌リニューアルを実施。名前も「すっきゃかさい」とし、コンセプトは「市民にもっと加西を好きになってもらう」。毎号の特集記事や「キラリびと」と題した人物紹介記事も新設。令和3年度県広報コンクールで企画賞と1枚の写真の部で特選に入賞。					
	合計			6,697	自己評価	A…目標を上回って達成				
R4	報道機関へのプレスリリースの実施			0	定例記者懇談会の開催：11回 臨時開催：3回					
	広報かさいの作成			7,466	プレスリリース件数：371件					
					令和4年度県広報コンクールの広報誌部門で入選を獲得した。					
	合計			7,466	自己評価	A…目標を上回って達成				
R5	報道機関へのプレスリリースの実施			0						
	広報かさいの作成			8,900						
	合計			8,900	自己評価					
R6	報道機関へのプレスリリースの実施			0						
	広報かさいの作成			8,900						
	合計			8,900	自己評価					
R7	報道機関へのプレスリリースの実施			0						
	広報かさいの作成			8,900						
	合計			8,900	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
マスメディアの掲載件数		目標		395	400	405	410	415	回	単年
		実績	385	456	573					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		115.4%	143.3%					
上記指標の設定理由		これまでの実績をベースに、5年間で約5%のアップを目指すため目標設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	11 協創のまちづくりの推進									
施策	⑫ 広報・広聴の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ ホームページやSNSなどの媒体を活用し、必要な情報をタイムリーに提供できる体制を強化します。									
担当部課	部名	総務部			課名	デジタル戦略課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	CMSによるホームページの運用			2,520	件数的には目標とする数になっているが、質の向上は今後必要である。CMSが警告しているにもかかわらずそのままにしている例もあるので、作成者および第一承認者のスキルアップは必要である。					
	合計			2,520	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	CMSによるホームページの運用			2,477	令和3年3月に新ホームページに移行し、令和3年度は移行直後の修正が多かったと考えられる。今年度ホームページ等の情報発信の研修を実施し、情報発信力の強化に努めたい。					
	合計			2,477	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	CMSによるホームページの運用			2,478						
	合計			2,478	自己評価					
R6	CMSによるホームページの運用			2,478						
	合計			2,478	自己評価					
R7	CMSによるホームページの運用			2,478						
	合計			2,478	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
ホームページの延べ更新数		目標		4,600	4,700	4,800	4,900	5,000	ページ	単年
		実績	—	4,558	3,595					
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度		99.1%	76.5%					
上記指標の設定理由		情報の提供の提供数はホームページの延べ更新数（最終承認者の承認数）に比例すると考えられることから、指標になると判断した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	11 協創のまちづくりの推進									
施策	㊼ 広報・広聴の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 様々な手段や機会を通じて市民のニーズを把握するとともに、市民から寄せられる提案や要望、意見に対する回答について、適切かつ迅速な対応を行います。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	秘書課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	タウンミーティング（住民企画型含む）の実施				100	タウンミーティング（TM）については10/27～11/17で市内10カ所において実施し、予算編成前に地域の要望や課題を集約した。また、市内在住の外国人を対象としたTMも実施した。 要望書等については、要望書24件、要請4件、市民ふれあい提案74件。市民ふれあい提案はコロナ、ウクライナ関連が増加した。頂いた意見は関係部署へ共有するとともに、回答を作成した。				
	要望書等（市民ふれあい提案含む）による市民ニーズの把握				0					
	合計				100	自己評価	A…目標を上回って達成			
R4	タウンミーティング（住民企画型含む）の実施				100	タウンミーティング（TM）については11/1～11/21で市内10カ所において実施し、予算編成前に地域の要望や課題を集約した。また、市内在住の外国人を対象としたTMも実施した。 要望書等については、要望書24件、要請5件、意見書1件、市民ふれあい提案58件。頂いた意見は関係部署へ共有するとともに、回答を作成し対応した。				
	要望書等（市民ふれあい提案含む）による市民ニーズの把握				0					
	合計				100	自己評価	A…目標を上回って達成			
R5	タウンミーティング（住民企画型含む）の実施				100					
	要望書等（市民ふれあい提案含む）による市民ニーズの把握				0					
	合計				100	自己評価				
R6	タウンミーティング（住民企画型含む）の実施				100					
	要望書等（市民ふれあい提案含む）による市民ニーズの把握				0					
	合計				100	自己評価				
R7	タウンミーティング（住民企画型含む）の実施				100					
	要望書等（市民ふれあい提案含む）による市民ニーズの把握				0					
	合計				100	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
要望書等（市民ふれあい提案・メール含む）の回答実績		目標		80	85	90	95	100	件	単年
		実績	77	93	88					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		116.3%	103.5%					
上記指標の設定理由		これまでの実績をベースに年間で約5%のアップを目指すため目標設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	12 お互いを認め合える社会の実現									
施策	③ 自分らしく暮らせる地域づくりの推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 家庭、学校、職場や地域等で様々な人権問題や多様な性のあり方に関する教育や啓発を進め、お互いを認め合い、差別を許さないまちづくりを推進します。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人権推進課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	人権文化をすすめる市民のつどい				852	人権文化をすすめる市民のつどいに、280人の参加。地区人権学習会、まちかどフォーラムに、524人の参加。自主参加型の学習機会として、加西市人権教育協議会と連携した太鼓づくり教室、人権映画会などに、196人の参加。自治会、事業所等が自主開催する研修会に講師派遣等を行い、250人の参加。公民館活動グループや市職員等を対象に人権研修会を実施し、610人の参加。				
	地区人権学習会、まちかどフォーラム				659					
	加西市人権教育協議会や公民館と連携した講演会、フィールドワーク等				555					
	企業、団体等での人権学習会				11					
	自主参加型学習会や映画上映				110					
	合計				2,187	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	人権文化をすすめる市民のつどい				480	住民人権学習の方法を変更した初年度でもあり、参集型学習からコロナ化において、オンライン学習を取り入れたが、初年度という事もあり、周知がうまくできなかった為、まちかどオンラインの視聴者数が予想を下回った。令和5年度は小・中学校に協力を依頼し、子育て世代の参加を増やしていく。まちかどフォーラムを実施した町の中には、世帯数の8割以上の参加があった町もあり、人権意識の高揚が図れたと実感した為、自己評価をBとした。				
	地区人権学習会、まちかどフォーラム、まちかどシアター、まちかどオンライン				1,032					
	加西市人権教育協議会連携事業（太鼓作り教室、フィールドワーク等）				507					
	人権映画会				75					
	長島愛生園訪問事業				40					
	合計				2,134	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	人権文化をすすめる市民のつどい				525					
	地区人権学習会、まちかどフォーラム、まちかどシアター、まちかどオンライン				1,024					
	加西市人権教育協議会連携事業（太鼓作り教室、フィールドワーク等）				507					
	人権映画会				163					
	長島愛生園訪問事業				40					
	合計				2,259	自己評価				
R6	人権文化をすすめる市民のつどい				525					
	地区人権学習会、まちかどフォーラム、まちかどシアター、まちかどオンライン				1,024					
	加西市人権教育協議会連携事業（太鼓作り教室、フィールドワーク等）				507					
	人権映画会				163					
	長島愛生園訪問事業				40					
	合計				2,259	自己評価				
R7	人権文化をすすめる市民のつどい				525					
	地区人権学習会、まちかどフォーラム、まちかどシアター、まちかどオンライン				1,024					
	加西市人権教育協議会や公民館と連携した講演会、フィールドワーク等				627					
	人権映画会、長島愛生園訪問事業				203					
	加西市人権教育及び啓発に関する推進指針見直し業務				3,850					
	合計				6,229	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
人権学習会参加者数		目標		3,300	3,350	3,400	3,450	3,500	人	単年
		実績	3,398	2,074	2,272					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	62.8%	67.8%					
上記指標の設定理由		人権学習会に参加することが人権意識の高揚につながるという考えから、人権学習会参加者数を指標にすることが適している。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	12 お互いを認め合える社会の実現									
施策	③ 自分らしく暮らせる地域づくりの推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 家庭や学校、施設等における、子どもや高齢者等に対する虐待の防止、DV*被害者への支援に取り組みます。									
担当部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	DVセンター運営事業				3,605	DVセンターにおいては婦人相談員を1名確保したが、子ども家庭総合支援拠点の中心となる子ども家庭支援員は1名しか確保出来なかった。専門職の確保が最大の課題である。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、資質向上のための研修にはほとんど参加出来ていない。				
	子ども家庭総合支援拠点運営事業				8,465					
	合計				12,070	自己評価	C…目標を下回っている			
R4	DVセンター運営事業				3,765	DVセンターは婦人相談員を1名、子ども家庭総合支援拠点は子ども家庭支援員を3名確保した。これまで出来なかった定期訪問や相談が可能となり、早期発見予防が可能となった。今後は職員の資質向上を図る必要がある。				
	子ども家庭総合支援拠点運営事業				13,102					
	合計				16,867	自己評価	A…目標を上回って達成			
R5	DVセンター運営事業				3,765					
	子ども家庭総合支援拠点運営事業				13,102					
	合計				16,867	自己評価				
R6	DVセンター運営事業				3,765					
	子ども家庭総合支援拠点運営事業				13,102					
	合計				16,867	自己評価				
R7	DVセンター運営事業				3,765					
	子ども家庭総合支援拠点運営事業				13,102					
	合計				16,867	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
婦人相談員数		目標		1	1	1	1	1	人	単年
		実績	1	1	1					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		100.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		DV被害者支援を達成するにあたり、安定してDVセンターを運営することが求められ、専門職である婦人相談員の確保及び資質の向上が最重要課題であるため、目標として設定した。								
子ども家庭支援員数		目標		2	2	2	2	2	人	単年
		実績	1	1	3					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		50.0%	150.0%					
上記指標の設定理由		児童虐待防止を達成するにあたり、安定して子ども家庭総合支援拠点を運営することが求められ、専門職である子ども家庭支援員の確保及び資質の向上が最重要課題であるため、目標として設定した。人口規模より法定では子ども家庭支援員2名配置が必要。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	12 お互いを認め合える社会の実現									
施策	⑬ 自分らしく暮らせる地域づくりの推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う取り組みを推進します。									
担当部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課				
	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	障害者（児）相談支援事業			27,298	障害者（児）相談支援事業については、加西市基幹相談支援センターやすらぎに委託している。コロナ禍において、来所での相談を控える傾向がみられる。障害者の中核的な相談窓口として今後も継続して取り組んでいくべき事業である。					
	合計			27,298	自己評価	D…目標を大きく下回っている				
R4	障害者（児）相談支援事業			27,298	障害者（児）相談支援事業については、加西市基幹相談支援センターやすらぎに委託している。件数は減少傾向であるが、各事業所相談支援専門員のスキルアップが図られ個別ケース対応が担えてきている点、やすらぎでは困難ケースや支援者支援対応が増加傾向にある点はプラスに評価できる。障害者の中核的な相談窓口として今後も継続して取り組んでいくべき事業である。					
	合計			27,298	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	障害者（児）相談支援事業			29,032						
	合計			29,032	自己評価					
R6	障害者（児）相談支援事業			32,032						
	合計			32,032	自己評価					
R7	障害者（児）相談支援事業			32,032						
	合計			32,032	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
障がい者（児）相談延べ件数		目標		15,400	15,500	15,600	15,700	15,800	件	単年
		実績	11,953	11,887	10,061					
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度		77.2%	64.9%					
上記指標の設定理由		利用者の増加傾向がみられ今後も増加が続くものと見込まれるため、適していると判断した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	12 お互いを認め合える社会の実現									
施策	⑬ 自分らしく暮らせる地域づくりの推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う取り組みを推進します。									
担当部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課				
	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	権利擁護センター設置事業準備			0	R3年11月に権利擁護センターの広域設置に向けて事業担当者会議（加西市、西脇市、加東市、多可町）を開催し、各市町の取組状況やセンター設置の方向性などの意見交換を行った。今後も定期的に、各関係機関や近隣市の担当者と、権利擁護センター設置へ向けての課題（センターの設置場所や職員の確保等）解決に向けての話し合いを行っていく。					
合計			0	自己評価 B…ほぼ目標を達成						
R4	権利擁護センター設置事業			0	令和4年11月から毎月、3市1町の事務担当者会議を開催するとともに、先進地視察を行い、令和6年度の北はりま成年後見支援センター（仮称）設立に向けた協議を積極的に行いました。今後は、三士会や家庭裁判所、各市町社協も含めた設立準備委員会の開催を予定している。					
合計			0	自己評価 B…ほぼ目標を達成						
R5	権利擁護センター設置事業			0						
合計			0	自己評価						
R6	権利擁護センター設置事業			0						
合計			0	自己評価						
R7	権利擁護センター設置事業			0						
合計			0	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
権利擁護に関する相談件数		目標		0	30	30	35	35	件	単年
		実績	0	0	0					
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度		-	0.0%					
上記指標の設定理由		権利擁護センターについては現時点で未設置であるが、各関係機関と協議を行い成年後見制度利用促進に向けて自治体の役割が大きくなってきており、今後へ向けての目標を設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	12 お互いを認め合える社会の実現									
施策	③④ 男女共同参画の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 行政や自治会などまちづくりの分野において自分らしく活躍できるよう、学校や地域、各機関等に対する啓発や情報提供などを行い、誰もが参加しやすい環境づくりに取り組みます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	女性リーダー育成事業				360	新事業である「女性リーダー養成講座」を予定通りに実施し、1年の集大成としてフォーラムを開催した。計画に関しても庁内WG及び策定委員会、パブコメを経て、策定出来た。女性コミュニティ活動女性に関しては申請がなかったので、女性リーダー受講生のアウトプットの手段としても推進していきたい。				
	男女共同参画計画策定事業				2,156					
	女性のコミュニティ活動助成				100					
	合計				2,616	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	女性リーダー育成事業				409	昨年度策定した計画と条例に基づき、意思決定の場における女性登用に向けて施策を推進した。昨年度に引き続き、「女性リーダー養成講座」を実施し、集大成として「加西市女性議会」を開催した。年度途中に女性のコミュニティ活動助成金を廃止し、「地域女性活躍補助金」に拡充し、女性リーダー養成講座修了生で立ち上げた「ibee」が利用した。更なる周知を行い、他団体の利用も推進していきたい。				
	女性のコミュニティ活動助成				100					
	地域女性活躍推進事業				149					
	合計				658	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R5	女性リーダー育成事業				420					
	地域女性活躍推進事業				2,760					
	自治会役員女性登用助成金事業				1,000					
	合計				4,180	自己評価				
R6	女性リーダー育成事業				420					
	地域女性活躍推進事業				2,760					
	自治会役員女性登用助成金事業				1,000					
	合計				4,180	自己評価				
R7	女性リーダー育成事業				420					
	地域女性活躍推進事業				2,760					
	自治会役員女性登用助成金事業				1,000					
	合計				4,180	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
女性管理職登用率		目標		16	17	18	19	20	%	単年
		実績	15.2	13.3	11.8					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		83.1%	69.4%					
上記指標の設定理由		市内企業を含む市役所・病院・認定こども園等の女性管理職率をあげることで、助成活躍の推進状況を図るひとつの指標となるため目標設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	12 お互いを認め合える社会の実現									
施策	③ 男女共同参画の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 女性の雇用促進のため、ハローワークとの連携による就労に関する情報の提供や各種講座を開催するとともに、企業への啓発に取り組みます。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	ふるさとハローワークの運営			12,640	兵庫労働局との雇用対策協定のもと、求職者の就職支援に取り組んでいる。女性向けの就労セミナーを開催し、就労促進に取り組んだ。製造業、サービス業等における雇用の需給のアンバランスを解消するため、女性に選ばれる企業を増やす努力も必要と思われる。					
	女性活躍就職支援事業			200						
	合計			12,840	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	ふるさとハローワークの運営			11,863	兵庫労働局との雇用対策協定のもと、求職者の就職支援に取り組んでいる。女性向けの就労セミナーを開催し、就労促進に取り組んでいる。雇用促進に向けR4年度より雇用対策PTにて議論し、政策立案に向け取り組んでいる。					
	合計			11,863	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	ふるさとハローワークの運営			4,288						
	合計			4,288	自己評価					
R6	ふるさとハローワークの運営			5,000						
	合計			5,000	自己評価					
R7	ふるさとハローワークの運営			5,000						
	合計			5,000	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
女性活躍関連セミナー参加者数		目標		20	20	25	25	30	人	単年
		実績	19	35	25					
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度		175.0%	125.0%					
上記指標の設定理由		兵庫労働局との協定に基づき、女性のための就職支援セミナーを年1回開催することになっており、加西市ふるさとハローワークで毎月1回開催しているセミナーの1つとして開催している。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める								
政策	12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現								
施策	㊟ 多文化共生と平和のまちの実現								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 在住外国人にとっても暮らしやすいまちとなるよう、学習支援や生活情報の多言語化を進めるとともに、NPO法人への支援と連携による市民レベルでの交流活性化を図ります。								
担当部課	部名	ふるさと創造部	課名	ふるさと創造課					
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	外国人児童の学習サポート	55	ねひめカレッジと連携し、外国人児童学習サポートや日本語ボランティア研修、国際理解講座やイベントの開催を行った。コロナ禍で予定していた事業が思うように実施出来なかった。また庁内職員研修として、やさしい日本語講座を開催した。今年度より加西病院での医療通訳支援もはじめたが、想定より利用者が少なかったため、更に周知していきたい。						
	支援者育成	33							
	国際理解と情報発信	128							
	やさしい日本語教室	53							
	外国人への医療通訳支援業務	1,070							
	合計	1,339	自己評価	C…目標を下回っている					
R4	外国人児童の学習サポート	19	国の間接補助事業を活用しながら、ねひめカレッジと連携し、日本語教室の拡充や日本語ボランティア研修、国際理解講座をはじめ、国際交流に関するイベントを開催した。また昨年に引き続き庁内職員研修として「やさしい日本語講座」を開催した。課題としては、加西病院での医療通訳支援の外国人利用者が依然として少ないので、外国人への利用周知カードの配布を進めるほか、病院総務課を通じて、医療従事者に対する周知も必要である。						
	支援者育成	62							
	国際理解と情報発信	162							
	やさしい日本語教室	40							
	外国人への医療通訳支援業務	165							
	合計	448	自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R5	外国人児童の学習サポート	55							
	支援者育成	33							
	国際理解と情報発信	160							
	やさしい日本語教室	53							
	外国人への医療通訳支援業務	554							
	合計	855	自己評価						
R6	外国人児童の学習サポート	55							
	支援者育成	33							
	国際理解と情報発信	160							
	やさしい日本語教室	53							
	外国人への医療通訳支援業務	554							
	合計	855	自己評価						
R7	外国人児童の学習サポート	55							
	支援者育成	33							
	国際理解と情報発信	160							
	やさしい日本語教室	53							
	外国人への医療通訳支援業務	554							
	合計	855	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
住民交流事業参加者数	目標		580	590	600	610	620	人	単年
	実績	563	275	539					
第2期地域創生戦略アクションプラン	－	達成度	47.4%	91.4%					
上記指標の設定理由	住民交流事業参加者数を把握することで、多文化共生社会の推進状況を図るひとつの指標となるため目標設定した。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現									
施策	㊸ 多文化共生と平和のまちの実現									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 外国人との多文化共生を目指すための拠点施設の整備に取り組みます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3										
	合計			0						自己評価
R4	多文化共生の総合的な推進計画の策定			0	(R4は産業振興課所管)					
	合計			0						自己評価
R5	相談業務			190						
	外国人児童生徒支援事業			55						
	合計			245						自己評価
R6	相談業務			300						
	外国人児童生徒支援事業			70						
	合計			370						自己評価
R7	相談業務			300						
	外国人児童生徒支援事業			70						
	合計			370						自己評価
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
市内居住外国人数		目標		1,400	1,550	1,700	1,850	2,000	人	単年
		実績	1,184	1,164	1,384					
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-04	達成度		83.1%	89.3%					
上記指標の設定理由		多文化共生拠点施設の整備により、外国人の生活環境が向上し、市内に居住する外国人が増加することが予想されるため目標設定した。								
外国人相談人数		目標				300	330	360	人	単年
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由		外国人との多文化共生を目指すプラットフォームとしての機能を備えていることを評価する指標として設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現									
施策	㊟ 多文化共生と平和のまちの実現									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 鵜野飛行場跡などの地域資源を活用した平和ツーリズム*を展開し、平和について学び、体験できる機会の提供を進めていきます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	鵜野未来課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	映像展示コンテンツ等製作業務				107,978	地域活性化拠点施設「soraかさい」開館に向けて、鵜野飛行場に関連する史実を伝える歴史資料として、映像展示コンテンツ等の製作、九七式艦上攻撃機実物大模型の製作や、歴史資料の複製を行った。その他、備品購入・パンフレット作製を行い、施設を運営するための準備を行った。今後、指定管理の運営のもとで、soraかさいの来館者数や売上を伸ばせるかが課題である。				
	資料収集、アーカイブ化事業				4,334					
	平和ツーリズム推進事業				3,014					
	九七式艦上攻撃機模型製作業務				19,322					
	その他（地域活性化拠点施設設備品購入・パンフレット作成等）				7,293					
	合計				141,941	自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	加西市地域活性化拠点施設指定管理				40,000	令和4年4月18日に加西市地域活性化拠点施設「soraかさい」がオープンし、指定管理者による運営が開始された。soraかさいと法華口駅間でのピースツーリズムやグリーンスローモビリティ実証実験や体験談や防空壕等の記録保存を行った。また、soraかさいファンパスポートの導入・運用業務、道の駅基本計画策定を行った。				
	平和ツーリズム推進事業、資料調査・アーカイブ化事業				13,646					
	soraかさいファンクラブシステム構築事業				11,000					
	グリーンスローモビリティ実証実験				3,366					
	道の駅基本計画及びPFI事業計画策定業務				15,994					
	合計				84,006	自己評価	A…目標を上回って達成			
R5	加西市地域活性化拠点施設指定管理				39,000					
	平和ツーリズム推進事業、展示・資料調査・アーカイブ化事業				16,700					
	グリーンスローモビリティ導入				14,540					
	関係人口データ収集・分析・活用事業				5,000					
	道の駅官民連携事業、用地調査・測量				11,000					
	合計				86,240	自己評価				
R6	加西市地域活性化拠点施設指定管理				39,000					
	平和ツーリズム推進事業、展示・資料調査・アーカイブ化事業				15,500					
	グリーンスローモビリティ運行				2,500					
	道の駅用地買収				400,000					
	道の駅業者選定準備				50,000					
	合計				507,000	自己評価				
R7	加西市地域活性化拠点施設指定管理				39,000					
	平和ツーリズム推進事業、展示・資料調査・アーカイブ化事業				15,500					
	グリーンスローモビリティ運行				2,500					
	合計				57,000	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
修学旅行・校外学習で来訪する学校数		目標		40	45	50	55	60	校	単年
		実績	9	52	112					
第2期地域創生戦略アクションプラン	－	達成度		130.0%	248.9%					
上記指標の設定理由		鵜野飛行場跡「平和について学び、考える場」として整備を進めていることから、平和学習を目的とした修学旅行等で来訪する学校数を指標とした。5月～7月、9月～11月の修学旅行シーズンにおいて、R7年度には月平均10校（週2～3校）の来訪を目指す。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進									
施策	③⑨ 行財政運営の効率化									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 行政サービスの効率的な提供や質の向上を図るため、組織体制の整理や職員研修による資質向上に取り組みます。									
担当部課	部名	総務部			課名	総務課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	広域研修への参加による広い視野を持った人材の育成			603	広域研修受講者に138名が参加。経費は603千円であった。 今度の課題としては、幼保職場の研修参加増加に取り組んでいく必要があると考える。(R3 5名受講)					
	合計			603	自己評価	A…目標を上回って達成				
R4	広域研修への参加による広い視野を持った人材の育成			613	広域研修受講者に155名が参加。経費は613千円であった。 今後の課題は、研修参加者の偏りをなくす					
	合計			613	自己評価	A…目標を上回って達成				
R5	広域研修への参加による広い視野を持った人材の育成			823						
	合計			823	自己評価					
R6	広域研修への参加による広い視野を持った人材の育成			823						
	合計			823	自己評価					
R7	広域研修への参加による広い視野を持った人材の育成			823						
	合計			823	自己評価					
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
広域研修への参加人数		目標		95	100	105	110	115	人	単年
		実績	91	138	155					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	145.3%	155.0%					
上記指標の設定理由		外部で実施する研修へ参加することで見識を深め、職員の質が向上することで、市民サービスをさらに向上させることにつながるため目標設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進									
施策	③⑨ 行財政運営の効率化									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 効率的な行政運営や持続可能な財政運営に向けて取り組みを進めます。									
担当部課	部名	総務部			課名	財政課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	歳入確保、歳出抑制				0	市税収入・ふるさと納税等の増収や、地方交付税の追加交付等による十分な歳入確保と、建設事業の減や、コロナ対策の国庫補助等の充当による一般財源の歳出抑制の結果、黒字収支見込みとなり、基金も一定額以上の確保ができた。上記の黒字収支見込による剰余額を財源として、一部の起債に置き換えることができ、新たな市債発行の抑制に繋げることができた。次年度以降、ふるさと納税や国の臨時交付金等の歳入減が見込まれるため、歳出抑制に努め、市債発行の抑制も引き続き努めていく。				
	新たな市債の発行の抑制				0					
	財政調整基金、減債基金の一定額の確保				0					
	合計				0	自己評価	A…目標を上回って達成			
R4	歳入確保、歳出抑制				0	市税収入・ふるさと納税等の増収や、地方交付税の追加交付等による十分な歳入確保と、5つの無料化といった歳出増はあったものの、建設事業の減や、ふるさと納税の充当・コロナ対策等国庫補助金の充当による歳出抑制により、黒字収支見込みとなり、基金も一定額以上の確保ができた。また上記の黒字収支見込による剰余額を財源として、一部の起債に置き換えることができ、新たな市債発行の抑制に繋げることができた。次年度以降は、ふるさと納税や国の臨時交付金等の歳入減が見込まれ、いっぽうで歳出でも建設事業や子育て施策等による増加が見込まれるため、規律ある予算執行により歳出の抑制に努め、市債発行の抑制も引き続き努めていく。				
	新たな市債の発行の抑制				0					
	財政調整基金、減債基金の一定額の確保				0					
	合計				0	自己評価	A…目標を上回って達成			
R5	歳入確保、歳出抑制				0					
	新たな市債の発行の抑制				0					
	財政調整基金、減債基金の一定額の確保				0					
	合計				0	自己評価				
R6	歳入確保、歳出抑制				0					
	新たな市債の発行の抑制				0					
	財政調整基金、減債基金の一定額の確保				0					
	合計				0	自己評価				
R7	歳入確保、歳出抑制				0					
	新たな市債の発行の抑制				0					
	財政調整基金、減債基金の一定額の確保				0					
	合計				0	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
実質公債費比率		目標		7.6	7.6	7.6	7.5	7.5	%	単年 減少指標
		実績	7.6	8.5	9.3					
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-17	達成度		88.2%	77.6%					
上記指標の設定理由		行財政改革プランの収支見通し作成に用いた10年間の公債費、他会計繰出金等をもとに10年間の実質公債費比率を算出してR7の数値をゴールとし、R2実績値を超えずに段階的に下がるよう各年目標値を設定した。								
将来負担比率		目標		69.0	68.0	67.0	66.0	65.0	%	単年 減少指標
		実績	69.4	4.5	-22.1					
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-17	達成度		193.5%	232.5%					
上記指標の設定理由		行財政改革プランの収支見通し作成に用いた10年間の各会計起債発行額等をもとに10年間の将来負担比率を算出してR7の数値をゴールとし、R2実績値を超えずに段階的に下がるよう各年目標値を設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進									
施策	③⑨ 行財政運営の効率化									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 自主財源確保のための市税及び使用料等の徴収体制強化を図ります。									
担当部課	部名	総務部			課名	収納課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	市税等収納向上対策			4,285	コロナ禍で納税が難しくなった方がいるなかで、目標値を上回る収納率を達成した。過年度分については、特例により前年度に徴収猶予となったものの多くを収納できたため、実績値が高く出ている。徴収猶予がなくなったR4ではそこまでの実績は望めないが、納付された方との税の公平を保つための徴収業務に努める。					
	合計			4,285	自己評価	A…目標を上回って達成				
R4	市税等収納向上対策			4,398	コロナ禍から回復しつつある経済状況もあって、目標値を上回る収納率を達成した。現年分については新たな滞納者とならないように催告を行い、過年度分は悪質な滞納者には差押を実施することで目標値を上回ることができた。R5も引き続き納付された方との税の公平を保つための徴収業務に努める。					
	合計			4,398	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	市税等収納向上対策			4,709						
	合計			4,709	自己評価					
R6	市税等収納向上対策			4,350						
	合計			4,350	自己評価					
R7	市税等収納向上対策			4,350						
	合計			4,350	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
収納率（現年分）		目標		98.2	98.4	98.6	98.8	99.0	%	単年
		実績	99.0	98.2	99.0					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	100.0%	100.6%					
上記指標の設定理由		新型コロナウイルスの影響も考えられることから、コロナ禍前の最高値を目標値として設定した。								
収納率（過年分）		目標		25.0	25.2	25.4	25.6	25.8	%	単年
		実績	31.6	37.0	27.9					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	148.0%	110.7%					
上記指標の設定理由		新型コロナウイルスの影響も考えられることから、上記の目標値を設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進									
施策	③⑨ 行財政運営の効率化									
施策目標・担当部課										
施策目標	Ⅰ 公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の適正な維持管理に努めるとともに、国・県の動向を踏まえ、入札制度について随時見直しを実施し、適正かつ効率的な事務の執行を図ります。									
担当部課	部名	総務部	課名	管財課						
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業		経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	庁舎照明設備器具改修		22,000	本庁舎における省エネルギー化を推進し、電力使用量を削減するとともに、二酸化炭素排出量削減による脱炭素社会の実現に貢献するため、庁舎内の照明器具のうち、LED化が未完了のものについてLED照明に更新した。						
	固定資産台帳データ管理及び更新		660							
	事業者への立ち入り調査、指導		0							
	合計		22,660	自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R4	旧庁舎解体工事		60,000	旧庁舎は、施設の老朽化がうかがえるとともに、耐震診断が未実施であることから施設を解体した。						
	固定資産台帳データ管理及び更新		660							
	事業者への立ち入り調査、指導		0							
	合計		60,660	自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R5	固定資産台帳データ管理及び更新		660							
	事業者への立ち入り調査、指導		0							
	合計		660	自己評価						
R6	固定資産台帳データ管理及び更新		660							
	事業者への立ち入り調査、指導		0							
	合計		660	自己評価						
R7	固定資産台帳データ管理及び更新		660							
	事業者への立ち入り調査、指導		0							
	合計		660	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
入札案件の設計額に対する契約額の比率		目標		82.5	83.0	83.5	84.0	84.5	%	単年
		実績	82.1	82.2	79.6					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		99.6%	95.9%					
上記指標の設定理由		低入札価格調査制度と最低制限価格制度の範囲を拡大し、公共工事の更なる品質確保や円滑な施工確保のため目標設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進									
施策	③⑨ 行財政運営の効率化									
施策目標・担当部課										
施策目標	オ 時差出勤やテレワークなど、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した業務環境を構築します。									
担当部課	部名	総務部		課名	総務課					
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業		経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	時差出勤の制度導入・活用		0	時差出勤利用（新型コロナによる分散勤務を除く）23名、テレワーク実績（R3年度）135件であった。モバイルルーターレンタル料は457千円となっている。 テレワーク兵庫の活用を推進するなど、引き続きワーク・ライフ・バランスに配慮した業務環境の構築に取り組む。						
	テレワークの推進		930							
	合計		930	自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R4	時差出勤の制度導入・活用		0	時差出勤利用（新型コロナによる分散勤務を除く）40名、テレワーク実績114件であった。 引き続きワーク・ライフ・バランスに配慮した業務環境の構築に取り組む。						
	テレワークの推進		930							
	合計		930	自己評価	C…目標を下回っている					
R5	時差出勤の制度導入・活用		0							
	テレワークの推進		930							
	合計		930	自己評価						
R6	時差出勤の制度導入・活用		0							
	テレワークの推進		930							
	合計		930	自己評価						
R7	時差出勤の制度導入・活用		0							
	テレワークの推進		930							
	合計		930	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
時差出勤の活用人数		目標		20	30	40	50	60	人	単年
		実績	0	23	40					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		115.0%	133.3%					
上記指標の設定理由		時差出勤を取り入れることで業務量、時間をマネジメントする能力をつくり、効率的で質の高い行政サービスに取り組むことにつながるため目標設定した。								
テレワークの実施件数		目標		160	240	320	400	480	件	単年
		実績	0	135	114					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		84.4%	47.5%					
上記指標の設定理由		テレワークは、業務の分析と細分化が必要である。執務室外で、できる業務を取出し集中して行うことで業務効率を上げ、行政サービスの向上につなげることになるため目標設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進									
施策	⑦ ICTの利活用の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 行政事務の効率化を実現するため、A I や R P A など、最新の情報技術の導入や活用について検討のうえ整備を進めるとともに、リモートワークに適した環境整備に取り組みます。									
担当部課	部名	総務部			課名	デジタル戦略課				
	部名	総務部			課名	総務課（議会事務局）				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	RPAの利用			550	RPAについては複数課の会計伝票を作成したこととメール送信を自動化するシナリオの作成で動作回数だけを見れば想定より大きく増加しているがシナリオそのものはあまり増えていない。シナリオの開発に一定のコンピュータスキルが必要なことから、シナリオの開発が思うように進んでいない。また、RPAに適した業務も見が困難（まとまった業務量の定型処理が見つからない）。					
	ビジネスチャットツール			1,760						
	合計			2,310	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	RPAの利用			1,815	RPAについては令和4年度に別のソフトに変更して、シナリオ作成は容易になったが、財務会計システムの仕様により自動処理できなくなり、前年度と比較して実行回数が減少した。令和5年度に財務会計システムが更新されてから再度シナリオを作成する。 ビジネスチャットツールは庁内での利活用が進み、令和4年度に議会および病院でも使用することとなった。					
	ビジネスチャットツール			2,640						
	合計			4,455	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	RPAの利用			1,980						
	ビジネスチャットツール			3,168						
	合計			5,148	自己評価					
R6	RPAの利用			1,980						
	ビジネスチャットツール			3,168						
	合計			5,148	自己評価					
R7	RPAの利用			1,980						
	ビジネスチャットツール			3,168						
	合計			5,148	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
RPAのシナリオ動作回数		目標		100	150	200	250	300	回	単年
		実績	0	421	287					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	421.0%	191.3%					
上記指標の設定理由		R P A は行政事務を効率的に行うための道具であり、有効活用していれば動作回数に反映すると考えられることから指標に適していると判断した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進									
施策	⑦ ICTの利活用の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 行政事務の効率化を実現するため、A I や R P A など、最新の情報技術の導入や活用について検討のうえ整備を進めるとともに、リモートワークに適した環境整備に取り組みます。									
担当部課	部名	総務部			課名	デジタル戦略課				
	部名	総務部			課名	総務課（議会事務局）				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	行政事務文書の電子化			130	行政事務文書の電子化を図るため、令和3年度に公文書管理システムを導入した。業者選定、導入準備等が必要であったため、全庁向けには3月導入となった。よってシステム導入の実質的な効果が生じるのは令和4年度以降になると考える。					
	タブレット端末の導入			189						
	合計			319	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	行政事務文書の電子化			2,884	前年度に導入した公文書管理システムの全庁本格導入を実施した。財務会計伝票を除き、ほぼ100%の電子化率となった。今後は議会資料等の電子化について進めていく。タブレット端末については12月定例会より本格導入し、会議資料等のペーパーレスの推進に努めた。現在のところは紙資料と併用であるが、来年度以降は会議資料のペーパーレスを目指している。タブレット端末の活用は個人差があるため、各議員へのフォローを継続していく。					
	タブレット端末の導入			3,295						
	合計			6,179	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R5	行政事務文書の電子化			2,884						
	タブレット端末の導入			715						
	合計			3,599	自己評価					
R6	行政事務文書の電子化			2,884						
	タブレット端末の導入			715						
	合計			3,599	自己評価					
R7	行政事務文書の電子化			2,884						
	タブレット端末の導入			715						
	合計			3,599	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
複写機等の印刷枚数		目標		6,240	6,200	6,160	6,120	6,080	千枚	単年減少指標
		実績	6,280	6,269	6,269					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		99.5%	98.9%					
上記指標の設定理由		電子化を進め、業務の効率化と経費削減を行う。特に時短は職員のワークライフバランスにつながり、充実した私生活を過ごすことで、集中して業務に取り組める。								
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標								
		実績								
		達成度								
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標								
		実績								
		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進									
施策	⑦ ICTの利活用の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 効率的な行政手続きを実現するため、マイナンバーカードの普及促進や行政手続きのオンライン化などに取り組むとともに、情報通信基盤の整備を進めます。									
担当部課	部名	総務部	課名	デジタル戦略課						
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業		経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	ネット申請対応ツール導入		353	スマホから申請することができるようにフォームツールを導入し、イベントの申し込み等で利用を開始した。コンビニ交付はR4年度で導入する予定。						
	合計		353	自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R4	住民票・印鑑証明のコンビニ交付の実施		23,249	コンビニ交付は令和5年3月17日からサービスを開始した。行政手続きオンライン化は、国が推進するびったりサービスのメニューを増やし、子育て、介護など26手続きに対応した。						
	ネット申請対応ツール導入		647							
	行政手続きオンライン化に伴う環境整備及びシステム改修作業		16,765							
	合計		40,661	自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R5	住民票・印鑑証明のコンビニ交付の実施		10,629							
	ネット申請対応ツール導入		1,382							
	合計		12,011	自己評価						
R6	住民票・印鑑証明のコンビニ交付の実施		10,629							
	ネット申請対応ツール導入		1,382							
	合計		12,011	自己評価						
R7	住民票・印鑑証明のコンビニ交付の実施		10,629							
	ネット申請対応ツール導入		1,382							
	合計		12,011	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
住民票・印鑑証明のコンビニ交付の発行枚数		目標		0	0	5,000	10,000	15,000	枚	単年
		実績	0	0	182					
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	0.0%	100.0%					
上記指標の設定理由		コンビニ交付が定着することがマイナンバーカードの普及促進につながる。税証明を含め年間約17,000件が自動交付機から発行されているがR7年度で自動交付機の運用が終了見込みとした数値を設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進									
施策	㊸ 広域連携と公民連携の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 市単独では実施が難しい業務の運営や地域のより一層の活力向上を実現するため、一部事務組合の他、定住自立圏や連携中枢都市圏など、他自治体との連携を進めていきます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	北播磨広域定住自立圏での取組の実施				703	例年どおりの取組として、「北播磨広域定住自立圏共生ビジョン」に基づく24事業の取組を推進するとともに、共生ビジョン懇談会にて前年実績の検証作業を行い、今後の事業推進に向け、意見聴取を行った。その他、2月より「北播磨日本酒かんぱい券」を販売し、新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げの落ち込んでいる日本酒を半額で購入できる商品券を発売して、圏域におけるお米の産地維持を支援した。				
	播磨圏域連携中枢都市圏での取組の実施				54					
	「北播磨日本酒かんぱい券」事業				2,505					
	合計				3,262	自己評価	A…目標を上回って達成			
R4	北播磨広域定住自立圏での取組の実施				123	例年どおりの取組として、「北播磨広域定住自立圏共生ビジョン」に基づく24事業の取組を推進するとともに、共生ビジョン懇談会にて前年実績の検証作業を行い、今後の事業推進に向け、意見聴取を行った。また、令和6年度に実施する次期共生ビジョン策定にあたり、北播磨広域定住自立圏を構成する3市1町で先進的な取組を行う自治体の視察を行った。				
	播磨圏域連携中枢都市圏での取組の実施				0					
	合計				123	自己評価	A…目標を上回って達成			
R5	北播磨広域定住自立圏での取組の実施				123					
	播磨圏域連携中枢都市圏での取組の実施				0					
	合計				123	自己評価				
R6	北播磨広域定住自立圏での取組の実施（改定含む）				450					
	播磨圏域連携中枢都市圏での取組の実施				0					
	合計				450	自己評価				
R7	北播磨広域定住自立圏での取組の実施				123					
	播磨圏域連携中枢都市圏での取組の実施				0					
	合計				123	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
第2次北播磨広域定住自立圏共生ビジョンにおける各連携事業のKPI平均達成率		目標		70	80	90	100	100	%	単年
		実績	—	124.7	115.8					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		178.1%	144.8%					
上記指標の設定理由		前回のようない連携協定による事業数では数だけの評価となっており、内容の評価ができないため、より進捗状況が評価できるよう各KPIの平均達成率とした。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進									
施策	⑳ 広域連携と公民連携の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 大学や企業等との連携協定により一層まちづくりの活性化を図るとともに、民間活力を活用した行政サービスの向上に取り組みます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課				
	部名	地域振興部			課名	農政課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	連携大学・企業等との事業実施				0	5月に日ノ本学園と包括連携協定を締結し、市内の子どもを対象とした新体操体験教室を開催するとともに、リコージャパン(株)と女性活躍推進研修を開催するなど、連携による事業を実施した。今後は、コロナ禍が続く中、新たな事業の内容や実施手法等を検討する必要がある。また、民間活力による行政サービス向上を実現させるため、複数社との新たな包括連携協定に向け調整を行った。				
	連携大学・企業等との新たな取組の検討				0					
	合計				0	自己評価	A…目標を上回って達成			
R4	企業・大学・団体等との連携・事業実施				0	4月にPPES、5月に平田運輸、6月にロゴスコーポレーション、2月に楽天グループ、3月にsteAmと包括連携協定を締結した。 また、加西市は、SDGsの理念に沿った取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として、内閣府より「SDGs未来都市」に選定された。 今後、民間企業との更なる連携強化を図り、一体となったまちづくりにつなげる。				
	SDGs推進検討委員会の運営				199					
	SDGsの普及促進（職員研修会実施・ファシリテーター養成）				235					
	合計				434	自己評価	A…目標を上回って達成			
R5	企業・大学・団体等との連携・事業実施				0					
	SDGs推進協議会の運営				299					
	SDGsの普及促進（イベント実施・ファシリテーター養成）				3,500					
	SDGsの普及促進（サイト構築・運営）				9,380					
	合計				13,179	自己評価				
R6	企業・大学・団体等との連携・事業実施				0					
	SDGs推進協議会の運営				299					
	SDGsの普及促進（イベント実施・ファシリテーター養成）				3,500					
	SDGsの普及促進（サイト構築・運営）				9,380					
	合計				13,179	自己評価				
R7	企業・大学・団体等との連携・事業実施				0					
	SDGs推進協議会の運営				299					
	SDGsの普及促進（イベント実施・ファシリテーター養成）				3,500					
	SDGsの普及促進（サイト構築・運営）				9,380					
	合計				13,179	自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
包括連携協定数		目標		10	10	11	11	12	件	累計
		実績	9	11	16					
第2期地域創生戦略アクションプラン		4-18	達成度		110.0%	160.0%				
上記指標の設定理由		包括連携の拡大を分かりやすく把握できるものとして、連携協定数とした。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進									
施策	⑳ 広域連携と公民連携の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 大学や企業等との連携協定により一層まちづくりの活性化を図るとともに、民間活力を活用した行政サービスの向上に取り組みます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課				
	部名	地域振興部			課名	農政課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	神戸大学、播磨農業高等学校、県立農業大学校等との連携			0	大学ではないが、県立播磨農業高等学校と学校給食への協力について協定を締結した。神戸大学食事現センターからも継続して学校給食の食材（柿、梨、はりまる、タマネギ、さつまいも）を購入した。県立農業大学校は、令和3年度にイオン加西北条店で北播磨ハボタンPRイベントに、花壇苗の提供と生徒が初めて参加した。					
	合計			0	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
R4	神戸大学、播磨農業高等学校、県立農業大学校等との連携			0	R3年度に県立播磨農業高等学校と学校給食への協力について協定を締結し、継続して学校給食で食材を使用した。神戸大学食資源センターからも学校給食の食材（柿、梨、はりまる、タマネギ、さつまいも）を購入した。学校給食に関しては、R3年度より教育総務課が対応している。同所が品種登録した「はりまる」の生産者募集等について共同で行った。					
					県立農業大学校の1年間の実践研修に参加している研修生が加西市で就農を目指す為に、就農相談を実施した。楽天農業と株式会社マイファームと連携協定を締結した。					
	合計			0	自己評価	A…目標を上回って達成				
R5	神戸大学、播磨農業高等学校、県立農業大学校等との連携			0						
	合計			0	自己評価					
R6	神戸大学、播磨農業高等学校、県立農業大学校等との連携			0						
	合計			0	自己評価					
R7	神戸大学、播磨農業高等学校、県立農業大学校等との連携			0						
	合計			0	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
学校等との協力事業数		目標		3	3	4	4	5	事業	累計
		実績	2	3	5					
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-06	達成度		100.0%	166.7%					
上記指標の設定理由		市内学校だけでなく、農機具販売店や農薬メーカー等の企業との協力も含めて連携を図っていくことが地域農業の活性化に繋がる為、連携により実施している事業数を設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

第 6 次加西市総合計画 政策評価シート

基本方針・政策・施策										担当部会 1		
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ											
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実											
施策	① 結婚・妊娠・出産支援の充実 ② 地域ぐるみの子育て支援の推進 ③ 子育て環境の充実											
未来の加西の姿												
家族や子どもを持ちたい希望に対し、切れ目ない支援で叶えられるまちを目指します。												
評価検証												
施策	行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）					
① (ア〜ウ) 評価シート 1〜4	■出逢いサポートセンター事業 33件のカップル成立があったが、目標とする数値には届いておらず、サポート方法等新たな展開が必要となっている。 ■新たな子育て支援施策の開始 令和4年10月より、子育て応援・育児の見守り支援として「かさいすくすく子育て定期便」事業を開始。配達員による見守り支援の中で、気になる親子については保健師等専門家へつなげ専門的支援を行う。 ■産後ケアの充実 年間実利用人数は令和3年度比で14名増となり、中には外国人ママの利用もあり、多様な育児不安に対する受け皿としてされていると考えられるので、さらに充実させることを検討していく。											
	総合評価	C…目標をやや下回って達成					総合評価					
② (ア〜エ) 評価シート 5〜12	■子育て世帯の経済的負担の軽減 令和5年1月から3〜5歳児の主食完全無償化を開始したことで、完全給食費無償化となった。3歳未満児保育料無償化・病児病後児保育料無償化も開始した。 ■子育て応援プロモーション 「子育て応援5つの無料化」を切り口としたWeb広告を展開し、加西市の認知拡大・魅力発信ができた。											
	総合評価	C…目標をやや下回って達成					総合評価					
③ (ア〜ウ) 評価シート 13〜15	■未来型児童館整備事業 ワークショップを開催し、市民からの子育てに関する課題や未来型児童館に期待する役割・機能等の意見の聴取により、加西市未来型児童館整備基本構想を策定した。 ■保育受け入れ体制の整備 公立園の民営化と小規模保育所2園を新たに整備することで、受け入れ体制の整備と利用者サービスの向上に繋がった。 ■アスモの運営 こども広場及び一時預かりについては、販促活動により利用者も増えてきており、利用者が広域化している。テレワークセンターについては、新規事業などを通じて利用者を新たに獲得する仕掛けづくりが必要である。											
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）												
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分		
合計特殊出生率	目標		—	—	—	—	—	1.83	人	単年		
	実績	1.28	0.91	1.11								
	達成度		50%	61%								
※15〜49歳までの日本人女性の年齢別出生率を合計したもの												
	目標											
	実績											
	達成度											

基本方針・政策・施策										担当部会 1	
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ										
政策	2 子どもの教育の充実										
施策	④ 教育の質の向上										
	⑤ 教育環境の充実										
	⑥ 地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実										
未来の加西の姿											
自ら学び行動する能力を身につけ、子どもの可能性を広げられるまちを目指します。											
評価検証											
施策	行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）				
④ (ア～エ) 評価シート 16～19	■教育の質の向上 SDGs等に関する課題学習を取り入れた外国語教育を進めてきたが、十分な広がりは見られていないため、更なる周知を行いたい。部活動については、指導員を増員し、地域意向や現場ニーズの充足を図っている。 ■小・中学校の連携強化 中学校からの乗り入れ授業を行い、新中学生の不安・戸惑い解消に取り組み、一定の成果が得られた。 ■ICT教育 授業の中でGIGAスクール端末を活用するなど、学習者にとって「個別最適化」された学びの実現に取り組んでいる。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成									
⑤ (ア～イ) 評価シート 20～22	■教育環境・STEAM.laboの整備 富田小学校北校舎及び北条中学校武道場改修工事を実施したほか、デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、小中・特別支援学校にSTEAM.laboを整備し、ICT教育の推進に取り組んだ。 ■未来の学校構想検討委員会 保護者や教職員、地域代表者を対象としたアンケート調査を行うとともに、未来の学校構想検討委員会を開催し、中学校再編や小学校の学園構想を柱とする素案を作成した。										
	総合評価	A…目標を大きく上回って達成									
⑥ (ア～ウ) 評価シート 23～25	■子どもを守り育てる仕組みづくり 総合教育センターの臨床心理士の配置日数を増やす、スクールソーシャルワーカーの認知率拡大などにより、不登校児等の支援に取り組んでいるものの、不登校児童数は増加傾向であり、居場所支援など更なる対策が必要である。 ■地域との連携 土曜チャレンジ学習事業をはじめ、地域素材・人材の活用、地域企業との協働により、より地域との連携強化を図り、特色ある学校づくりをすすめる。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成									
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
全国学力・学習状況調査において全国平均点を上回った教科数		目標		—	—	—	—	3	教科	単年	
		実績	1	3	1						
		達成度		100%	33%						
※全国学力・学習状況調査による小学生（国語・算数）、中学生（国語・数学）の4教科のうち、全国平均点を上回った教科数											
児童・生徒用PCの使用率		目標		—	—	—	—	100	%	単年	
		実績	0	49.29	49.9						
		達成度		49.3%	49.9%						
※ 1年間に個人用PCを使用した延児童・生徒数÷（5/1現在の児童・生徒数×登校日数）											

基本方針・政策・施策				担当部会 1						
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり									
施策	⑦ 生涯学習の充実 ⑧ 芸術・スポーツの振興 ⑨ 健康増進の推進									
未来の加西の姿										
生涯、学びやスポーツを楽しみ、日常生活やまちづくりに活かせるまちを目指します。										
評価検証										
施策	行政内部による評価検証（1次評価）			審議会による外部評価（2次評価）						
⑦ (ア～イ) 評価シート 26～27	■ 公民館活動の充実 市民教養講座ではSTEAM教育の観点も取り入れた講座を開催した。また、「加西市公民館・オークタウン加西の発展のための基本計画」を策定し、居場所でありプラットフォームとなる公民館を目指す。 ■ スマート図書館のスタート デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、電子図書館システムを含むスマート図書館サービスを導入した。様々なイベントも実施しているが、図書館への来訪者数は伸び悩んでいる。									
	総合評価	C…目標をやや下回って達成		総合評価						
⑧ (ア～エ) 評価シート 28～31	■ 芸術・スポーツの振興 アスリートによるスポーツ教室、芸術文化に触れる機会としての文化祭・街角コンサート等を開催した。また、加西テニスコートの殺虫剤交換、アラジスタジアムの放送設備修繕等を行うなどスポーツ設備の整備を行った。今後は総合体育館等の整備が課題である。 ■ 播磨風土記事業 こども狂言塾では、新規入塾者が8名あったほか、姫路城新能へ初出演した他、加西能では2部延650人が参加した。また、風土記講座は本講座4回、座談会1回の計5回開催し、いずれも100名を超える受講があった。									
	総合評価	B…ほぼ目標を達成		総合評価						
⑨ (ア～エ) 評価シート 32～37	■ 運動ポイント事業 令和4年度も順調に参加者を増やしている。また運動ポイントとねっぴ～Payを連動させたことで、交換実績も大幅に伸ばすことができた。 ■ 特定検診・がん検診勧奨 加西市シニアクラブ連合会と連携した個別訪問、がん検診無料クーポンの配布等により検診の勧奨を行った。 ■ 食育推進事業 子どもの検診や各園の食育教室など令和3年度に引き続き啓発活動に力を入れている。また、加西市民が健康的な生活を過ごせるように「第3次加西市食育推進計画」を策定した。									
	総合評価	C…目標をやや下回って達成		総合評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
加西市立図書館の来館者数	目標			—	—	—	—	22	万人	単年
	実績		21	17.4	17.6					
	達成度			79%	80%					
※公共図書館調査による年間来館者数										
文化・スポーツ活動の参加者数	目標			—	—	—	—	270	千人	単年
	実績		188	141	171					
	達成度			52.2%	63.3%					
※体育施設・市民会館・公民館の年間利用者										

基本方針・政策・施策				担当部会 1						
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	4 くらしを支える福祉・医療の充実									
施策	⑩ 高齢者福祉の推進 ⑪ 障がい福祉・地域福祉の充実 ⑫ 保健・医療体制の確保									
未来の加西の姿										
市民が生涯にわたって、健康で自分らしく暮らすことのできるまちを目指します。										
評価検証										
施策	行政内部による評価検証（1次評価）			審議会による外部評価（2次評価）						
⑩ (ア～イ) 評価シート 38～39	■ICTを活用した見守り ICTを活用した認知症見守りサービスについては、令和4年度までに130箇所に設置を完了した。BLEタグの周知にも力を入れている。引き続き、見守りサービスの周知、普及を目指す。 ■高齢者の自分らしく過ごせるできるまちづくり シルバー人材センターは高齢者就業確保措置の影響もあり会員数は昨年度比95%と減少している。またきずなカフェやいきいき体操を行うグループが昨年に比べ増加している。新型コロナウイルス感染症が5類に変更されたことを機に、更なる活動促進を目指す。									
	総合評価	C…目標をやや下回って達成		総合評価						
⑪ (ア～ウ) 評価シート 40～42	■要配慮者の地域生活移行や社会参加の促進 社会参加促進事業については、コロナ禍等により事業を実施しない団体があり縮小しているものの、実施に向けた相談はあり、今後の増加が見込まれる。就労支援事業については、障がいへの理解や認知が拡大したことで、利用者が増加している。 ■子ども食堂の拡大 子ども食堂については、令和3年度に市の補助制度を創設したこともあり、令和4年度は利用者数を伸ばすことができた（延747人増）。令和5年度からは補助を増額し、さらに支援の拡充を図る。									
	総合評価	B…ほぼ目標を達成		総合評価						
⑫ (ア～イ) 評価シート 43～46	■医師会・歯科医師会との連携 保健事業の実施計画及び感染症対策について、加西市医師会等と連携しながら事業実施したほか、年末年始の診療体制確保等、市民が安心して医療を受けられる体制を整えた。 ■医療サービスが適切に受けられる地域医療体制の確保 令和4年度より、精神障害者保健福祉手帳3級取得者への医療費助成の拡充を行い、経済的負担の軽減を図り、適切に医療を受けられる体制を確保することができた。 ■新病院建設に向けて 改築整備について、令和3年度に策定した『新病院建設工事基本設計』を基に、地質調査等を実施のうえ、計画通りに実施設計の策定に着手した。									
	総合評価	B…ほぼ目標を達成		総合評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
要介護認定率	目標			—	—	—	—	21.2	%	単年
	実績		20.3	19.4	19.2					
	達成度			91.5%	90.6%					
※認定者数（第1号）÷第1号被保険者数										
市立加西病院への紹介率	目標			—	—	—	—	50	%	単年
	実績		44	43	33					
	達成度			86.0%	66.0%					
※受診患者のうち、他の医療機関から紹介されて来院した患者の割合										

基本方針・政策・施策				担当部会 2						
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	5 農業の再生と活性化									
施策	⑬ 農業従事者の確保と育成 ⑭ 農業経営の支援 ⑮ 農業環境の充実									
未来の加西の姿										
加西の特産品を生産する喜び、やりがいのある農業が展開されるまちを目指します。										
評価検証										
施策	行政内部による評価検証（１次評価）			審議会による外部評価（２次評価）						
⑬ (ア～イ) 評価シート 47～48	■特産品開発 加西市の特産であるぶどう「ゴールデンベリーA」をワインの原料として仕入れる際の補助や冬カボチャ「ダークホース」の生産、神戸大学の開発したじゃがいも「はりまる」の生産者確保などに取り組んだ。 ■農業従事者の確保 「はりまる」の生産者説明会の実施や新規就農促進協議会としての相談会での加西市PRなど、新規農業従事者の増加に取り組んだ。									
	総合評価	B…ほぼ目標を達成		総合評価						
⑭ (ア～ウ) 評価シート 49～51	■ぶどう生産推進 特産品開発や集落営農組織の資質向上のために、各協議会等に支援を行うほか、加西市の特産であるぶどう生産継続に対する補助を行った。市場ニーズの移り変わりに合わせた、加西ゴールデンベリーAの後継品種の選定が課題となっている。 ■地産地消の推進 市内産農産物を学校給食に使用する取組を進めている。新たな農業者の確保や営農組合の野菜生産支援についても進めていく必要がある。									
	総合評価	B…ほぼ目標を達成		総合評価						
⑮ (ア～ウ) 評価シート 52～54	■スマート農業の推進 地下水をくみ上げる際に、ナノバブル発生装置を導入し、収穫量の増加と労働時間の短縮に取り組んだ。 ■有害鳥獣対策の推進 加西市内全体に広がるイノシシやシカ、アライグマ等の被害軽減に向けて、資材を提供し、地域で金網柵などを設置する事業を行った。									
	総合評価	A…目標を大きく上回って達成		総合評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
担い手への集積面積		目標		—	—	—	—	1,400	ha	単年
		実績	1,215	1,255	1255					
		達成度		89.6%	90%					
※認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織が集積している農地の合計面積										
農地の活用率		目標		—	—	—	—	91	%	単年
		実績	89	87	87					
		達成度		95.6%	95.6%					
※作付面積÷農地面積										

基本方針・政策・施策

担当部会 2

基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む
政策	6 商工業の振興と新展開
施策	⑯ 商工業の振興 ⑰ 創業支援と働く場の拡大 ⑱ 雇用・勤労者福祉の充実

未来の加西の姿

商工業の振興により地域経済を活性化し、働きたいと思われるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
⑯ (ア〜ウ) 評価シート 55〜58	■地域通貨「ねっぴ〜Pay」による消費喚起とキャッシュレス決済普及 コロナ禍で地域経済が落ち込む中、プレミアム付き商品券の発行等により、消費喚起に取り組むとともに、「ねっぴ〜Pay」にマネーチャージ、ポイント付与機能を追加し、ポイント還元を行うなど消費喚起に取り組んだ。商工業のデジタル化、デジタル決済の普及を目指した取組や、省エネ・創エネなどの設備投資の加速を支援した。 ■魅力ある商業施設の誘致 産業振興課と都市計画課が連携し、西高室地区ヘルズモール加西を誘致することに成功した。また西笠原町への商業施設誘致のため、地区計画を令和4年10月1日に決定した。	
総合評価	A…目標を大きく上回って達成	総合評価
⑰ (ア〜エ) 評価シート 59〜63	■創業支援と働く場の拡大 個人事業主や小規模事業者のみならず、事業承継の支援、事務系企業やクリエイティブ産業の誘致に取り組んでいる。 ■若者の起業支援、事業継承 特定創業支援事業やビジネスグランプリにおいて積極的に制度のアピールを行っており、年々利用者（創業者）が増えている。今後は、起業家同志のコミュニティづくりにも取り組んでいく必要がある。 ■加西インター産業団地の整備 1期事業は、各工区の造成工事、企業誘致を進め全11社の進出が決まった。2期事業についても開発手続きを進めている。	
総合評価	B…ほぼ目標を達成	総合評価
⑱ (ア〜ウ) 評価シート 64〜66	■兵庫労働局との連携 雇用対策協定のもと、求職者の就職支援に取り組むほか、市内事業所から協力を得て、北条高校で「地元企業の魅力を知る会及び職業講和」を実施した。また、3年ぶりに小学生向けの産業観光ツアーを開催した。 ■ICTの活用 リアル開催のJOBフェアのほか、学生向けにオンライン企業説明会を実施するなど、時代に沿った取組を行っている。	
総合評価	B…ほぼ目標を達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
製造品出荷額	目標		—	—	—	—	3,900	億円	単年
	実績	3,321	3,213	2,480					
	達成度		82%	64%					
※工業統計調査・経済センサス活動調査									
	目標								
	実績								
	達成度								

基本方針・政策・施策

担当部会 2

基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出
施策	⑭ 歴史・文化の再発見と交流拡大 ⑯ 移住・定住の支援 ⑰ 空き家・空き店舗の利活用

未来の加西の姿

地域資源を十分に活かし、加西市に訪れたいと感じる魅力あるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
⑭ (ア〜ウ) 評価シート 67〜70	■歴史文化遺産を活かす取組 団体への補助を行い、11団体が地域文化財の調査研究資料の印刷や掲示を作成したほか、地域に伝わる民謡の演奏会や行事開催を通じ、伝統芸能の伝承にも取り組んだ。 また、soraかさいを中心として鶴野フィールドミュージアムの施設整備を行い、12万人以上の集客となった。 ■地域資源を活用した観光振興 加西市の観光資源となった気球を活用したハッピーバルーンクリスマスや気球係留イベントを実施し、「気球の飛ぶまち加西」の更なる推進に取り組んだ。	
総合評価	B…ほぼ目標を達成	総合評価
⑯ (ア〜ウ) 評価シート 71〜74	■移住・定住の支援 UJIターン促進補助金、若者定住促進住宅補助事業、新婚世帯向け家賃補助事業などを実施した。いずれも目標には届かなかったものの、加西市への移住・定住の入口となる制度として、人口増政策課、きてみて住んで課が連携しPRを行った。 ■移住相談施策の強化 移住相談業務を一般社団法人に委託し、多岐にわたる移住相談に対するワンストップ窓口を設置するとともに、市内の空き家を活用したお試し居住施設の整備をすすめるリノベーション・PR計画を策定した。	
総合評価	C…目標をやや下回って達成	総合評価
⑰ (ア〜ウ) 評価シート 75〜78	■空き家対策強化 不動産事業者との連携強化や空き家バンク制度の積極的な情報発信を行った結果、新規登録数は目標を大幅に超え、成約数も過去最多となった。今後は空き家等の実態調査、対策計画策定を行い、更なる空き家の利活用を図ることを狙う。 ■空き家の利活用支援 空き家バンク物件の成約数が大幅に増加したことで、空き家改修補助事業の件数も大幅に増加しており、空き家の利活用及び移住促進につなげることができた。	
総合評価	A…目標を大きく上回って達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
観光入込客数	目標		—	—	—	—	1,100	千人	単年
	実績	914	954	1,205					
	達成度		87%	110%					
※加西SA 利用者数は除く年間客数									
若者の残存定住率	目標		—	—	—	—	80	%	単年
	実績	78	80	83					
	達成度		100.0%	103.8%					

※ 3月31日現在の26-28歳の人数÷10年前の16-18歳の人数

基本方針・政策・施策				担当部会 3						
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	8 安全・安心に暮らせる環境の充実									
施策	② 防災・感染症対策の充実 ③ 防犯・交通安全の向上 ④ 市民相談・消費者保護の充実									
未来の加西の姿										
地域と連携・協働した支援体制の構築と強化で、安全・安心に暮らせるまちを目指します。										
評価検証										
施策	行政内部による評価検証（１次評価）				審議会による外部評価（２次評価）					
② （ア〜ウ） 評価シート 79〜82	■ 防災対策の充実 防災ネットによる情報発信の活用、コミュニティ無線の整備等、地域の防災アナウンスの体制を整備した。また、例年通り土嚢づくりを実施した他、自主防災訓練費補助、資機材整備費補助を行い、地域の防災力の維持強化に務めた。 ■ 新型コロナウイルス感染症対策 加西病院では、新型コロナウイルス感染症対応を最優先課題として、加東健康福祉事務所と情報を共有しながら対応を行った。また、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業では、児童、乳幼児への接種を実施した。									
	総合評価	B…ほぼ目標を達成			総合評価					
③ （ア〜イ） 評価シート 83〜85	■ 防犯対策の推進 防犯灯については、これまでの取組の成果により、市内設置数はほぼ一巡している。今後は保守に重点をおいた事業展開を予定している。防犯カメラについても自治会からの要望が多いため、引き続き補助事業を実施する。 ■ 交通安全の推進 加西市内951名の中学生を対象とした自転車保険加入事業を実施したほか、市内こども園、小中学校において交通安全教室を実施した。									
	総合評価	A…目標を大きく上回って達成			総合評価					
④ （ア〜イ） 評価シート 86〜87	■ 市民相談の充実 市民相談では、市民からの多種多様な相談を受けている。月1回の弁護士相談も実施しているが、毎回ほぼ予約枠が埋まっており、困りごとの解消に寄与している。 ■ 消費者相談の充実 消費者相談では、公民館と連携することで、啓発グッズの配布に努め消費生活センターの周知につなげた。しかし、全国の傾向に反して消費者相談の件数が減っている。消費者講座への参加も低調となっており、啓発方法や内容の再検討が必要である。									
	総合評価	B…ほぼ目標を達成			総合評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
防災訓練・研修回数		目標		—	—	—	—	75	回	単年
		実績	57	55	56					
		達成度		73.3%	75%					
※自主防災組織（自治会）の延べ年間実施回数										
交通事故発生件数		目標		—	—	—	—	1,300	件	単年 減少指標
		実績	1,466	1,262	1,272					
		達成度		102.9%	102.2%					
※ 1/1 ～ 12/31 の交通事故件数										

基本方針・政策・施策

担当部会 3

基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる
政策	9 快適な都市空間の創出
施策	㊸ 住環境の整備 ㊹ 地球に優しい環境都市の創造

未来の加西の姿

良好な住環境や景観等が整い、加西らしいまち並みが形成されたまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
㊸ (ア～オ) 評価シート 88～94	■住環境整備 西高室土地区画整理事業は、令和2年度の事業完了後、順調に宅地化が進んでいるほか、中野・下宮木地区では商業立地のほか、更なる宅地化を促進するための区画道路工事も完了した。 ■歴史的街並みの景観保護 景観形成地区内における建築行為について、景観ガイドラインで定められた住宅の新築における外壁の色彩等の景観形成基準への適応に向けた指導、相談を行った。また、北条旧市街地の歴史的街並みの景観保全のため、石畳風舗装を43mにわたり整備した。舗装自体の修繕が発生したため延長が伸びながつたが概ね事業としては進捗している。	
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価
㊹ (ア～ウ) 評価シート 95～98	■地域再エネ導入ゾーニング事業 地域の関係者と合意形成を図りながらゾーニングマップを作成した。今後は太陽光発電設備の設置に伴う自然災害や景観等への懸念が指摘されているため、市条例等による太陽光発電の設置抑制区域の設定など、再エネ普及促進と自然環境の調和を考えていく必要がある。 ■環境都市の創造 小中学生を対象に、児童生徒が探求心を持ち、仲間と協働して身近な環境の調査研究を行う環境体験学習を推進した。今後もSDGsやSTEAMの観点を踏まえた取組をさらに進めていく。	
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
住宅の新築件数	目標		—	—	—	—	90	件	単年
	実績	115	95	106					
	達成度		106%	118%					
※市内の一戸建て住宅の単年度の新築件数									
市民一人あたり1 日のごみ排出量	目標		—	—	—	—	766	g	単年 減少指標
	実績	793	811	828					
	達成度		94.1%	91.9%					

※ (ごみの処理量 + 集団回収量) ÷ 9月末人口 ÷ 年間日数

基本方針・政策・施策										担当部会 3	
基本方針		3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策		10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備									
施策		⑳ 道路・河川の整備・維持管理 ㉑ 上下水道の整備・維持管理 ㉒ 公共交通の充実									
未来の加西の姿											
暮らしの中で快適さを感じることができる生活環境が整ったまちを目指します。											
評価検証											
施策		行政内部による評価検証（1次評価）					審議会による外部評価（2次評価）				
⑳ (ア〜ウ) 評価シート 99〜101		■道路・河川の整備・維持管理 市道の新設改良、通学路整備、草刈り補助を実施した。修繕要望は増加傾向であり、市道の老朽化も進んでいるため、予算・人員の確保が必要である。また、橋梁点検49箇所、橋梁補修実施設計を7橋実施。今後も計画的に対応していきたい。 ■公園整備 公園施設の安全管理に努めるとともに、公園内の支障樹木の伐採や剪定を行い景観整備を実施した。									
		総合評価	A…目標を大きく上回って達成								
㉑ (ア〜イ) 評価シート 102〜103		■上水道経営の効率化 市川町との受水交渉が決着し、令和7年度までは一時的に受水費が高額になるものの、令和8年度以降は低減される見込みである。 ■上下水道の整備・維持管理 水道管路の耐震管への更新事業について実施設計を終えたほか、下水統廃合事業については、在田地区南部処理施設の廃止工事を実施した。									
		総合評価	C…目標をやや下回って達成								
㉒ (ア〜ウ) 評価シート 104〜106		■公共交通マスタープラン「加西市地域公共交通計画」の策定 地域の交通調査・利用状況の調査・分析を行い、市の目指す公共交通網の姿を明らかにする「加西市地域公共交通計画」を策定した。 ■北条鉄道の利用促進 鉄道安全輸送設備。車両等設備整備に対する支援を行うほか、経常損失部分に対する運営費補助を行った。また利用者アンケートを実施し、要望の多かったICカード導入について検討を行う。 ■地域主体型交通の拡大 地域主体型交通を実施している2地区への運行支援を行ったほか、新たに導入を進める富田地区への導入支援を行った。									
		総合評価	B…ほぼ目標を達成								
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
道路改良率		目標		—	—	—	—	34.8	%	単年	
		実績	34.1	34.6	34.6						
		達成度		99.4%	99%						
※規格改良済延長÷実道路延長											
鉄道・コミュニティバス等の利用者数		目標		—	—	—	—	420.0	千人	単年	
		実績	365.5	365.4	408.5						
		達成度		87.0%	97.3%						
※北条鉄道、ねっぴーバス、コミュニティバス（はっぴーバス）、地域主体型交通の年間利用者合計数 ※神姫バス、高速バス、タクシーは除く											

基本方針・政策・施策										担当部会 3		
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める											
政策	11 協創のまちづくりの推進											
施策	③⑩ 協創のまちづくり ③⑪ シティプロモーションの推進 ③⑫ 広報・広聴の充実											
未来の加西の姿												
加西に関わる誰もが主役となって活躍し、元気ににぎわいあるまちを目指します。												
評価検証												
施策	行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）					
③⑩ (ア〜ウ) 評価シート 107~109	■協創のまちづくり 「加西市地域づくり戦略会議」を設置し、地域づくりにかかる取組の評価検証や今後に向けた市の推進方策等について検討を行った。 ■関係人口の創出 中間支援組織である「一般社団法人ユニテ」に委託して、ワンストップ移住相談窓口による移住相談を実施するほか、都市部住民等との交流会、ワークショップも開催し、移住人口や関係人口の増加を図った。											
	総合評価 B…ほぼ目標を達成						総合評価					
③⑪ (ア〜ウ) 評価シート 110~112	■シティプロモーションの推進事業補助事業 市民と行政が一緒にシティプロモーションを実施することで、より大きな効果が期待できるため、今後も積極的に活用していく。 ■ふるさと納税推進 返礼品の充実に加え、楽天ポータルサイト内の特設ページ作成や、ファンミーティング開催など様々な取り組みを実施した結果、寄附金額を維持（約63億円）するとともに、寄附件数を1万件増やすことができた。 ■観光資源の発掘 喝采みやげ、かさいまちあそびの開催などを行うとともに、「かさい観光ナビ」による情報発信を行った。											
	総合評価 B…ほぼ目標を達成						総合評価					
③⑫ (ア〜ウ) 評価シート 113~115	■広報・広聴の充実 市広報誌「すっきゃかさい」は、令和4年度県広報コンクールの広報誌部門で入選した。HPやSNS発信については、発信力強化のため庁内研修が必要である。 ■タウンミーティングの実施 市内10箇所で開催したタウンミーティングにおいて、地域の要望や課題を集約した。											
	総合評価 A…目標を大きく上回って達成						総合評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）												
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分		
まちづくり計画の策定数		目標		—	—	—	—	7	計画	累計		
		実績	4	5	5							
		達成度		71%	71%							
※ふるさと創造会議（10 地区）におけるまちづくり計画の策定数												
		目標										
		実績										
		達成度										

基本方針・政策・施策										担当部会 1		
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める											
政策	12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現											
施策	③③ 自分らしく暮らせる地域づくりの推進 ③④ 男女共同参画の推進 ③⑤ 多文化共生と平和のまちの実現											
未来の加西の姿												
多様な価値観やお互いを認め合い、すべての市民が協力できるまちを目指します。												
評価検証												
施策	行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）					
③③ (ア〜ウ) 評価シート 116〜119	■人権文化の推進 住民人権学習の方法を変更し取り組んだ初年度であった。参集型学習だけでなくオンライン学習も取り入れた。まちかどフォーラムに世帯数の8割以上が参加した町もあった。 ■子ども支援・家庭支援 DVセンター、子ども家庭総合支援拠点において人員確保を行い、これまで以上に定期訪問・相談対応の充実を図った。 ■障がい者支援 基幹相談支援センターに相談支援を委託している。件数は減少傾向にあるものの、困難ケースが増え対応時間は増加傾向にある。											
総合評価	B…ほぼ目標を達成						総合評価					
③④ (ア〜イ) 評価シート 120〜121	■男女共同参画の推進 昨年度策定した計画・条例に基づき、意思決定の場における女性登用に向けて施策を推進した。女性リーダー養成講座では、集大成として「加西市女性議会」を開催した。 ■雇用の促進 兵庫労働局との雇用対策協に基づいた就職支援に取り組むほか、女性向けの就労セミナーを開催し、就労促進に取り組んだ。また、庁内プロジェクトチームの雇用対策PTにおいて、政策立案に向けた議論を行っている。											
総合評価	B…ほぼ目標を達成						総合評価					
③⑤ (ア〜ウ) 評価シート 122〜124	■多文化共生の推進 ねひめカレッジと連携し、外国人児童学習サポートや日本語ボランティア研修を行ったほか、外国人を対象とした生活相談は270件にのぼるなど、外国人の生活サポートを行っている。また、庁内職員向けには、やさしい日本語講座を開催した。 ■平和一ツリズムの展開 地域活性化拠点施設「soraかさい」を中心とした、ピースリズムの推進、グリーンスローモビリティ実証実験、防空壕等の記録保存のほか、soraかさいファンパスポートの導入を行った。											
総合評価	C…目標をやや下回って達成						総合評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）												
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分		
人権研修の参加者数	目標			—	—	—	—	3,500	人	単年		
	実績		3,398	2,074	2272							
	達成度			59.3%	64.9%							
※加西市が実施する人権研修会の参加者数												
女性管理職の登用率	目標			—	—	—	—	20.0	%	単年		
	実績		15.2	13.3	11.8							
	達成度			66.5%	59.0%							
※加西市役所、市立こども園、市立加西病院、市立小・中・特別支援学校、市内企業の女性管理職の割合												

基本方針・政策・施策										担当部会 2		
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める											
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進											
施策	③⑥ 行財政運営の効率化 ③⑦ I C Tの利活用の推進 ③⑧ 広域連携と公民連携の推進											
未来の加西の姿												
計画的な行財政運営と人材の資質向上により、質の高いサービスを提供できるまちを目指します。												
評価検証												
施策	行政内部による評価検証（１次評価）						審議会による外部評価（２次評価）					
③⑥ (ア～オ) 評価シート 125～129	■行政サービスの質の向上 庁内研修、他市町との合同研修などを通じた資質向上とともに、ミス防止についてもダブルチェック体制の徹底などを行った。 ■行財政運営の効率化 「５つの無料化」という歳出増はあったものの、ふるさと納税等による増収や建設事業の減など歳出抑制により、黒字収支見込みとなり、基金も一定額以上の確保ができた。 ■徴収体制強化 経済状況の回復もあり、目標値を上回る現年度収納率99%を達成している。また、悪質な滞納者に対しては差押を実施することで、税の公平を保つための徴収業務に務めた。											
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価					
③⑦ (ア～イ) 評価シート 130～132	■ICTの利活用 RPAについては、令和４年度より別ソフトに変更したことで、シナリオ作成は容易となったが、財務会計ソフトとの連携がスムーズにいかず、実行回数は減少した。ビジネスチャットツールは庁内での利活用が進み、令和４年度に議会及び病院でも使用することとなった。文書管理システムの全庁本格導入を実施し、別システムで処理する財務会計の伝票を除き、ほぼ100%の電子化率となった。 ■行政手続きのオンライン化 令和５年３月17日より住民票・印鑑証明のコンビニ交付を開始した。また、26手続きをオンライン対応とした。											
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価					
③⑧ (ア～イ) 評価シート 133～135	■広域連携の推進 北播磨広域定住自立圏では、令和6年度の次期共生ビジョン策定にむけ、先進的な取組を実施している自治体の視察を行った。 ■SDGsの推進 加西市は、特に持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として、内閣府より「SDGs未来都市」に選定された。 ■高校・大学・企業との連携 令和３年度に県立播磨農業高等学校と学校給食への協力について協定を締結し、令和4年度も継続して学校給食で食材を使用した。また楽天農業、株式会社マイファームと連携協定を締結した。											
	総合評価	A…目標を大きく上回って達成					総合評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）												
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分		
経常収支比率	目標		—	—	—	—	—	92.4	%	単年 減少指標		
	実績	93.8	90.4	未確定								
	達成度		98%									
※人件費、扶助費、公債費等の経常的な経費に対し、地方税、地方交付税、地方譲与税等の経常的な収入が充当されている比率												
地方債残高	目標		—	—	—	—	—	426	億円	単年		
	実績	411	394	未確定								
	達成度		92.5%									
※一般会計・特別会計・企業会計の全ての市債の残高												

他部会協議への提言書

他部会への提言がありましたら、この用紙にご記入ください。
用紙が足りない場合は、コピーしてご使用ください

評価シートのページ	
-----------	--

※意見がある箇所のみご記入ください

区 分	概 要
内部評価への意見	(記入例 ○○○について自己評価がBとなっているが、取組み実績には▲▲▲とあるので、評価はCが妥当ではないか)
部会で評価をする際に 取り入れてもらいたい 視点	(記入例 □□□については、部会で評価をする際に☆☆☆という視点で評価をしてほしい)
事業について 詳しく知りたい	(記入例 ●●●について、評価シートだけでは分かりにくいので、詳しい内容を知りたい)
その他	

令和 年 月 日

氏名

(提出締切 7/14まで FAX : 0790-43-1800)